

第七條 側内厚板ハ肋根材ト第一肋材トノ接合部ニ設クヘシ

第八條 船底彎曲部ニハ船ノ首尾ヲ通シテ彎曲部縱通材ヲ設ケ其ノ各側ニ於ケル總幅ハ船ノ幅ノ六分ノ一以上ト爲シ厚ハ第三號表ニ據ルヘシ但首尾兩端ニ於テハ適當ニ其ノ寸法ヲ減スルコトヲ得

第九條 側内厚板及ヒ彎曲部縱通材ノ嵌接ノ長ハ用材ノ幅ノ三倍以上ト爲スヘシ

第二數八萬以上ノ船舶ニ於テハ彎曲部縱通材ハ五呎以内ノ距離ニ成ルヘク横ニ其ノ一端ヨリ他端ニ貫通スル敲釘ヲ以テ緊著スヘシ

第六章 梁受材、梁受板、副梁受板、梁壓材、副梁壓材、船鏢及ヒ内部腰板

第一條 梁受材及ヒ梁壓材ハ各層梁ニ取附ケ其ノ寸法ハ之ヲ取附ケル梁ノ兩端ノ截面ニ等クシ且梁トノ接合部ニ於ケル幅ハ第四號表ニ掲ケル梁ノ幅ヨリ大ナラシムヘシ

第二條 前條ノ規定ニ依リ梁受材ヲ取附ケサルトキハ梁受板ヲ設ケ其ノ寸法ハ第三號表ニ據ルヘシ
第三條 梁受材、梁受板、副梁受板、梁壓材、副梁壓材、船鏢及ヒ内部腰板ノ嵌接ノ長ハ用材ノ幅ノ三倍以上ト爲シ三箇以上ノ敲釘又ハ打込釘ヲ以テ固著スヘシ
前項ニ掲ケル各材ノ嵌接ハ適當ニ避距スヘシ

第四條 重甲板梁、正甲板梁及ヒ艙梁ニハ第三號表ニ掲ケル寸法ヲ有スル副梁受板ヲ附スヘシ但第二數一萬五千未満ノ船舶ノ重甲板梁ニハ之ヲ附スルヲ要セス

第五條 第二數三萬以上ナルトキハ中央部ニ於テ船ノ長ノ四分ノ三間重甲板梁ニ副梁壓材ヲ設クヘシ
第二數五萬以上ナルトキハ前項ノ副梁壓材ヲ船ノ首尾ヲ通シテ設クヘシ

第二數九萬以上ナルトキハ中央部ニ於テ船ノ長ノ四分ノ三間輕甲板梁及ヒ正甲板梁若ハ艙梁ニモ副梁壓材ヲ設クヘシ

第六條 副梁壓材ノ幅ハ第四號表ニ掲ケル梁ノ幅以上ト爲シ厚ハ第三號表ニ掲ケル木甲板ノ厚ニ等

クスヘシ

第七條 船鏢ノ厚ハ第三號表ニ據ルヘシ

船鏢ヲ貫キテ舷牆柱ヲ設クルトキハ船鏢ハ二材ヲ以テ構成スルコトヲ得
船鏢ノ幅ハ外板及ヒ梁壓材ニ固著スルニ充分ナル幅ト爲スコトヲ要ス

第八條 内部腰板ハ正甲板梁又ハ艙梁ノ梁壓材上ニ設クヘシ

内部腰板ノ寸法ハ正甲板梁又ハ艙梁ノ副梁受板ニ等クスヘシ

第七章 梁及ヒ梁ノ配置

第一條 甲板梁及ヒ艙梁ノ寸法ハ第四號表ニ據リ船ノ中央ニ於ケル梁ノ長ヲ以テ之ヲ定ムヘシ但輕
甲板梁ハ其ノ截面ヲ表中ノ截面ノ四分ノ三ト爲スコトヲ得

第二條 各層ニ於ケル梁ハ上下相累ネテ設クヘシ

第三條 梁矢ハ上甲板梁ニ於テハ梁ノ長一呎ニ付四分ノ一吋以上、正甲板梁ニ於テハ八分ノ一吋以
上ノ割合ト爲スヘシ

第四條 梁ハ漸次其ノ深ヲ減少シテ梁端ニ於テ中央ノ深ノ十分ノ九ト爲スコトヲ得

第五條 船ノ中央ニ於ケル梁ノ長ノ四分ノ三ヨリ短キ梁ハ其ノ截面ヲ第四號表ニ掲グルモノ、四分
ノ三迄減スルコトヲ得

第六條 艙口兩端ノ梁及ヒ帆船ニ於ケル櫓ノ前後ノ梁ハ其ノ截面ヲ第四號表ニ掲グルモノ、一倍八
分ノ一ト爲スヘシ

第七條 梁ハ成ルヘク肋骨ノ位置ニ設ケ肋材ニ密接セシメ梁受材上ノ鳩尾形溝ニ嵌込ムヘシ

第八條 甲板梁ノ心距ハ肋骨ノ心距ノ二倍ト爲スヘシ但四呎ヲ超過スヘカラス

第九條 櫓孔及ヒ艙口ニ設クル縱梁ノ截面ハ甲板梁ノ四分ノ三ト爲スヘシ

艙口ノ兩側ニ於ケル半梁ノ截面ハ甲板梁ノ四分ノ三ト爲シ其ノ心距ハ前條ノ規定ニ依ルヘシ

第十條 深十四呎以上十六呎未滿ノ船舶ニ於テハ中央部ニ於テ船ノ長ノ二分ノ一間ハ上甲板梁一本置ニ艙梁ヲ設クヘシ

第十一條 深十六呎以上十九呎未滿ノ船舶ニ於テハ船ノ首尾ヲ通シ上甲板梁一本置ニ艙梁ヲ設クヘシ

第十二條 深十九呎以上二十一呎未滿ノ船舶ニ於テハ船ノ首尾ヲ通シテ上甲板梁一本置ニ二本續キテ艙梁ヲ設クヘシ

第十三條 深二十一呎以上二十五呎未滿ノ船舶ニ於テハ船ノ首尾ヲ通シテ上甲板梁毎ニ正甲板梁又ハ艙梁ヲ設クヘシ

第十四條 龍骨ノ上面ヨリ最下層梁ノ上面迄ノ深九呎以上ナルトキハ帆船ニ於テハ檣孔梁及ヒ艙口兩端ノ梁又汽船ニ於テハ艙口及ヒ機關室口ノ兩端ノ梁ニハ肋根材ニ二箇ノ敲釘ヲ打ツニ足ルノ長ヲ有スル鐵製ノ特設梁曲材ヲ附スヘシ

第十五條 艙口、汽機室又ハ汽鐘室等ノ部分ニ於テ本章ノ規定ニ依リ梁ヲ配置スルコト能ハサルトキハ適當ノ補強構造ヲ爲スヘシ

揚錨機、斜檣等ヲ支フル梁ハ其ノ寸法ヲ適當ニ増スヘシ

第八章 梁柱

第一條 梁ノ長、上甲板ノ最長梁ノ二分ノ一ヲ超ユルトキハ梁毎ニ梁柱ヲ取附クヘシ但梁ヲ支フル縱梁アルトキハ梁一本置ニ之ヲ取附クルモ妨ナシ

上層梁ニ梁柱ヲ要スルトキハ其ノ下層ノ梁ニモ亦之ヲ設クヘシ

第二條 木製梁柱ノ截面ハ船ノ幅ト深トノ和每一呎ニ付一平方呎ノ割合ト爲スヘシ

鐵製中實梁柱ノ徑ハ船ノ幅ト深トノ和ヨリ二呎ヲ減シタル差每一呎ニ付十六分ノ一吋ノ割合ト爲

スヘシ

甲板間ノ梁柱ノ截面ハ前二項ノ規定ニ依リ算出シタル截面ヨリ其ノ四分ノ一ヲ減スルコトヲ得
鐵製中空梁柱ヲ用ウルトキハ其ノ截面ハ中實梁柱ト同一ノ效力ヲ有スルモノナルヲ要ス

本章第一條第一項ノ規定ニ依リ梁一本置ニ梁柱ヲ取附クルトキハ其ノ截面ハ梁毎ニ取附クルモノ
、一倍二分ノ一ト爲スヘシ

第三條 幅二十五呎未満ノ船舶ニ於テ梁ノ截面ヲ第四號表ニ掲グルモノ、一倍四分ノ一以上ト爲シ
且其ノ兩端ニ堅梁曲材ヲ附スルトキハ梁柱ヲ設ケサルモ妨ナシ

第四條 甲板室、斜檣、揚錨機及ヒ揚貨機等ヲ支フル梁其ノ他必要ノ箇所ニハ特ニ梁柱ヲ設ケヘシ

第九章 船首肘材及ヒ船尾肘材

第一條 艙内ニ於ケル肘材ノ配置ハ船ノ中央ニ於テ龍骨ノ上面ヨリ最下層梁ノ上面迄ノ深ヲ以テ之
ヲ定ムヘシ又各層梁受材ノ端末ニハ肘材ヲ設ケヘシ

第二條 深九呎未満ノ船舶ニ於テハ船首肘材二箇、船尾肘材一箇ヲ設ケヘシ

第三條 深九呎以上十四呎未満ノ船舶ニ於テハ船首肘材三箇、船尾肘材一箇ヲ設ケヘシ

第四條 深十四呎以上十六呎未満ノ船舶ニ於テハ船首肘材四箇、船尾肘材二箇ヲ設ケヘシ

第五條 深十六呎以上ノ船舶ニ於テハ三呎以内ノ距離ニ船首肘材ヲ設ケ且二箇以上ノ船尾肘材ヲ設
ケヘシ

第六條 肘材ノ腕ノ長ハ船ノ幅ノ五分ノ一以上ト爲シ下部ニ用ウルモノハ其ノ部分ニ於ケル内板ニ
四十五度ノ角度ヲ以テ交叉セシムヘシ但添材ヲ附スルトキハ腕ノ長ハ船ノ幅ノ八分ノ一迄減スル

コトヲ得

第七條 木製肘材ノ截面ハ咽喉部ニ於テ第四號表ニ掲グル甲板梁ノ截面ノ四分ノ三ト爲シ腕端ニ至

ルニ從ヒ漸次減少シテ其ノ二分ノ一ト爲スコトヲ得

第八條 鐵製肘材ヲ用ウルトキハ幅ハ第五號表ニ掲クル短梁曲材ノ幅ニ二分ノ一時ヲ加ヘタルモノ、厚ハ咽喉部ニ於テハ第五號表ニ掲クル短梁曲材ノ幅ニ等ク、腕ノ各部ニ於テハ第五號表ニ掲クル短梁曲材ノ厚ニ四分ノ一時ヲ加ヘタルモノナルヲ要ス

第十章 梁曲材

第一條 鐵製梁曲材ノ寸法ハ第五號表ニ據ルヘシ

第二條 木製梁曲材ノ腕ノ長ハ第五號表ニ掲クル鐵製梁曲材ニ等クシ其ノ幅ハ之ヲ取附クル梁ノ幅ノ五分ノ三以上ト爲シ其ノ厚ハ咽喉部ニ於テハ幅ノ一倍二分ノ一、腕端ニ於テハ幅ニ等クスヘシ

第三條 第二數八千四百未満ノ汽船ニ於テハ甲板梁二本置ニ短梁曲材ヲ取附クヘシ

第四條 第二數八千四百以上一萬七千未満ノ汽船ニ於テハ交互ニ甲板梁一本置ト二本置トニ短梁曲材ヲ取附クヘシ

第五條 第二數一萬七千以上二萬五千未満ノ汽船ニ於テハ甲板梁一本置ニ短梁曲材ヲ取附クヘシ

第六條 第二數二萬五千以上三萬三千未満ノ汽船ニ於テハ甲板梁一本置ニ二本續キテ短梁曲材ヲ取附クヘシ

第七條 第二數三萬三千以上ノ汽船ニ於テハ甲板梁毎ニ短梁曲材ヲ取附クヘシ但第二數四萬二千以上六萬七千未満ナルトキハ甲板梁三本置ニ、六萬七千以上十萬未満ナルトキハ甲板梁二本置ニ又十萬以上ナルトキハ甲板梁一本置ニ短梁曲材ノ代リニ長梁曲材ヲ取附クヘシ

第八條 第二數八千四百未満ノ帆船ニ於テハ甲板梁一本置ニ短梁曲材ヲ取附クヘシ

第九條 第二數八千四百以上一萬七千未満ノ帆船ニ於テハ甲板梁一本置ニ二本續キテ短梁曲材ヲ取

附クヘシ

第十條 第二數一萬七千以上十二萬未滿ノ帆船ニ於テハ甲板梁毎ニ短梁曲材ヲ取附クヘシ但第二數二萬五千以上四萬二千未滿ナルトキハ甲板梁二本置ニ、四萬二千以上六萬七千未滿ナルトキハ甲板梁二本置ニ、六萬七千以上十二萬未滿ナルトキハ甲板梁一本置ニ短梁曲材ノ代リニ長梁曲材ヲ取附クヘシ

第二數十二萬以上ノ帆船ニ於テハ甲板梁毎ニ長梁曲材ヲ取附クヘシ

第十一條 二層甲板船ノ上甲板梁ニハ長梁曲材ノ代リニ短梁曲材ヲ用ウルモ妨ナシ

第十二條 艙梁ニハ梁毎ニ長梁曲材ヲ取附クヘシ

第十三條 第二數二萬五千以上ノ船舶ニシテ柔材ヲ以テ肋骨ヲ構成スルトキハ特設梁曲材ヲ艙梁毎ニ取附ケ其ノ梁腕ハ第五號表ニ掲グル長梁曲材ノ梁腕ノ長ニ等キ長ヲ有シ側腕ハ肋根材ニ二箇ノ敲釘ヲ以テ固著スルニ足ルヘキ長ヲ有スルモノナルヲ要ス

特設梁曲材ノ厚及ヒ幅ハ第五號表ニ掲グル長梁曲材ニ準スヘシ

第十四條 前條ノ特設梁曲材ヲ用キサルトキハ梁ト梁トノ間ニ於ケル肋骨ニ鐵帶ヲ取附ケ上部ハ梁受材ニ緊著スヘシ

鐵帶ノ長及ヒ幅ハ特設梁曲材ノ側腕ニ等クシ厚ハ第五號表ニ掲シル長梁曲材ノ咽喉釘部ニ於ケル厚ノ二分ノ一以上ト爲スヘシ

第十五條 木製又ハ鐵製ノ梁曲材ヲ用ウル代リニ鐵製肘板及ヒ山形材ヲ用ウルトキハ其ノ寸法ハ第五號表ニ據ルヘシ但梁腕及ヒ側腕ニ於ケル山形材ノ長ハ梁曲材ニ等クスヘシ

第十六條 肋骨間ニ於テ豎梁曲材ヲ固著スルトキハ該部ニ填材ヲ插入スヘシ

第十七條 橫梁曲材ノ厚及ヒ幅ハ第五號表ニ掲グル短梁曲材ノ四分ノ三以上ト爲スヘシ

第十一章 外板及ヒ内張板

第一條 外板及ヒ内張板ノ寸法ハ第三號表ニ據ルヘシ但船ノ首尾兩端ニ於テ船ノ長ノ四分ノ一間ハ

車軸覆板ノ附近ニ於ケル外板ヲ除キ漸次其ノ厚ヲ減シ首尾ニ至リテ十分ノ八ト爲スコトヲ得

第二條 外板ノ横線ノ避距ハ上下ニ鄰接スルトキハ肋骨ノ心距ノ三倍以上、外板一條ヲ隔テタルト

キハ肋骨ノ心距ノ二倍以上、二條ヲ隔テタルトキハ肋骨ノ心距以上ト爲スヘシ

外板ノ横線ハ三條ヲ隔ツルニアラサレハ同一ノ肋骨上ニ置クヘカラス

前二項ノ規定ハ船ノ首尾兩端ニ於テハ之ヲ適用セサルモ妨ナシ

第三條 外板及ヒ内張板ノ長ハ船ノ首尾兩端ニ用ウルモノヲ除クノ外十八呎以上ナルヲ要ス

第四條 外板及ヒ内張板ノ幅ハ十二吋ヲ超ユヘカラス

第五條 兩舷ニ於ケル龍骨翼板ノ横線ノ避距ハ肋骨ノ心距ノ三倍以上ト爲スヘシ

龍骨翼板ノ横線ハ嵌接ト爲シ其ノ長ハ幅ノ三倍以上ト爲スヘシ

第六條 外部腰板ハ喫水線ノ上下ニ取附ケ其ノ厚ハ第三號表ニ據リ總幅ハ左表ニ據ルヘシ

船ノ長ト深トノ割合	外部腰板ノ總幅ノ船ト深トノ割合
六倍未満	百分ノ二十五
八倍以上	百分ノ三十
八倍以上	百分ノ三十五
十倍以上	百分ノ四十
十二倍以上	

第七條 舷側厚板ノ横線ハ嵌接ト爲シ其ノ長ハ幅ノ三倍以上ト爲スヘシ

第十二章 甲板

第一條 重甲板船ノ重甲板ニ張ル木甲板ノ厚ハ第三號表ニ據ルヘシ其ノ正甲板ニ張ル木甲板ノ厚ハ之ヨリ二分ノ一吋ヲ減スルコトヲ得
輕甲板船ノ正甲板ニ張ル木甲板ノ厚ハ第三號表ニ據ルヘシ其ノ輕甲板ニ張ル木甲板ノ厚ハ之ヨリ二分ノ一吋ヲ減スルコトヲ得

第二條 上甲板及ヒ正甲板ハ總テ水密ト爲スヘシ

第三條 木甲板ノ幅八十吋ヨリ大ナルヘカラス又其ノ端末ニ於ケル幅ハ填絮ヲ施スニ充分ナルヲ要ス

第四條 鄰接スル木甲板ノ横線ノ避距ハ梁ノ心距ノ二倍以上ト爲スヘシ又木甲板三條ヲ隔ツルニア

ラサレハ同一梁上ニ横線ヲ置クヘカラス

第五條 木甲板ノ長ハ船ノ首尾兩端及ヒ艙口ノ間ヲ除クノ外二十呎以上ト爲スヘシ

第六條 揚船機、揚貨機、繫船器等ノ下部ニ於ケル甲板ハ適當ノ補強構造ヲ爲スヘシ

第十三章 過當比例ノ船舶

第一條 過當比例ノ船舶トハ長、深ノ八倍ヲ超ユルカ又ハ長、幅ノ五倍ヲ超ユルモノヲ謂フ

第二條 過當比例ノ船舶ニハ其ノ長ト深及ヒ幅トノ割合ニ依リ左表ノ規定ニ從ヒ上部ニ於テ梁壓材及ヒ舷側厚板ノ截面ヲ増シ下部ニ於テハ内龍骨ノ截面ヲ増スカ若ハ副内龍骨又ハ側内龍骨ヲ増設スヘシ

過當比例	例	梁壓材ノ增加スヘキ トノ割合	舷側厚板ノ增加スヘキ トノ割合	副内龍骨又ハ側内龍骨ノ增加スヘキ トノ割合	内龍骨ノ增加スヘキ トノ割合
長、深ノ八倍以上九倍未満	六分ノ一	六分ノ一	四分ノ一	四分ノ一	四分ノ一
長、深ノ九倍以上十倍未満	四分ノ一	四分ノ一	三分ノ一	三分ノ一	三分ノ一
長、深ノ十倍以上十一倍未満	三分ノ一	三分ノ一	二分ノ一	二分ノ一	二分ノ一
長、深ノ七倍以上八倍未満	三分ノ一	三分ノ一	二分ノ一	二分ノ一	二分ノ一

第三條 第二數二萬五千以上ノ過當比例ノ船舶ニ於テハ船ノ首尾ヲ通シテ左表ニ掲クル鐵製斜帶板ヲ肋骨ノ外面ニ取附クヘシ

第二數	斜帶板ノ寸法	
	幅	厚
二萬五千以上	三吋	十六分ノ六吋
四萬二千以上	三吋半	十六分ノ七吋
五萬八千以上	四吋	十六分ノ八吋
七萬五千以上	四吋	十六分ノ十吋
十萬五千以上	四吋半	十六分ノ十一吋
十二萬七千以上	五吋	十六分ノ十二吋

第四條 斜帶板ハ船鏢ノ下部ヨリ肋根材長肢ノ頭部又ハ半肋根材ノ頭部下第一肋材ノ頭部トノ中間迄達セシムヘシ

第五條 斜帶板ハ肋骨ニ四十五度ノ角度ニ取附ケ其ノ心距ハ船ノ長、深ノ八倍以上九倍未滿若ハ幅ノ五倍以上六倍未滿ナルトキハ八呎以下、又船ノ長、深ノ九倍以上十倍未滿若ハ幅ノ六倍以上七倍未滿ナルトキハ七呎以下、又船ノ長、深ノ十倍以上十一倍未滿若ハ幅ノ七倍以上八倍未滿ナルトキハ六呎以下ト爲スヘシ

第六條 斜帶板ハ船首ニ於テハ頭部ヲ後方ニ向ハシメ船尾ニ於テハ之ヲ前方ニ向ハシムル様配置シ中央部ニ於テ三本以上相交叉セシムヘシ

第十四章 甲板室、船首樓、船橋樓、船尾樓、低船首樓及ヒ低船尾樓

第一條 輕甲板ノ甲板室ハ其ノ高七呎ヲ超ユヘカラス又船ノ首尾ニ於テ船ノ長ノ五分ノ一間ニハ之ヲ設クヘカラス

第二條 船首樓、船橋樓、船尾樓、低船首樓、低船尾樓等ノ合長ハ船ノ長ノ五分ノ三ヲ超ユヘカラス船首樓、船橋樓及ヒ船尾樓ノ各材ノ截面ハ重甲板以下ノ各材ノ截面ノ四分ノ三以上ト爲スヘシ船首樓、船橋樓又ハ船尾樓ヲ設クルトキハ重甲板ニ於ケル肋骨間ノ空隙ハ船鏑ヲ以テ閉塞シ之ヲ水密ト爲スヘシ

第三條 低船首樓及ヒ低船尾樓ノ外板其ノ他ノ諸材ノ寸法ハ重甲板以下ニ要スル者ニ等クシ又梁、船首肘材及ヒ船尾肘材ノ配置ハ龍骨ノ上面ヨリ低船首樓又ハ低船尾樓ノ甲板梁ノ上面迄ノ深ヲ第七章及ヒ第九章ノ深ニ充テ之ヲ定ムヘシ

低船首樓甲板又ハ低船尾樓甲板及ヒ重甲板ノ梁壓材並ニ梁受材又ハ梁受板ハ肋骨ノ心距ノ五倍以上相累ヌヘシ
低船首樓又ハ低船尾樓ヲ設クル船舶ニ於テハ上甲板ノ高ニ於テ船ノ首尾ヲ通シテ舷側厚板ヲ設クヘシ

第十五章 艙口、機關室口、載貨門及ヒ其ノ他ノ諸口

第一條 長十呎以上ノ艙口兩端ノ梁及ヒ帆船ニ於ケル櫓ノ前後ノ梁ハ第十章第十七條ニ規定スル橫梁曲材ヲ以テ船側ニ固著スヘシ

第二條 上甲板及ヒ正甲板ノ艙口ノ長八呎以上ナルトキハ其ノ中央ニ取外シ得ヘキ堅牢ノ梁ヲ設ケ其ノ長十呎以上ナルトキハ縱梁ノ兩端ハ第十章第十七條ニ規定スル橫梁曲材ヲ以テ甲板梁ニ固著スヘシ又其ノ長十五呎以上ナルトキハ適當ノ補強構造ヲ爲スヘシ

第三條 上甲板ニ設クル艙口、汽機室口、汽罐室口、載炭口、出入口、天窓、通風器等ノ緣材ハ其

ノ高甲板上面ヨリ第二級船ニ於テハ九吋以上、第一級船ニ於テハ十二吋以上トシ且堅牢ナル覆蓋ヲ設クヘシ

第四條 帆船ニ於テハ上甲板及ヒ檣ヲ楔止メト爲ス甲板ニ於ケル檣ノ前後ノ梁間ハ縱梁、填材及ヒ横曲材ヲ以テ固メ且其ノ上面ニ第三號表ニ掲クル甲板ノ厚ノ一倍三分ノ一ノ厚ト檣徑ノ二倍ヨリ少カラサル幅ト有スル槽孔板ヲ設クヘシ

第五條 汽機室口及ヒ汽鑪室口ハ成ルヘク小サク之ヲ造リ其ノ周圍ニハ縁材ヲ取附ケ甲板間ニ圍壁ヲ設クヘシ

第六條 上甲板ニ設クル汽機室口及ヒ汽鑪室口ニハ甲板上面ヨリ第二級船ニ於テハ二呎以上、第一級船ニ於テハ二呎六吋以上ノ高ヲ有スル圍壁ヲ取附ケ汽機室口ノ上端ニ天窓ヲ設クヘシ

第七條 一層甲板船ノ甲板及ヒ二層甲板船ノ正甲板ニ於ケル汽機室口及ヒ汽鑪室口ノ兩側ハ堅材ノ木甲板ヲ張詰メ且横梁曲材ヲ以テ半梁ノ兩端ヲ固著スヘシ

第八條 機關室口ノ兩端及ヒ中央ニハ第四號表ニ掲クル梁ノ截面ヨリ三分ノ二増シタル截面ヲ有スル堅材ノ特設梁ヲ設ケ其ノ兩端ハ堅梁曲材一本及ヒ横梁曲材二本ヲ以テ船側ニ固著スヘシ但汽機室ト汽鑪室ト隔離スルトキハ各室ノ兩端ニ特設梁ヲ設クヘシ

第九條 船側ニ載貨門又ハ載炭門其ノ他大ナル口ヲ設クルトキハ其ノ周圍ニハ適當ノ補強構造ヲ爲シ其ノ戸ハ堅牢ニ作り適當ノ締具ヲ備ヘ閉鎖シタルトキハ水密ト爲ルヘキ構造ト爲スヘシ

第十條 載貨門及ヒ載炭門ハ舷側厚板、梁受材、梁受板、副梁受板及ヒ内部腰板ヲ切缺キテ設クヘカラス但特ニ相當ノ補強構造ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十六章 固著法及ヒ固著釘

- 第一條 總テ重要ナル部分ニ用ウル固著釘ノ徑ハ第六號表ニ據ルヘシ但用材ノ寸法第二號表乃至第五號表ニ掲グルモノヨリ大ナルトキハ其ノ部分ニ用ウル固着釘ハ適當ニ釘徑ヲ増スヘシ
- 第二條 敲釘ヲ打込ムヘキ釘孔ノ徑ハ釘徑ヨリ十六分ノ一吋以上小ナルコトヲ要ス
- 第三條 敲釘ハ總テ同金屬ノ座金ノ上ニテ敲著スヘシ
- 第四條 板ヲ肋骨又ハ梁ニ固著スヘキ打込釘ノ長ハ貫通スル板ノ厚ノ二倍以上ト爲シ又其ノ徑ハ其ノ部分ニ用ウル敲釘ノ徑ヨリ十六分ノ二吋減シタルモノヨリ少カルヘカラス又角釘ヲ用ウルトキハ其ノ邊ハ圓釘ノ徑ノ十分ノ九以上ト爲スヘシ
- 第五條 木釘ヲ用ウルトキハ其ノ兩端ハ之ヲ切開シテ楔止メヲ爲スカ又ハ填絮ヲ用キテ水密ト爲スヘシ
- 第六條 力材又ハ内龍骨ト船首材、船尾材又ハ龍骨トヲ貫通スル敲釘ノ心距ハ十八吋以內ト爲スヘシ但内龍骨カ力材ノ上部ニ達スルトキハ敲釘ハ内龍骨ヲ貫通スルヲ要ス
- 第七條 肋骨ハ打込釘ヲ以テ龍骨ニ固著スヘシ
- 第八條 龍骨及ヒ内龍骨ハ肋骨毎ニ敲釘ヲ以テ肋骨ヲ貫通シテ緊著スヘシ
- 第九條 側内龍骨ハ肋骨毎ニ敲釘ヲ以テ肋骨ヲ貫通シテ緊著スヘシ
- 第十條 側内厚板ハ肋骨一本置ニ敲釘ヲ以テ肋骨ヲ貫通シテ緊著シ其ノ他ノ肋骨ニハ打込釘ヲ以テ固著スヘシ
- 第十一條 彎曲部縦通材ハ其ノ各材ノ幅八吋未滿ナルトキハ肋骨一本置ニ敲釘及ヒ打込釘ヲ以テ、其ノ他ノ肋骨ニハ打込釘二箇ヲ以テ固著スヘシ但其ノ幅八吋以上ナルトキハ適當ニ敲釘ノ數ヲ増スヘシ
- 第十二條 上甲板梁受材及ヒ梁受板ハ肋骨毎ニ敲釘及ヒ打込釘ヲ以テ固著スヘシ但敲釘ハ外板迄貫

通セシムルコトヲ要ス

正甲板若ハ艙梁ノ梁受材及ヒ梁受板ハ肋骨一本置ニ敲釘二箇ヲ以テ、其ノ他ノ肋骨ニハ敲釘及ヒ打込釘ヲ以テ固著スヘシ

各層梁ノ副梁受板ノ固著法ハ總テ上甲板梁受材若ハ梁受板ニ等クスヘシ

第十二條 梁壓材ハ肋骨毎ニ梁壓材、肋骨及ヒ外板ヲ貫通スル敲釘ヲ以テ緊著スヘシ但正甲板若ハ艙梁ノ梁壓材ノ敲釘ハ外板ヲ貫通セサルモ妨ナシ

第十三條 副梁壓材ハ梁毎ニ敲釘ヲ以テ緊著スヘシ

第十四條 船鏢ハ肋骨ノ間ニ於テ交互ニ敲釘ト打込釘トヲ以テ舷側厚板ニ固著スヘシ

船鏢ハ梁ノ中間ニ於テ打込釘ヲ以テ梁壓材ニ固著スヘシ

船鏢ヲ貫キテ舷牆柱ヲ設クルトキハ船鏢ハ舷牆柱毎ニ敲釘ヲ以テ固著スヘシ又船鏢ヲ二材合セト

爲ストキハ尙舷牆柱ノ間ニ於テモ敲釘ヲ以テ緊著スヘシ

第十五條 内部腰板ノ固著法ハ上甲板梁受材ニ等クスヘシ

第十六條 梁ハ其ノ兩端ニ於テ船鏢、梁壓材及ヒ梁受材若ハ梁受板ヲ貫通スル敲釘ヲ以テ緊著スヘシ但第二級船ニシテ第二數二萬五千未満ナルトキハ敲釘ノ代リニ打込釘ヲ用ウルモ妨ナシ

第十七條 鐵製ノ船首肘材及ヒ船尾肘材ハ其ノ咽喉部ヲ船首材又ハ船尾材ニ、其ノ腕ヲ肋骨毎ニ敲

釘ヲ以テ緊著スヘシ

第十八條 梁曲材ニ用ウル敲釘ノ心距ハ十二吋ヲ超ユヘカラス又各腕ニ於ケル固著釘ノ數ハ咽喉部

釘ノ外二箇以上ナルヲ要ス

第十九條 柔材ヲ以テ肋骨ヲ構成スル船舶ニ於テハ梁曲材及ヒ肘材ニ用ウル敲釘ハ總テ外板迄貫通

セシムルヲ要ス

第二十條 外板ノ横線ノ兩側ニ於テハ二箇ノ釘ヲ以テ外板ヲ肋骨ニ固著スヘシ但其ノ一ハ敲釘ナルヲ要ス

横線ニ鄰接スル肋骨ニ敲釘ヲ以テ外板ヲ固著スルトキハ横線ノ兩側ニハ打込釘ヲ用ウルモ妨ナシ
第二十一條 外板ハ其ノ幅八吋未満ナルトキハ肋骨毎ニ二箇、幅八吋以上十吋未満ナルトキハ肋骨毎ニ三箇、幅十吋以上ナルトキハ肋骨毎ニ四箇ノ釘ヲ以テ固著スヘシ但外板ノ幅十吋以上ナルトキト雖モ單材ヲ以テ肋骨ヲ構成スル船舶ニ於テハ肋骨毎ニ三箇ヲ用ウルモ妨ナシ

前項ノ固著釘ハ肋骨一本置ニ一箇以上ノ敲釘又ハ木釘ナルヲ要ス

第二十二條 龍骨翼板ハ前條ノ規定ノ外肋骨一本置ニ敲釘ヲ以テ緊著スヘシ
龍骨翼板ハ其ノ厚五吋以上ナルトキハ中央部ニ於テ船ノ長ノ五分ノ三間ハ肋骨ノ間ニ於テ六呎以内ノ心距ニ敲釘ヲ以テ龍骨ニ緊著スヘシ

第二十三條 舷側厚板ハ本章第二十一條ノ規定ノ外敲釘ヲ以テ肋骨一本置ニ肋骨及ヒ梁受材、受梁板又ハ梁壓材ヲ貫通シテ緊著スヘシ

第二十四條 木甲板ハ幅六吋以下ナルトキハ一箇以上、幅六吋ヲ超ユルトキハ二箇以上ノ打込釘ヲ以テ梁毎ニ固著スヘシ

第二十五條 斜帶板ハ肋材毎ニ敲釘ヲ以テ肋骨ニ緊著スヘシ

第十七章 通風路及ヒ塗水路

第一條 各甲板ノ直下及ヒ其ノ梁受材若ハ梁受板又ハ副梁受板ノ下部ニハ船ノ首尾ヲ通シテ適當ノ通風路ヲ設クヘシ

船ノ首尾兩端ニ於ケル艙内ニ於テハ前項通風路ノ外梁受材若ハ梁受板ト内龍骨トノ間ニ通風路ヲ設クヘシ

第二條 肋骨ノ下面ニハ龍骨ノ兩側ニ於テ船ノ首尾ヲ通シテ適當ノ塗水路ヲ設クヘシ但外板ノ縱線
上ニ設クヘカラス

第十八章 舵

第一條 舵心材ハ一材ニテ作り其ノ寸法ハ第三號表ニ據ルヘシ

第二條 蝶番ノ數及ヒ舵針ノ寸法ハ第三號表ニ據ルヘシ但下端ノ舵架ハ蝶番ノ數ニ加算スルモノト

ス

第三條 舵ノ壺金ハ厚ハ舵針ノ徑ノ二分ノ一ヨリ、深ハ舵針ノ徑ノ一倍四分ノ一ヨリ少カルヘカラ

ス

第四條 輕甲板船ニ於テハ舵心材及ヒ舵針ノ徑ヲ重甲板船ニ要スルモノニ等クスヘシ

第五條 舵心材ハ力材ニ用ウルモノニ等キ敲釘ヲ以テ矧材ニ固著シ其ノ心距ハ十八吋ヲ超ユヘカラ

ス

第六條 銅又ハ黃銅ノ船底包板ヲ有スル船舶ノ蝶番及ヒ舵針ハ喫水線以下ニ於テハ黃銅製ナルヲ要

ス

第十九章 填絮及ヒ船底包板

第一條 接合ヲ水密ト爲スヘキ部分ニハ填絮ヲ施スヘシ

第二條 填絮ヲ施シタル部分ハ唧筒ヲ以テ水ヲ注射スル水密試驗ニ堪フルコトヲ要ス

第三條 船底ニハ最大喫水線上少クモ一呎ノ所迄銅、黃銅若ハ木ノ船底包板ヲ張詰ムヘシ但適當ノ

防腐劑ヲ塗抹スルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二十章 檣、帆架及ヒ斜檣

第一條 檣、帆架、斜檣等ノ寸法ハ左表ニ據ルヘシ

名		稱	材料	徑
「シツプ」	「バーク」及ヒ	「ブリツク」ノ正櫓、前櫓、前上櫓及ヒ	杉	長三呎ニ付一時
正上櫓	「シツプ」ノ後上櫓	「シツプ」ノ後櫓		長四呎ニ付一時
「シツプ」	「バーク」ノ前櫓	「トツプスルスクリーナー」		長四呎ニ付一時
及ヒ	「バーク」ノ前櫓	「バーク」ノ後上櫓		長四呎ニ付一時
頂櫓	「バーク」及ヒ	「バーク」ノ後上櫓		長九呎ニ付二時
「ケンタイン」	「バーク」及ヒ	「バーク」ノ正上櫓		長七呎ニ付四呎
「スクリーナー」	「バーク」及ヒ	「バーク」ノ正櫓		長十四呎ニ付四時
「バーク」	「バーク」及ヒ	「バーク」ノ正櫓		
及ヒ	「バーク」及ヒ	「バーク」ノ正櫓		
斜櫓				
「ジツブーム」	「フラインク」	「ジツブーム」及ヒ		
「ジツブーム」	「フラインク」	「ジツブーム」及ヒ		

第二條 下櫓ノ上端ノ徑ハ上櫓ノ下端ノ徑ヨリ小ナルヘカラス
 第三條 一材櫓ノ寸法ヲ定ムルニハ内龍骨ノ上面ヨリ下櫓索具ヲ取附クル處迄ヲ下櫓ノ長ト爲シ第一條ノ規定ニ依ルヘシ
 (別表)

	甲	乙	丙	丁
龍骨及ヒ副龍骨	樺、楓	楡、榿、栗、楠、タモ	椎、桂、鹽地、桧、松	
船首材及ヒ副船首材	樺、楓	楡、榿、栗、楠、タモ	椎、桂、鹽地、桧、松	
船尾材及ヒ舵柱船尾管脚材	樺、楓		椎、桂、鹽地、桧、松	
肋骨	楓、楠	楡、榿、栗、タモ	椎、桂、鹽地、桧、松	
船尾横繫材	楓、楠	楡、榿、栗、タモ	椎、桂、鹽地、桧、松	
船尾縱繫材	樺、楓、楠	楡、榿、栗、タモ	椎、桂、鹽地、桧、松	
力材	樺、楓、楠	楡、榿、栗、タモ	椎、桂、鹽地、桧、松	

第 一 號 表

材 料

舵心材	木釘、木栓	打込釘	敲釘	箱口及機關室口、 綠材	木甲板	梁、縱梁	副骨、梁板	舷側厚板	外板、外部腰板	船首肘材、船尾肘材、 梁曲材、根曲材	內部腰板	船鰭	副梁受板	梁受材	副梁受材	梁壓材	彎曲部縱通材	側內厚板	內龍骨、側內龍骨、副 內龍骨	
樺、楓	樺、楓	黃銅、銅	黃銅、銅	樺、楓	樺、楓	楓	楓	楓	楓	楓、楠	楓	樺、楓	楓	楓	楓	樺、楓	楓	楓	樺、楓	
		亞鉛鍍鐵	亞鉛鍍鐵	檜、楠、梅、楠、松、栗、 夕毛	檜、松	檜、梅、檜、松、夕毛	檜、松	檜、松	檜、松	楠、梅、松、栗、夕毛	松、檜、楠、桂、鹽地	檜、松、檜、鹽地	檜、松、檜、桂、鹽地	檜、松、檜、桂、鹽地	檜、松、檜、鹽地	檜、松、檜、鹽地	檜、松、桂、鹽地	檜、松、桂、鹽地	檜、松、楠、栗、夕毛	
		鐵	鐵	椎、桂、鹽地、檜	赤松、姬子松、 赤身杉、黑部杉、桂	赤松、姬子松、 赤身杉、黑部杉、桂	赤松、姬子松、 赤身杉、黑部杉、桂	赤松、姬子松、 赤身杉、黑部杉、桂	赤松、姬子松、 赤身杉、黑部杉、桂	椎、桂、鹽地、檜	赤松、姬子松、 赤身杉、黑部杉、桂	赤松、姬子松、 赤身杉、黑部杉、桂	赤松、姬子松、 赤身杉、黑部杉、桂	赤松、姬子松、 赤身杉、黑部杉、桂	赤松、姬子松、 赤身杉、黑部杉、桂	赤松、姬子松、 赤身杉、黑部杉、桂	赤松、姬子松、 赤身杉、黑部杉、桂	赤松、姬子松、 赤身杉、黑部杉、桂	赤松、姬子松、 赤身杉、黑部杉、桂	椎、桂、鹽地、檜、松
				赤松、赤身杉	杉、蝦夷松	杉	杉	杉	杉、蝦夷松			杉、蝦夷松	杉、蝦夷松	杉、蝦夷松	杉、蝦夷松	杉、蝦夷松	杉、蝦夷松	杉、蝦夷松	杉、蝦夷松	杉、蝦夷松

表 號

面 截

材 料	心 距	合 材 二			材 根 肋
		材 根 肋	材 部 曲 變	材 頂	
13—14	13	$3\frac{1}{2}$	3	$2\frac{1}{2}$	$4\frac{1}{4}$
14—15	13	$3\frac{3}{4}$	$3\frac{1}{4}$	$2\frac{3}{4}$	$4\frac{1}{2}$
15—16	14	4	$3\frac{1}{2}$	3	$4\frac{3}{4}$
16—17	14	$4\frac{1}{4}$	$3\frac{3}{4}$	$3\frac{1}{4}$	5
17—18	15	$4\frac{1}{2}$	4	$3\frac{1}{4}$	$5\frac{1}{2}$
18—19	15	$4\frac{3}{4}$	$4\frac{1}{4}$	$3\frac{1}{2}$	$5\frac{3}{4}$
19—20	16	5	$4\frac{1}{2}$	$3\frac{1}{2}$	6
20—21	16	$5\frac{1}{4}$	$4\frac{3}{4}$	$3\frac{3}{4}$	$6\frac{1}{2}$
21—22	17	$5\frac{1}{2}$	5	$3\frac{3}{4}$	$6\frac{3}{4}$
22—23	17	$5\frac{3}{4}$	$5\frac{1}{4}$	4	7
23—24	18	6	$5\frac{1}{2}$	4	$7\frac{1}{4}$
24—25	18	$6\frac{1}{4}$	$5\frac{1}{2}$	$4\frac{1}{4}$	$7\frac{3}{4}$
25—26	19	$6\frac{1}{2}$	$5\frac{3}{4}$	$4\frac{1}{4}$	8
26—27	19	$6\frac{3}{4}$	$5\frac{1}{4}$	$4\frac{1}{2}$	$8\frac{1}{4}$
27—28	20	7	6	$4\frac{1}{2}$	$8\frac{1}{2}$
28—29	21	$7\frac{1}{4}$	$6\frac{1}{4}$	$4\frac{3}{4}$	9
29—30	22	$7\frac{3}{4}$	$6\frac{1}{2}$	$4\frac{3}{4}$	$9\frac{1}{2}$
30—31	23	8	$6\frac{3}{4}$	$4\frac{3}{4}$	$9\frac{3}{4}$
31—32	24	$8\frac{1}{2}$	7	5	$10\frac{1}{4}$
32—33	24	$8\frac{3}{4}$	7	5	$10\frac{3}{4}$
33—34	25	9	$7\frac{1}{4}$	5	11
34—35	25	$9\frac{1}{4}$	$7\frac{1}{4}$	$5\frac{1}{4}$	$11\frac{1}{4}$
35—36	26	$9\frac{1}{2}$	$7\frac{1}{2}$	$5\frac{1}{4}$	$11\frac{1}{2}$
36—37	26	$9\frac{3}{4}$	$7\frac{1}{2}$	$5\frac{1}{4}$	$11\frac{3}{4}$
37—38	27	10	$7\frac{3}{4}$	$5\frac{1}{2}$	12
38—39	27	$10\frac{1}{4}$	$7\frac{3}{4}$	$5\frac{1}{2}$	$12\frac{1}{2}$
39—40	28	$10\frac{1}{2}$	$8\frac{1}{4}$	$5\frac{3}{4}$	$12\frac{3}{4}$
40—41	28	$10\frac{3}{4}$	$8\frac{1}{4}$	$5\frac{3}{4}$	13
41—42	29	11	$8\frac{1}{2}$	$5\frac{3}{4}$	$13\frac{1}{2}$
42—43	29	$11\frac{1}{4}$	$8\frac{1}{2}$	6	$13\frac{3}{4}$
43—44	30	$11\frac{1}{2}$	$8\frac{3}{4}$	6	14

號 三 第

梁、板張內、骨龍內、柱能、材尾船、材首船、骨龍

船	龍	外	龍	外	內	木	龍	龍	龍	材	材	材
鏢	板	板	板	板	板	板	徑	數	徑	材	材	材
概	概	松	概	松	杉	松	概	鐵	黃	銅	又	材
寸	寸	寸	寸	寸	寸	寸	寸	寸	寸	寸	寸	寸
7	7 × 2 ¹ / ₄	2 ¹ / ₄	7 × 2	1 ¹ / ₂	1	2	7	2	1 ⁹ / ₁₆	3300—5000	上以	深本
	7 ¹ / ₂ × 2 ¹ / ₂	2 ¹ / ₄	7 ¹ / ₂ × 2	1 ³ / ₄	1 ¹ / ₄	2 ¹ / ₄	8	2	1 ¹¹ / ₁₆	5000—8400		
2	8 × 2 ³ / ₄	2 ¹ / ₂	8 × 2 ¹ / ₄	2	1 ¹ / ₂	2 ¹ / ₄	9	3	1 ⁷ / ₁₆	8400—12500		
2	8 ¹ / ₂ × 3	2 ¹ / ₂	8 ¹ / ₂ × 2 ¹ / ₄	2 ¹ / ₄	1 ¹ / ₂	2 ¹ / ₂	9 ¹ / ₂	3	1 ⁸ / ₁₆	12500—16700		
2 ¹ / ₄	9 × 3 ¹ / ₄	2 ³ / ₄	9 × 2 ¹ / ₂	2 ¹ / ₄	1 ³ / ₄	2 ¹ / ₂	10	3	1 ⁹ / ₁₆	16700—20800		
2 ¹ / ₄	9 ¹ / ₂ × 3 ¹ / ₄	2 ³ / ₄	9 ¹ / ₂ × 2 ¹ / ₂	2 ¹ / ₂	1 ³ / ₄	2 ¹ / ₂	10 ¹ / ₂	3	1 ¹⁰ / ₁₆	20800—25000		
2 ¹ / ₂	10 × 3 ¹ / ₂	3	10 × 2 ³ / ₄	2 ¹ / ₂	2	2 ¹ / ₂	11	3	1 ¹¹ / ₁₆	25000—29100		
2 ¹ / ₂	10 ¹ / ₄ × 3 ³ / ₄	3	10 ¹ / ₄ × 3	2 ¹ / ₂	2	2 ¹ / ₂	11 ¹ / ₄	3	1 ¹² / ₁₆	29100—33300		
2 ³ / ₄	10 ¹ / ₂ × 3 ³ / ₄	3 ¹ / ₄	10 ¹ / ₂ × 3 ¹ / ₄	2 ³ / ₄	2 ¹ / ₄	2 ³ / ₄	11 ¹ / ₂	3	1 ¹³ / ₁₆	33300—37500		
2 ³ / ₄	10 ³ / ₄ × 4	3 ¹ / ₄	10 ³ / ₄ × 3 ¹ / ₄	2 ³ / ₄	2 ¹ / ₄	2 ³ / ₄	11 ³ / ₄	3	1 ¹⁴ / ₁₆	37500—42000		
3	11 ¹ / ₄ × 4 ¹ / ₄	3 ¹ / ₂	11 ¹ / ₄ × 3 ¹ / ₂	2 ³ / ₄	2 ¹ / ₂	2 ³ / ₄	12 ¹ / ₄	4	1 ¹² / ₁₆	42000—50000		
3 ¹ / ₄	11 ³ / ₄ × 4 ¹ / ₂	3 ¹ / ₂	11 ³ / ₄ × 3 ¹ / ₂	3	2 ¹ / ₂	2 ³ / ₄	12 ³ / ₄	4	1 ¹⁴ / ₁₆	50000—58400		
3 ¹ / ₂	12 ¹ / ₄ × 4 ³ / ₄	3 ³ / ₄	12 ¹ / ₄ × 3 ³ / ₄	3	2 ¹ / ₂	3	13 ¹ / ₄	4	2	58400—66600		
3 ³ / ₄	13 × 5 ¹ / ₄	4	13 × 3 ³ / ₄	3 ¹ / ₄	2 ³ / ₄	3	13 ³ / ₄	4	2 ² / ₁₆	66600—75000		
3 ³ / ₄	13 ¹ / ₂ × 5 ¹ / ₂	4 ¹ / ₄	13 ¹ / ₂ × 4	3 ¹ / ₄	3	3 ¹ / ₄	14 ¹ / ₄	4	2 ¹ / ₁₆	75000—83000		
4	14 × 5 ³ / ₄	4 ¹ / ₂	14 × 4	3 ¹ / ₂	3	3 ¹ / ₄	14 ¹ / ₂	4	2 ⁶ / ₁₆	83000—99900		
4	14 ¹ / ₄ × 6	4 ³ / ₄	14 ¹ / ₄ × 4	3 ¹ / ₂	3 ¹ / ₄	3 ¹ / ₂	15 ¹ / ₄	4	2 ⁸ / ₁₆	99900—116000		
4	14 ¹ / ₂ × 6 ¹ / ₄	5	14 ¹ / ₂ × 4 ¹ / ₄	4	3 ¹ / ₄	3 ¹ / ₂	15 ¹ / ₂	4	2 ¹⁰ / ₁₆	116000—133000		
4	14 ³ / ₄ × 6 ¹ / ₂	5 ¹ / ₄	14 ³ / ₄ × 4 ¹ / ₄	4	3 ¹ / ₂	3 ³ / ₄	15 ³ / ₄	4	2 ¹³ / ₁₆	133000—150000		
4	15 × 6 ³ / ₄	5 ¹ / ₄	15 × 4 ¹ / ₄	4	3 ¹ / ₂	4	16	4	3	150000—167000		

表

法寸ノ等針能ト及材心能、板甲木、板外、板受

料材 第一級	船尾骨、 船首柱材	内 船 骨	船尾 横 製 材	總 曲 部 縱 通 材	側 内 厚 板	及 上 甲 板 梁 受 板 正 甲 板 梁 副 梁 受 板	上 甲 板 梁 副 梁 受 板	船 梁 ノ 梁 受 板	正 甲 板 梁 及 ト
	椴	椴	椴	松	松	椴	椴	椴	椴
3300—5000	7	7 ¹ / ₂		2 ¹ / ₄	7 × 2 ¹ / ₄	8 × 2	7 × 1 ³ / ₄		
5000—8400	7 ¹ / ₂	8		2 ¹ / ₂	7 ¹ / ₂ × 2 ¹ / ₂	8 ¹ / ₂ × 2	7 ¹ / ₂ × 1 ³ / ₄		
8400—12500	8	8 ¹ / ₂	7 ¹ / ₂	2 ³ / ₄	8 × 2 ³ / ₄	9 × 2 ¹ / ₄	8 × 2	9 ¹ / ₂ × 2 ¹ / ₄	
12500—16700	8 ¹ / ₂	9	8	3	8 ¹ / ₂ × 3	9 ¹ / ₄ × 2 ¹ / ₄	8 ¹ / ₄ × 2	9 ³ / ₄ × 2 ¹ / ₄	
16700—20800	9	10	8 ¹ / ₄	3	9 × 3	9 ¹ / ₂ × 2 ¹ / ₂	8 ¹ / ₂ × 2 ¹ / ₄	10 × 2 ¹ / ₄	
20800—25000	9 ¹ / ₂	10 ¹ / ₂	8 ¹ / ₂	3 ¹ / ₄	9 ¹ / ₂ × 3 ¹ / ₄	9 ³ / ₄ × 2 ¹ / ₂	8 ³ / ₄ × 2 ¹ / ₄	10 ¹ / ₄ × 2 ¹ / ₄	
25000—29100	10	11	9	3 ¹ / ₂	10 × 3 ¹ / ₄	10 × 3	9 × 2 ¹ / ₂	10 ¹ / ₂ × 3	
29100—33300	10 ¹ / ₄	11 ¹ / ₄	9 ¹ / ₄	3 ¹ / ₂	10 ¹ / ₄ × 3 ¹ / ₂	10 × 3	9 × 2 ¹ / ₂	10 ³ / ₄ × 3	
33300—37500	10 ¹ / ₂	11 ¹ / ₂	9 ³ / ₄	3 ¹ / ₂	10 ¹ / ₂ × 3 ¹ / ₂	10 ¹ / ₄ × 3 ¹ / ₄	9 ¹ / ₄ × 2 ¹ / ₂	11 × 3 ¹ / ₄	
37500—42000	10 ³ / ₄	11 ³ / ₄	10	3 ¹ / ₂	10 ¹ / ₄ × 3 ¹ / ₂	10 ¹ / ₄ × 3 ¹ / ₄	9 ¹ / ₄ × 2 ¹ / ₂	11 × 3 ¹ / ₄	
42000—50000	11 ¹ / ₄	12	10 ¹ / ₄	4	11 ¹ / ₄ × 4	10 ¹ / ₂ × 3 ¹ / ₂	9 ¹ / ₂ × 2 ¹ / ₂	11 ¹ / ₄ × 3 ¹ / ₄	
50000—58400	11 ³ / ₄	12 ³ / ₄	10 ³ / ₄	4 ¹ / ₄	11 ³ / ₄ × 4 ¹ / ₄	10 ¹ / ₂ × 3 ¹ / ₂	9 ¹ / ₂ × 2 ³ / ₄	11 ¹ / ₄ × 3 ¹ / ₄	
58400—66600	12 ¹ / ₄	13 ¹ / ₄	11 ¹ / ₄	4 ¹ / ₄	12 ¹ / ₄ × 4 ¹ / ₄	10 ³ / ₄ × 3 ³ / ₄	9 ³ / ₄ × 2 ³ / ₄	11 ¹ / ₂ × 3 ³ / ₄	
66600—75000	13	14	12	4 ¹ / ₂	13 × 4 ¹ / ₂	10 ³ / ₄ × 3 ³ / ₄	9 ³ / ₄ × 2 ³ / ₄	11 ¹ / ₂ × 4	
75000—83000	13 ¹ / ₂	14 ¹ / ₂	12 ¹ / ₂	4 ¹ / ₂	13 ¹ / ₂ × 4 ¹ / ₂	10 ³ / ₄ × 4	9 ³ / ₄ × 3	11 ¹ / ₂ × 4 ¹ / ₄	
83000—99900	14	15	13	4 ³ / ₄	14 × 4 ³ / ₄	11 × 4	10 × 3	11 ³ / ₄ × 4 ¹ / ₂	
99900—116000	14 ¹ / ₄	15 ¹ / ₄	13 ¹ / ₄	4 ³ / ₄	14 ¹ / ₄ × 4 ³ / ₄	11 × 4	10 × 3 ¹ / ₄	11 ³ / ₄ × 4 ³ / ₄	
116000—133000	14 ¹ / ₂	15 ¹ / ₂	13 ¹ / ₂	5	14 ¹ / ₂ × 5	11 × 4 ¹ / ₄	10 × 3 ¹ / ₄	11 ³ / ₄ × 4 ³ / ₄	
133000—150000	14 ³ / ₄	15 ³ / ₄	13 ³ / ₄	5 ¹ / ₄	14 ³ / ₄ × 5 ¹ / ₄	11 × 4 ¹ / ₄	10 × 3 ¹ / ₂	11 ³ / ₄ × 4 ³ / ₄	
150000—167000	15	16	14	5 ¹ / ₂	15 × 5 ¹ / ₂	11 × 4 ¹ / ₄	10 × 3 ¹ / ₂	11 ³ / ₄ × 5	

第五 鐵製梁曲材及ヒ梁曲材代用スル

第四號表 梁ノ面截

側梁腕ノ材ノ長	釘 趾			ヒ 肘板	山形材及	代用スル	梁曲材ニ	第 二 數	梁 船		梁 甲 板	
	咽 喉 部	中 間	腕 端						材 形 山	板 肘	以上 未満	梁
				時	時	時	材ノ長					角 時
22		9/16	9/16	7/16	2×2× 4/16	8×10× 4/16	3300-5000	14-15	7 1/2	5 3/4		
22		10/16	9/16	8/16	2×2× 4/16	9×11× 4/16	5000-8400	15-16	7 3/4	6		
22		11/16	10/16	9/16	2×2× 5/16	10×12× 5/16	8400-12500	16-17	8	6 1/4		
27		11/16	10/16	9/16	2 1/4 × 2 × 5/16	10×13× 5/16	12500-16700	17-18	8 1/2	6 1/2		
27		11/16	10/16	9/16	2 1/2 × 2 × 5/16	10×14× 5/16	16700-20800	18-19	8 3/4	6 3/4		
27		12/16	11/16	10/16	2 1/2 × 2 × 5/16	12×16× 5/16	20800-25000	19-20	9	7		
27	36	12/16	11/16	10/16	3×2 1/2 × 5/16	12×16× 5/16	25000-29100	20-21	9 1/4	7 1/4		
32	42	12/16	11/16	10/16	3×2 1/2 × 5/16	12×16× 5/16	29100-33300	21-22	9 1/2	7 1/2		
32	42	13/16	12/16	10/16	3×2 1/2 × 5/16	12×18× 5/16	33300-37500	22-23	10	7 3/4		
32	42	13/16	12/16	11/16	3×2 1/2 × 5/16	12×18× 5/16	37500-42000	23-24	10 1/4	8		
36	48	13/16	12/16	11/16	3 1/4 × 3 × 6/16	14×21× 6/16	42000-50000	24-25	10 1/2	8 1/4		
36	48	14/16	13/16	11/16	3 1/4 × 3 × 6/16	14×21× 6/16	50000-58400	25-26	11	8 1/2		
36	48	14/16	13/16	11/16	3 1/4 × 3 × 7/16	14×22× 7/16	58400-66600	26-27	11 1/4	8 1/2		
40	54	14/16	13/16	11/16	3 1/2 × 3 × 7/16	14×22× 7/16	66600-75000	27-28	11 1/2	8 3/4		
40	54	15/16	14/16	12/16	3 1/2 × 3 1/4 × 7/16	16×23× 7/16	75000-83000	28-29	12	9		
40	54	15/16	14/16	12/16	3 1/2 × 3 1/2 × 7/16	16×23× 7/16	83000-99900	29-30	12 1/4	9		
45	60	1	14/16	12/16	4×3 1/2 × 7/16	16×24× 7/16	99900-116000	30-31	12 1/4	9 1/4		
45	60	1	14/16	12/16	4×3 1/2 × 8/16	16×24× 8/16	116000-133000	31-32	12 1/2	9 1/4		
50	66	1 1/16	1	13/16	4×4× 8/16	18×26× 8/16	133000-150000	32-33	12 1/2	9 1/2		
50	66	1 1/16	1	13/16	4×4× 8/16	18×26× 8/16	15000-167000					

表 號
法 寸 ノ 釘 敲 = 釘 板 肘 製 鐵 ヒ 及 材 形 山 製

第 二 數	厚 ノ 材 曲 梁								梁 曲 材 ノ 幅		梁 腕 ノ 長		梁 曲 材 ノ 長	
	テ 於 = 角 ノ 部 限 限		テ 於 = 所 ノ 脚 限 限		テ 於 = 端 ノ 限 限		テ 於 = 端 ノ 限 限		曲 材 短 梁	曲 材 長 梁	曲 材 短 梁	曲 材 長 梁	曲 材 短 梁	曲 材 長 梁
	曲 材 短 梁	曲 材 長 梁	曲 材 短 梁	曲 材 長 梁	曲 材 短 梁	曲 材 長 梁	曲 材 短 梁	曲 材 長 梁						
以 上 未 滿 3300-5000	1 3/4		3/4		3/8		5/8		2		15			
5000-8400	1 3/4		3/4		3/8		5/8		2 1/4		15			
8400-12500	2		1		3/8		5/8		2 1/4		15			
12500-16700	2		1		3/8		5/8		2 1/4		18			
16700-20800	2		1		3/8		5/8		2 1/4		18			
20800-25000	2 1/4		1 1/8		3/8		5/8		2 1/2		18			
25000-29100	2 1/4	2 1/2	1 1/8	1 1/4	3/8	1/2	5/8	3/4	2 1/2	2 3/4	18	24		
29100-33300	2 1/4	2 1/2	1 1/8	1 1/4	3/8	1/2	5/8	3/4	2 1/2	2 3/4	21	28		
33300-37500	2 1/4	2 1/2	1 1/8	1 1/4	3/8	1/2	5/8	3/4	2 3/4	3	21	28		
37500-42000	2 1/4	2 1/2	1 1/8	1 1/4	3/8	1/2	5/8	3/4	2 3/4	3	21	28		
42000-50000	2 1/2	2 3/4	1 1/4	1 3/8	1/2	1/2	3/4	3/4	2 3/4	3	24	32		
50000-58400	2 1/2	2 3/4	1 1/4	1 3/8	1/2	1/2	3/4	3/4	3	3 1/4	24	32		
58400-66600	2 1/2	2 3/4	1 1/4	1 3/8	1/2	1/2	3/4	3/4	3	3 1/4	24	32		
66600-75000	2 3/4	3	1 1/2	1 5/8	1/2	1/2	3/4	3/4	3	3 1/4	27	36		
75000-83000	2 3/4	3	1 1/2	1 5/8	1/2	1/2	3/4	3/4	3	3 1/4	27	36		
83000-99900	2 3/4	3	1 1/2	1 5/8	1/2	1/2	3/4	3/4	3	3 1/2	27	36		
99900-116000	3	3 1/4	1 3/4	1 7/8	1/2	1/2	3/4	3/4	3 1/4	3 1/2	30	40		
116000-133000	3	3 1/4	1 3/4	1 7/8	1/2	1/2	3/4	3/4	3 1/4	3 1/2	30	40		
133000-150000	3 1/4	3 1/2	2	2 1/4	1/2	1/2	3/4	3/4	3 1/2	4	33	44		
150000-167000	3 1/4	3 1/2	2	2 1/4	1/2	1/2	3/4	3/4	3 1/2	4	33	44		

○鐵鋼船検査規程

明治三十三年十二月
逓信省令第九十號

- 第一條 鐵船若ハ鋼船ノ船體ノ構造ニ關シ此ノ規程ニ規定ナキモノニ付テハ明治三十三年^四逓信省令第十六號造船規程第一編第一章第九條、第十一條、第十二條、第二章第六條、第二十四章第三條、第三十二章第三條、第七條及ヒ第八條ヲ除キ同編ノ規定ヲ適用ス
- 第二條 此ノ規程ニ於テ適用スヘキ造船規程第一編ノ規定中第二號表トアルハ鐵材ニ於テハ此ノ規程附録甲表、鋼材ニ於テハ乙表ヲ謂フ
- 第三條 第三級船及ヒ第四級船ノ船體ノ構造及ヒ寸法ハ此ノ規程ニ適合セサルモノト雖モ検査官吏ニ於テ適當ト認ムルトキハ此ノ規定ニ適合スルモノト看做ス
- 第四條 此ノ規程ニ該當セサル船體ノ構造方法ハ検査官吏ニ於テ此ノ規程ト同一ノ效力ヲ有スルト認ムルトキハ此ノ規程ニ適合スルモノト看做ス
- 第五條 検査官吏ハ造船規程第一編第二章第一條乃至第五條ニ規定セル試験ニ合格セサル材料ト雖モ其ノ使用ノ方法及ヒ部局ヲ限リ條件ヲ附シテ之カ使用ヲ許可スルコトヲ得
- 第六條 上甲板ニ設クル艙口、汽機室口、汽罐室口、載炭口、出入口、天窗、通風器等ノ縁材ハ甲板上第二級船ニ於テハ十二吋以上、第一級船ニ於テハ十八吋以上ノ高ニ造リ鐵製若ハ鋼製ト爲シ暴露甲板ノ船首ニ設クル出入口ニハ堅牢ナル鐵製若ハ鋼製ノ覆蓋ヲ設クヘシ
- 艙口ノ縁材ノ厚ハ船尾樓ニ要スル外板ノ厚ニ鐵ナルトキハ十六分ノ一吋、鋼ナルトキハ二十分ノ

一時増シタルモノヨリ少カルヘカラス且縁材ノ高三十吋以上ナルトキ又ハ艙口ノ長二十吋ヲ超ユルトキハ鋼ナルトキニ限り尙二十分ノ一時増スヘシ

艙口及ヒ載炭口ニハ蓋板ヲ附シ之ヲ支フル爲メ縦材一本又艙口ノ幅十吋ヲ超ユルトキハ縦材三本ヲ設ケ且覆布ヲ以テ密閉シ得ヘキ裝置ヲ爲スヘシ

第七條 上甲板ニ設クル汽機室口及ヒ汽罐室口ニハ之ニ甲板上ノ高第二級船ニ於テハ四呎以上、第一級船ニ於テハ六呎以上ノ鐵製若ハ鋼製ノ圍壁ヲ取附ケ其ノ上端ニ天窓ヲ設クヘシ但覆甲板ナルトキハ圍壁ノ上端ニ高九吋ヨリ低カラサル縁材ヲ取附ケ之ニ鐵製若ハ鋼製ノ蓋板ヲ備フルトキハ甲板上圍壁ノ高ヲ第二級船ニ於テハ二呎六吋第一級船ニ於テハ四呎六吋迄ニ減スルコトヲ得

船橋樓甲板若ハ船尾樓甲板ニ設クル汽機室口又ハ汽罐室口ニハ縁材ノ高ヲ二呎以上ト爲ストキハ前項ノ圍壁ヲ設ケサルコトヲ得

甲板間ニ於ケル汽機室口及ヒ汽罐室口ノ圍壁ハ上下兩層ノ甲板梁ニ固著スヘシ

圍壁ノ厚ハ船尾樓ニ要スヘキ外板ヨリ少カラサルヘク縁材ノ厚ハ鐵ナルトキハ圍壁ヨリ十六分ノ一時、鋼ナルトキハ二十分ノ一時ヲ増スヘシ但直接ニ波浪ヲ受ケサル部分ニ於テハ其ノ厚ヲ減スルコトヲ得

第八條 汽機室口及ヒ汽罐室口ノ圍壁ニ於ケル出入口ハ甲板上第二級船ニ於テハ十二吋以上、第一級船ニ於テハ十八吋以上ノ高ニ之ヲ設ケ鐵製若ハ鋼製ノ戸ヲ備フヘシ

甲
龍骨、材、船、尾、骨

外板										第 二 級
ノ 外 板	ヨ リ 上 部	龍 骨 板	舷 側 厚 板	於 テ 船 ノ 長 ノ 間	於 テ 船 ノ 長 ノ 間	於 テ 船 ノ 長 ノ 間	於 テ 船 ノ 長 ノ 間	於 テ 船 ノ 長 ノ 間	於 テ 船 ノ 長 ノ 間	
時 4/16	時 4/16	時 26 × 6/16	時 5/16	時 26 × 6/16	時 5/16	時 26 × 6/16	時 5/16	時 26 × 6/16	時 5/16	2000—2600
時 4/16	時 4/16	時 28 × 6/16	時 5/16	時 28 × 6/16	時 5/16	時 28 × 6/16	時 5/16	時 28 × 6/16	時 5/16	2600—3400
時 5/16	時 5/16	時 30 × 7/16	時 6/16	時 30 × 7/16	時 6/16	時 30 × 7/16	時 6/16	時 30 × 7/16	時 6/16	3400—4200
時 5/16	時 5/16	時 31 × 7/16	時 6/16	時 31 × 7/16	時 6/16	時 31 × 7/16	時 6/16	時 31 × 7/16	時 6/16	4200—5200
時 5/16	時 5/16	時 32 × 8/16	時 7/16	時 32 × 8/16	時 7/16	時 32 × 8/16	時 7/16	時 32 × 8/16	時 7/16	5200—6000
時 5/16	時 5/16	時 32 × 8/16	時 7/16	時 32 × 8/16	時 7/16	時 32 × 8/16	時 7/16	時 32 × 8/16	時 7/16	6000—7200
時 6/16	時 5/16	時 33 × 9/16	時 8/16	時 33 × 9/16	時 8/16	時 33 × 9/16	時 8/16	時 33 × 9/16	時 8/16	7200—8900
時 6/16	時 5/16	時 33 × 10/16	時 8/16	時 33 × 10/16	時 8/16	時 33 × 10/16	時 8/16	時 33 × 10/16	時 8/16	8900—10450
時 7/16	時 6/16	時 33 × 10/16	時 8/16	時 33 × 10/16	時 8/16	時 33 × 10/16	時 8/16	時 33 × 10/16	時 8/16	10450—11800
時 7/16	時 6/16	時 36 × 10/16	時 8/16	時 36 × 10/16	時 8/16	時 36 × 10/16	時 8/16	時 36 × 10/16	時 8/16	11800—13100
時 8/16	時 7/16	時 36 × 11/16	時 9/16	時 36 × 11/16	時 9/16	時 36 × 11/16	時 9/16	時 36 × 11/16	時 9/16	13100—14300
時 8/16	時 7/16	時 36 × 11/16	時 9/16	時 36 × 11/16	時 9/16	時 36 × 11/16	時 9/16	時 36 × 11/16	時 9/16	14300—15500
時 8/16	時 8/16	時 36 × 12/16	時 9/16	時 36 × 12/16	時 9/16	時 36 × 12/16	時 9/16	時 36 × 12/16	時 9/16	15500—16600
時 9/16	時 8/16	時 40 × 12/16	時 9/16	時 40 × 12/16	時 9/16	時 40 × 12/16	時 9/16	時 40 × 12/16	時 9/16	16600—18700
時 9/16	時 8/16	時 40 × 13/16	時 10/16	時 40 × 13/16	時 10/16	時 40 × 13/16	時 10/16	時 40 × 13/16	時 10/16	18700—21700

乙
骨尾船材首船骨龍

板		外						第	
上部ノ外板	龍骨板ヨリ	舷側厚板	テ舷側板ニ於ケル	テ舷側板ニ於ケル	テ舷側板ニ於ケル	テ舷側板ニ於ケル	テ舷側板ニ於ケル	テ舷側板ニ於ケル	テ舷側板ニ於ケル
テ船ノ長ノ二分ノ一	中央部ニ於ケル厚	テ船ノ長ノ二分ノ一	中央部ニ於ケル厚	テ船ノ長ノ二分ノ一	中央部ニ於ケル厚	テ船ノ長ノ二分ノ一	中央部ニ於ケル厚	テ船ノ長ノ二分ノ一	中央部ニ於ケル厚
時 ⁵ / ₂₀	時 ⁴ / ₂₀	26 × 時 ⁶ / ₂₀	時 ⁵ / ₂₀	時 ⁵ / ₂₀	時 ⁵ / ₂₀	時 ⁵ / ₂₀	時 ⁵ / ₂₀	時 ⁵ / ₂₀	時 ⁵ / ₂₀
時 ⁵ / ₂₀	時 ⁴ / ₂₀	28 × 時 ⁶ / ₂₀	時 ⁵ / ₂₀	時 ⁵ / ₂₀	時 ⁵ / ₂₀	時 ⁵ / ₂₀	時 ⁵ / ₂₀	時 ⁵ / ₂₀	時 ⁵ / ₂₀
時 ⁵ / ₂₀ 時 ⁶ / ₂₀	時 ⁵ / ₂₀	30 × 時 ⁷ / ₂₀	時 ⁶ / ₂₀	時 ⁶ / ₂₀	時 ⁶ / ₂₀	時 ⁶ / ₂₀	時 ⁶ / ₂₀	時 ⁶ / ₂₀	時 ⁶ / ₂₀
時 ⁵ / ₂₀ 時 ⁶ / ₂₀	時 ⁵ / ₂₀	31 × 時 ⁷ / ₂₀	時 ⁶ / ₂₀	時 ⁶ / ₂₀	時 ⁶ / ₂₀	時 ⁶ / ₂₀	時 ⁶ / ₂₀	時 ⁶ / ₂₀	時 ⁶ / ₂₀
時 ⁶ / ₂₀	時 ⁵ / ₂₀	31 × 時 ⁸ / ₂₀	時 ⁷ / ₂₀	時 ⁷ / ₂₀	時 ⁷ / ₂₀	時 ⁷ / ₂₀	時 ⁷ / ₂₀	時 ⁷ / ₂₀	時 ⁷ / ₂₀
時 ⁶ / ₂₀	時 ⁵ / ₂₀	32 × 時 ⁸ / ₂₀	時 ⁷ / ₂₀	時 ⁷ / ₂₀	時 ⁷ / ₂₀	時 ⁷ / ₂₀	時 ⁷ / ₂₀	時 ⁷ / ₂₀	時 ⁷ / ₂₀
時 ⁶ / ₂₀ 時 ⁷ / ₂₀	時 ⁵ / ₂₀ 時 ⁶ / ₂₀	32 × 時 ⁹ / ₂₀	時 ⁸ / ₂₀	時 ⁶ / ₂₀	時 ⁵ / ₂₀	時 ⁵ / ₂₀	時 ⁵ / ₂₀	時 ⁵ / ₂₀	時 ⁵ / ₂₀
時 ⁶ / ₂₀ 時 ⁷ / ₂₀	時 ⁵ / ₂₀ 時 ⁶ / ₂₀	33 × 時 ⁹ / ₂₀	時 ⁸ / ₂₀	時 ⁶ / ₂₀	時 ⁵ / ₂₀	時 ⁵ / ₂₀	時 ⁵ / ₂₀	時 ⁵ / ₂₀	時 ⁵ / ₂₀
時 ⁷ / ₂₀	時 ⁶ / ₂₀	33 × 時 ¹⁰ / ₂₀	時 ⁸ / ₂₀	時 ⁶ / ₂₀	時 ⁵ / ₂₀	時 ⁵ / ₂₀	時 ⁵ / ₂₀	時 ⁵ / ₂₀	時 ⁵ / ₂₀
時 ⁷ / ₂₀	時 ⁶ / ₂₀	34 × 時 ¹⁰ / ₂₀	時 ⁸ / ₂₀	時 ⁶ / ₂₀	時 ⁵ / ₂₀	時 ⁵ / ₂₀	時 ⁵ / ₂₀	時 ⁵ / ₂₀	時 ⁵ / ₂₀
時 ⁷ / ₂₀ 時 ⁸ / ₂₀	時 ⁶ / ₂₀ 時 ⁷ / ₂₀	34 × 時 ¹⁰ / ₂₀	時 ⁸ / ₂₀	時 ⁷ / ₂₀	時 ⁶ / ₂₀	時 ⁶ / ₂₀	時 ⁶ / ₂₀	時 ⁶ / ₂₀	時 ⁶ / ₂₀
時 ⁷ / ₂₀ 時 ⁸ / ₂₀	時 ⁶ / ₂₀ 時 ⁷ / ₂₀	35 × 時 ¹⁰ / ₂₀	時 ⁸ / ₂₀	時 ⁷ / ₂₀	時 ⁶ / ₂₀	時 ⁶ / ₂₀	時 ⁶ / ₂₀	時 ⁶ / ₂₀	時 ⁶ / ₂₀
時 ⁸ / ₂₀	時 ⁷ / ₂₀	35 × 時 ¹⁰ / ₂₀	時 ⁸ / ₂₀	時 ⁷ / ₂₀	時 ⁶ / ₂₀	時 ⁶ / ₂₀	時 ⁶ / ₂₀	時 ⁶ / ₂₀	時 ⁶ / ₂₀
時 ⁸ / ₂₀	時 ⁷ / ₂₀	36 × 時 ¹⁰ / ₂₀	時 ⁸ / ₂₀	時 ⁷ / ₂₀	時 ⁶ / ₂₀	時 ⁶ / ₂₀	時 ⁶ / ₂₀	時 ⁶ / ₂₀	時 ⁶ / ₂₀
時 ⁸ / ₂₀ 時 ⁹ / ₂₀	時 ⁷ / ₂₀ 時 ⁸ / ₂₀	36 × 時 ¹¹ / ₂₀	時 ⁹ / ₂₀	時 ⁷ / ₂₀	時 ⁶ / ₂₀	時 ⁶ / ₂₀	時 ⁶ / ₂₀	時 ⁶ / ₂₀	時 ⁶ / ₂₀
時 ⁸ / ₂₀ 時 ⁹ / ₂₀	時 ⁷ / ₂₀ 時 ⁸ / ₂₀	38 × 時 ¹¹ / ₂₀	時 ⁹ / ₂₀	時 ⁷ / ₂₀	時 ⁶ / ₂₀	時 ⁶ / ₂₀	時 ⁶ / ₂₀	時 ⁶ / ₂₀	時 ⁶ / ₂₀
時 ⁹ / ₂₀	時 ⁸ / ₂₀	38 × 時 ¹¹ / ₂₀	時 ⁹ / ₂₀	時 ⁷ / ₂₀	時 ⁶ / ₂₀	時 ⁶ / ₂₀	時 ⁶ / ₂₀	時 ⁶ / ₂₀	時 ⁶ / ₂₀
時 ⁹ / ₂₀	時 ⁸ / ₂₀	40 × 時 ¹² / ₂₀	時 ⁹ / ₂₀	時 ⁸ / ₂₀	時 ⁷ / ₂₀	時 ⁷ / ₂₀	時 ⁷ / ₂₀	時 ⁷ / ₂₀	時 ⁷ / ₂₀
時 ⁹ / ₂₀ 時 ¹⁰ / ₂₀	時 ⁸ / ₂₀	40 × 時 ¹² / ₂₀	時 ⁹ / ₂₀	時 ⁸ / ₂₀	時 ⁷ / ₂₀	時 ⁷ / ₂₀	時 ⁷ / ₂₀	時 ⁷ / ₂₀	時 ⁷ / ₂₀
時 ⁹ / ₂₀ 時 ¹⁰ / ₂₀	時 ⁸ / ₂₀	42 × 時 ¹³ / ₂₀	時 ¹⁰ / ₂₀	時 ⁸ / ₂₀	時 ⁷ / ₂₀	時 ⁷ / ₂₀	時 ⁷ / ₂₀	時 ⁷ / ₂₀	時 ⁷ / ₂₀

上以 總長
2000—2600
2600—3300
3300—4200
4200—5100
5100—6000
6000—6900
6900—7700
7700—8500
8500—9300
9300—10100
10100—10900
10900—11600
11600—12400
12400—13100
13100—13900
13900—14700
14700—15600
15600—16600
16600—17600
17600—18700

表
材 及 外 板 ノ 寸 法

第 二 級	方 形 龍 骨	船 首 材 及 ヒ 帆 船 雙 螺 旋 汽 船 外 車 汽 船 ノ 船 尾 材	單 螺 旋 汽 船 ノ 船 尾 骨 材	平 板 龍 骨		龍 骨 翼 板	
				五 分 ノ 三 間	中 央 部 ニ 於 テ 船 ノ 長	二 分 ノ 一 間	中 央 部 ニ 於 テ 船 ノ 長
2000—2600	5 × 1	5 × 1	5 × 2	24 × 7/20	5/20	24 × 6/20	5/20
2600—3300	5 1/2 × 1 1/8	5 1/4 × 1 1/8	5 1/4 × 2 1/4	26 × 8/20	6/20	26 × 6/20	6/20
3300—4200	6 × 1 1/8	5 3/4 × 1 1/8	5 3/4 × 2 1/4	28 × 8/20	6/20	28 × 6/20	6/20
4200—5100	6 1/8 × 1 1/4	6 × 1 1/4	6 × 2 1/2	30 × 9/20	7/20	30 × 6/20	6/20
5100—6000	7 × 1 3/8	6 × 1 3/8	6 × 2 3/4	31 × 9/20	8/20	31 × 7/20	7/20
6000—6900	7 × 1 1/2	6 1/4 × 1 1/2	6 1/4 × 3	31 × 10/20	8/20	31 × 7/20	7/20
6900—7700	7 × 1 5/8	6 1/4 × 1 5/8	6 1/2 × 3 1/4	31 × 11/20	8/20	31 × 8/20	8/20
7700—8500	7 × 1 3/4	6 1/2 × 1 3/4	6 1/2 × 3 1/2	31 × 12/20	9/20	31 × 8/20	8/20
8500—9300	7 1/4 × 1 7/8	6 1/2 × 1 7/8	6 1/2 × 3 3/4	32 × 12/20	9/20	32 × 8/20	8/20
9300—10100	7 1/2 × 1 7/8	6 3/4 × 1 7/8	6 3/4 × 4	32 × 12/20	9/20	32 × 8/20	8/20
10100—10900	7 1/2 × 2	6 3/4 × 2	6 3/4 × 4 1/4	32 × 12/20	9/20	32 × 8/20	8/20
10900—11600	7 1/2 × 2 1/8	7 × 2 1/8	7 × 4 1/4	33 × 12/20	9/20	33 × 8/20	8/20
11600—12400	7 1/2 × 2 1/4	7 × 2 1/4	7 × 4 1/2	33 × 12/20	9/20	33 × 8/20	8/20
12400—13100	8 × 3 1/4	7 × 2 1/4	7 × 4 3/4	33 × 13/20	10/20	33 × 9/20	8/20
13100—13900	8 × 2 1/4	7 × 2 1/4	7 1/4 × 4 3/4	34 × 13/20	10/20	34 × 9/20	8/20
13900—14700	8 × 2 3/8	7 1/4 × 2 3/8	7 1/2 × 4 3/4	34 × 14/20	11/20	34 × 10/20	9/20
14700—15600	8 × 2 3/8	7 1/2 × 2 3/8	8 × 4 3/4	35 × 14/20	11/20	35 × 10/20	9/20
15600—16600	8 1/2 × 2 3/8	8 × 2 3/8	8 × 5	36 × 14/20	11/20	36 × 10/20	9/20
16600—17600	9 × 2 3/8	8 1/2 × 2 3/8	8 1/2 × 5	36 × 14/20	11/20	36 × 10/20	9/20
17600—18700	9 × 2 1/2	8 1/2 × 2 1/2	8 1/2 × 5	36 × 16/20	12/20	36 × 11/20	10/20

明治三十七年
九月省令第六
十號ヲ以テ改
正同年十月一
日ヨリ施行

機關檢查規程目次

○機關檢查規程

明治三十三年十二月
遞信省令第九十一號

第一章 總則

第二章 材料試驗

第三章 汽機

第四章 汽罐

第五章 管

機關檢查規程

第一章 總則

第一條 此ノ規程ニ定ムル寸法及ヒ員數ハ最小ノ限度、距離ハ最大ノ限度ヲ示シタルモノトス

第二條 此ノ規程ニ該當セサル機關ノ構造方法ハ檢查官吏ニ於テ此ノ規程ト同一ノ效力ヲ有スルト

認ムルモノニ限リ特ニ之ヲ合格ト爲スコトヲ得

第三條 補助汽機ノ構造ハ此ノ規程ニ準據スヘシ

第二章 材料試驗

第一條 汽罐ノ製造ニ供用スル鐵材ニハ左ノ試驗ヲ執行スヘシ

一 抗張試驗 鐵板ハ一平方吋ノ抗張力ハ纖維ニ沿ヒテハ二十噸以上、纖維ヲ横リテハ十八噸以上ニシテ其ノ伸張ノ割合ハ八吋ノ長ニ於テ纖維ニ沿ヒテハ百分ノ九以上、纖維ヲ横リテハ百分ノ七以上、支柱用及ヒ螺旋支柱用鐵材ハ一平方吋ノ抗張力ハ二十二噸以上ニシテ其ノ伸張ノ割合ハ八吋ノ長ニ於テ百分ノ十以上、又鉸釘用鐵材ハ一平方吋ノ抗張力ハ二十三噸以上ニ

シテ其ノ伸張ノ割合ハ八吋ノ長ニ於テ百分ノ十八以上ナルヲ要ス

二 鍛鍊試験

鐵製ノ鉸釘ハ之ヲ熱シ釘頭ヲ釘徑ノ二、五倍迄平扁ニ打壓シ且釘身ヲ平扁ニシ之ニ釘徑ニ等キ打貫孔ヲ穿テ裂疵ヲ生セサルヲ要ス

又鐵製ノ螺旋支柱ニシテ其ノ頭ヲ鉸締スルモノハ鉸釘ニ準シ試験ヲ執行スヘシ

第二條

汽罐ノ製造ニ供用スル鋼材ニハ左ノ試験ヲ執行スヘシ

一 抗張試験

胴板用鋼板及ヒ支柱用鋼材ハ一平方吋ノ抗張力ハ二十六噸以上三十二噸以下ニシテ其ノ伸張ノ割合ハ八吋ノ長ニ於テ百分ノ二十以上其ノ他ノ諸鋼板、螺旋支柱用及ヒ鉸釘用鋼材ハ一平方吋ノ抗張力ハ二十五噸以上三十噸以下ニシテ其ノ伸張ノ割合ハ八吋ノ長ニ於テ百分ノ二十以上ナルヲ要ス

二 屈曲試験

鋼板、支柱用及ヒ螺旋支柱用鋼材ハ試験材ヲ櫻紅色ニ熱シタル後華氏八十二度ノ水中ニテ冷却シ之ヲ試験材ノ厚又ハ徑ノ三倍ヲ超エサル内徑ヲ以テ百八十度屈曲シ又鋼製ノ鉸釘ハ之ヲ熱セスシテ釘身ヲ釘徑ノ二倍ニ等キ内徑ヲ以テ百八十度屈曲シ裂疵ヲ生セサルヲ要ス

三 鍛鍊試験

鋼製ノ鉸釘及ヒ鋼製ノ螺旋支柱ニシテ其ノ頭ヲ鉸締スルモノハ前條第二號ノ規定ニ依リ試験ヲ執行スヘシ

第三條

諸軸及ヒ其ノ一部其ノ他打物ヲ通常使用スヘキ箇所ニ用ウル鑄鋼ニハ左ノ試験ヲ執行スヘシ

一 抗張試験

一平方吋ノ抗張力ハ三十噸以下ニシテ其ノ伸張ノ割合ハ八吋ノ長ニ於テ百分ノ十以上ナルヲ要ス

二 屈曲試験

一時四分ノ一徑又ハ一時四分ノ一角ノ試験材ヲ作り内面ニ於テ一時四分ノ三ヨリ

多カラサル半徑ノ弧狀ニ曲ケ九十度ニ至ルモ裂疵ヲ生セサルヲ要ス

第四條 鑄鐵ヲ通常使用スル箇所ニ鑄鋼ヲ用ウルトキハ其ノ性質ハ強硬ニシテ能ク落下錘打等ノ試験ニ堪フルヲ要ス

第五條 本章第一條及ヒ第二條ニ掲グル各試験ハ同一ノ部分ニ供用スル材料ニシテ其ノ種類及ヒ厚又ハ徑同一ナルトキハ鐵板、鋼板、支柱及ヒ螺旋支柱ニ在リテハ各種ヨリ一箇ツ、、鉸釘ニ在リテハ五百箇未満毎ニ一箇ツ、ヲ採リ之ヲ執行スヘシ又検査官吏ニ於テ必要ト認ムルトキハ更ニ二箇ツ、迄ニ増スコトヲ得

鐵板及ヒ鋼板ノ試験材ノ厚ハ汽罐ノ製造ニ供用スル板ノ厚ト同一ナルヲ要ス

第六條 検査官吏ハ前數條ノ試験ニ合格セサルモノト雖モ其ノ使用ノ方法及ヒ部局ヲ限り條件ヲ附シテ之カ使用ヲ許可スルコトヲ得

第三章 汽機

第一條 汽機各部ノ算定ニ用ウル汽筒内ノ最大汽壓ハ左ノ算式ニ依ルヘシ

(一) 單筒汽機

$$P_1 = P$$

(二) 二聯成汽機

高壓汽筒

$$P_1 = P$$

低壓汽筒

$$P_3 = \left\{ \frac{(P_1 + 15) \times R_1 \times D_1^2}{R_2 \times D_2^2} - 15 \right\} \times 1.15$$

(三) 三聯成汽機

高壓汽筒

$$P_1 = P$$

中壓汽筒

$$P_2 = \left\{ \frac{(P_1 + 15) \times R_1 \times D_1^2}{R_2 \times D_2^2} - 15 \right\} \times 1.2$$

低壓汽筒

$$P_3 = \left\{ \frac{(P_2 + 15) \times R_1 \times D_1^2}{R_3 \times D_3^2} - 15 \right\} \times 1.1$$

P ハ最大汽壓 (每平方吋磅ニテ)

P_1 ハ高壓汽筒内最大汽壓 (每平方吋磅ニテ)

P_2 ハ中壓汽筒内最大汽壓 (每平方吋磅ニテ)

P_3 ハ低壓汽筒内最大汽壓 (每平方吋磅ニテ)

R_1 ハ高壓汽筒斷汽點 (行長ノ分數ニテ)

R_2 ハ中壓汽筒斷汽點 (行長ノ分數ニテ)

R_3 ハ低壓汽筒斷汽點 (行長ノ分數ニテ)

D_1 ハ高壓汽筒ノ徑 (吋ニテ)

D_2 ハ中壓汽筒ノ徑 (吋ニテ)

D_3 ハ低壓汽筒ノ徑 (吋ニテ)

第二條 汽機各部ノ算定ニ用ウル汽筒内ノ最大不衡壓力ハ左ノ算式ニ依ルヘシ

(一) 單式冷汽汽機

但冷汽器ヲ有セサルモノニ在リテハ

$$P_1' = P_1 + 12$$

$$P_1' = P_1$$

(二) 二聯成冷汽汽機

高壓汽箱

$$P_1' = P_1 - P_3$$

低壓汽箱

$$P_3' = P_3 + 12$$

但冷汽器ヲ有セサルモノニ在リテハ

$$P_3' = P_3$$

(三) 三聯成汽機

高壓汽箱

$$P_1' = P_1 - P_2$$

中壓汽箱

$$P_2' = P_2 - P_3$$

低壓汽箱

$$P_3' = P_3 + 12$$

P_1' ハ高壓汽箱内最大不衡壓力 (每平方吋磅ニテ)

P_2' ハ中壓汽箱内最大不衡壓力 (每平方吋磅ニテ)

P_3' ハ低壓汽箱内最大不衡壓力 (每平方吋磅ニテ)

P_1, P_2, P_3 ハ前條ニ依ル

第三條 汽筒圓筒部ノ厚ハ左ノ算式ニ依ルヘシ

$$T = 0.0001 \times D \times P + 0.15 \sqrt{D} + 0.125$$

内外二箇ノ圓筒ヲ備フルモノニ在リテハ内筒ノ厚ハ前項ノ算式ニ依ル又外筒ノ厚ハ内筒ノ厚ヨリ
八分ノ一吋小ナラシムルヲ得

T' ハ汽筒圓筒部ノ厚 (吋ニテ)

D ハ汽筒ノ内徑 (吋ニテ)

P ハ汽筒内最大壓力 (每平方吋磅ニテ)

第四條 汽筒蓋用螺釘並ニ瓣匣蓋用螺釘ノ最小截面積ハ左ノ程度ヲ超エサル内力ヲ以テ之ヲ算定ス
ヘシ

螺釘ノ徑二分ノ一吋以上四分ノ三吋未滿ノトキ

二五〇〇 (每平方吋磅ニテ)

螺釘ノ徑四分ノ三吋以上一吋未滿ノトキ

三五〇〇 (每平方吋磅ニテ)

螺釘ノ徑一吋以上一吋四分一未滿ノトキ

四三〇〇 (每平方吋磅ニテ)

螺釘ノ徑一吋四分一以上一吋二分一未滿ノトキ

五〇〇〇 (每平方吋磅ニテ)

螺釘ノ徑一吋二分一以上二吋未滿ノトキ

六三〇〇 (每平方吋磅ニテ)

螺釘ノ徑二吋以上ノトキ

七〇〇〇 (每平方吋磅ニテ)

第五條 汽密ヲ要スル接合ニ使用スル螺釘ノ心距ハ附錄別表ニ據ルヘシ

第六條 吸鑿鐸螺旋部ノ最小徑ハ左ノ算式ニ依ルヘシ

$$d = \frac{D}{Q} \sqrt{P}$$

U ハ吸鑄錐螺旋部ノ最小徑 (吋ニテ)

D ハ汽筒ノ徑 (吋ニテ)

P ハ汽筒内最大不衡壓力 (每平方吋磅ニテ)

O ハ定數ニシテ左ノ規定ニ依ル

鐵製ニシテ
螺旋上ノ徑 二吋二分ノ一未滿ナルトキ 六三
螺旋上ノ徑 二吋二分ノ一以上ニ吋二分ノ一未滿ナルトキ 六九

鋼製ニシテ
螺旋上ノ徑 二吋二分ノ一未滿ナルトキ 七二
螺旋上ノ徑 二吋二分ノ一以上ニ吋二分ノ一未滿ナルトキ 七六

第七條 吸鑄錐幹部ノ徑ハ左ノ算式ニ依ルヘシ
螺旋上ノ徑 二吋二分ノ一以上ナルトキ 八八

$$d = \frac{D}{O} \left\{ \sqrt{P(10K^2 + P)} + P \right\}^{\frac{1}{2}}$$

d ハ吸鑄錐幹部ノ徑 (吋ニテ)

D ハ汽筒ノ徑 (吋ニテ)

P ハ汽筒内最大不衡壓力 (每平方吋磅ニテ)

K ハ吸鑄錐兩端支點間ノ長 (吋ニテ) ナ汽筒徑 (吋ニテ) ニテ除シタルモノ

O ハ定數ニシテ
鐵製ナルトキ 六六
鋼製ナルトキ 七七

第八條 接續錐中央部ノ徑ハ左ノ算式ニ依ルヘシ但接合部中心間ノ長、行長ノ二倍未滿ナルモノニ

在リテハ検査官吏ノ適當ト認ムル寸法ト爲スヘシ

(一) 鐵製ナルトキ

$$d = \frac{D}{80} \left\{ \sqrt{17(10.7K^2 + P)} + P \right\}^{\frac{1}{2}}$$

(二) 鋼鐵ナルトキ

$$d = \frac{D}{93} \left\{ \sqrt{17(4.5K^2 + P)} + P \right\}^{\frac{1}{2}}$$

d ハ接續鉚中央部ノ徑 (吋ニテ)

D ハ汽筒ノ徑 (吋ニテ)

P ハ汽筒内最大不衡壓力 (每平方吋磅ニテ)

K ハ接續鉚接合部中心間ノ長(吋ニテ)ヲ汽筒ノ徑(吋ニテ)ニテ除シタルモノ

接續鉚曲拐端ノ徑ハ前項ノ算式ニ依ル又吸鑿端ノ徑ハ前項ノ算式ニ依リ計算シタルモノヨリ百分ノ六ヲ減スルコトヲ得

第九條 接續鉚上下ノ螺釘並ニ軸受螺釘ノ最小截面積ハ左ノ程度ヲ超エサル内力ヲ以テ算定スヘシ

螺釘ノ徑一吋未滿ナルトキ

三五〇〇(每平方吋磅ニテ)

螺釘ノ徑一吋以上一吋二分ノ一未滿ナルトキ

五〇〇〇(每平方吋磅ニテ)

螺釘ノ徑一吋二分ノ一以上二吋未滿ナルトキ

六三〇〇(每平方吋磅ニテ)

螺釘ノ徑二吋以上ナルトキ

七〇〇〇(每平方吋磅ニテ)

第十條 滑瓣鉚ノ最小徑ハ左ノ算式ニ依ルヘシ

$$d = \frac{1}{0} \sqrt{B \times L \times P}$$

d ハ滑瓣鉗ノ最小徑 (吋ニテ)

L ハ滑瓣ノ長 (吋ニテ)

B ハ滑瓣ノ幅 (吋ニテ)

P ハ滑瓣ノ兩面ニ於ケル最大不衡壓力 (每平方吋磅ニテ)

O ハ定數ニシテ左ノ規定ニ據ル

螺旋上ノ徑一吋未満ナルトキ

螺旋上ノ徑一吋以上一吋二分ノ一未満ナルトキ

螺旋上ノ徑一吋二分ノ一以上二吋未満ナルトキ

螺旋上ノ徑二吋以上ナルトキ

螺旋上ノ徑一吋未満ナルトキ

螺旋上ノ徑一吋以上一吋二分ノ一未満ナルトキ

螺旋上ノ徑一吋二分ノ一以上二吋未満ナルトキ

螺旋上ノ徑二吋以上ナルトキ

鋼製ニシテ

第十一條 導沓ノ面積ハ左ノ算式ニ依ルヘシ

$$A = \frac{P \times D^2 \times S}{715 \sqrt{1P - S^2}}$$

A ハ導沓ノ面積 (平方吋ニテ)

P ハ最大汽壓 (每平方吋磅ニテ) 二十五磅ヲ加ヘタルモノ

D ハ低壓汽筒ノ徑 (吋ニテ)

S ハ行長 (吋ニテ)

一〇五

一二〇

一三三

一四七

一一一

一四〇

一五四

一七一

L ハ接續鐸接合部中心間ノ長 (吋ニテ)

後退用導管ノ面積ハ前項ニ依リ計算シタルモノノ二分ノ一迄減スルコトヲ得

第十二條 主機ニヨリ動作スル唧筒ノ横挺ノ寸法ハ左ノ算式ニ依ルヘシ

(一) 横挺ニシテ一枚挺二箇ヨリ成ルトキ

$$T = \frac{D^2 \times L}{40 \times H^2}$$

(二) 横挺ニシテ二枚合せ挺二箇ヨリ成ルトキ

$$T = \frac{D^2 \times L}{32 \times H^2}$$

T ハ横挺ノ厚ノ和 (吋ニテ)

L ハ唧筒鐸中心線ヨリ横挺ノ支點間ニ至ル距離 (吋ニテ)

H ハ横挺ノ支點ニ於ケル深 (吋ニテ)

D ハ横挺ヲ以テ動作スル唧筒一箇ナルトキハ其ノ徑(吋ニテ)ヲ自乗シタルモノ、動作スル唧筒二箇以上ナルトキハ各唧筒ノ徑(吋ニテ)ヲ自乗シ加ヘタルモノ

第十三條 單式汽機ノ鋼製車軸ノ徑ハ左ノ算式ニ依リ之ヲ定メ鐵製車軸ノ徑ハ左ノ算式ニ依リ得タルモノニ其ノ百分ノ五ヲ増加スヘシ

$$S = \sqrt[3]{\frac{C \times P \times D^2}{3 \times f}}$$

S ハ車軸ノ徑 (吋ニテ)

D ハ汽筒一箇ナルトキハ其ノ徑(吋ニテ)ヲ自乗シタルモノ汽筒二箇以上ナルトキハ各汽筒ノ徑

(吋ニテ)ヲ自乗シ加ヘタルモノ

P ハ最大汽壓(毎平方吋磅ニテ)ニ十五磅ヲ加ヘタルモノ
 但冷汽器ヲ備ヘサル汽機ニ於テハ P ハ最大汽壓(毎平方吋磅ニテ)トス
 C ハ曲拐ノ長(吋ニテ)
 f ハ定數ニシテ左表ニ據ル

曲拐	曲拐間ノ角度	曲拐ノ前後ニ輪受ヲ付スル 曲拐間及ヒ定數	螺旋軸定數	中間軸定數	二曲拐		三曲拐
					一	二	三
一	九〇度	七四〇	六二九	八六四	一〇四七	九〇〇度	一一一〇
	一〇〇度	九六六	八九〇	一一二一	九〇四	一〇〇度	一一一〇
	一一〇度	九〇四	八二一	一一二八	八五五	一一〇度	一一一〇
	一二〇度	七六八	七六八	一〇五五	七二八	一二〇度	一一一〇
	一三〇度	八一七	六九五	九五三	八一七	一三〇度	一一一〇
	一四〇度	七八八	六七〇	九一九	七八八	一四〇度	一一一〇
	一五〇度	七六六	六五一	八九四	七六一	一五〇度	一一一〇
	一六〇度	七五一	六三八	八七七	七五一	一六〇度	一一一〇
	一七〇度	七四三	六三二	八六七	七四三	一七〇度	一一一〇
	一八〇度	七四〇	六二九	八六四	七四〇	一八〇度	一一一〇
	一九〇度	七四〇	六二九	八六四	七四〇	一九〇度	一一一〇

第十四條 二聯成、三聯成及ヒ四聯成汽機ノ鋼製車軸ノ徑ハ左ノ算式ニ依リ之ヲ定メ鐵製車軸ノ徑

ハ左ノ算式ニ依リ得タルモノニ其ノ百分ノ五ヲ増加スヘシ

$$S = \sqrt[3]{\frac{O \times P \times D^2}{f(2 + \frac{D^2}{R^2})}}$$

S ハ車軸ノ徑 (吋ニテ)

D^2 ハ高壓汽笛一箇ナルトキハ其ノ徑(吋ニテ)ヲ自乗シタルモノ、高壓汽笛二箇以上ナルトキハ各汽笛ノ徑(吋ニテ)ヲ自乗シ加ヘタルモノ

D^2 ハ低壓汽笛一箇ナルトキハ其ノ徑(吋ニテ)ヲ自乗シタルモノ、低壓汽笛二箇以上ナルトキハ各汽笛ノ徑(吋ニテ)ヲ自乗シ加ヘタルモノ

P ハ最大汽壓(毎平方吋磅ニテ)ニ十五磅ヲ加ヘタルモノ

但冷汽器ヲ備ヘサル汽機ニ於テハPハ最大汽壓(毎平方吋磅ニテ)トス

O ハ曲拐ノ長 (吋ニテ)

f ハ定數ニシテ前條ノ表ニ據ル

第十五條 螺旋軸ノ船尾管填管環ノ前部及ヒ進力軸ノ進力受臺ノ前部及ヒ後部ハ中間軸ノ徑ト同一ト爲スコトヲ得

第十六條 外車軸ノ徑ハ本章第十三條又ハ第十四條ニ於ケル同種汽機ノ曲拐軸ノ算式ニ依ルコトヲ得但此ノ場合ニハ曲拐軸ノ定數ニ一、四ヲ乗シタル定數ヲ用ウヘシ

第十七條 車軸ハ鑄鐵ヲ以テ製スルヲ得ス

第十八條 前後ニ軸受ヲ有スル曲拐軸ノ徑ハ本章第十三條又ハ第十四條ニ依リ算出シタル曲拐軸ノ徑ヨリ少カルヘカラス

第十九條 曲拐軸ノ長ハ左ノ算式ニ依ルヘシ

$$L = \frac{P \times D^2}{636 \times d}$$

L ハ曲拐栓ノ長 (吋ニテ)

D ハ汽筒ノ徑 (吋ニテ)

P ハ最大不衡壓力 (每年方吋磅ニテ)

d ハ曲拐栓ノ徑 (吋ニテ)

第二十條 曲拐軸受ノ長ハ左ノ算式ニ依ルヘシ

$$L = \frac{P \times D^2}{310 \times d}$$

L ハ曲拐軸受ノ長(吋ニテ)但軸受二箇ナルトキハ其ノ長ノ和

D ハ汽筒ノ徑 (吋ニテ)

P ハ最大不衡壓力 (每平方吋磅ニテ)

d ハ曲拐軸ノ徑 (吋ニテ)

第二十一條 一端ニノミ軸受ヲ有スル曲拐軸ノ徑ハ本章第十三條第十四條ノ規定ニ依リ其ノ曲拐栓ノ徑ハ左ノ算式ニ依ルヘシ

$$d = \frac{1}{10} \sqrt{PA \times L}$$

L ハ曲拐栓ノ長 (吋ニテ)

PA ハ一曲拐上ノ汽筒一箇ナルトキハ其ノ汽筒ノ面積(平方吋ニテ)ニ汽筒内最大不衡壓力(每平方吋磅ニテ)ヲ乗シタルモノ、一曲拐上ノ汽筒二箇以上ナルトキハ各汽筒ノ面積(平方吋ニテ)ニ各汽筒内最大不衡壓力(每平方吋磅ニテ)ヲ乗シ加ヘタルモノ

C ハ定數ニシテ 鐵製ナルトキ
鋼製ナルトキ

一二
一四

第二十二條 軸鑿ヲ連結スル螺釘ノ徑ハ左ノ算式ニ依ルヘシ

$$d = \sqrt{\frac{D^3}{9 \times N \times d}}$$

d ハ螺釘ノ徑 (吋ニテ)

N ハ螺釘ノ數

D ハ車軸ノ徑 (吋ニテ)

d₁ ハ螺釘心圈ノ徑 (吋ニテ)

第二十三條 船尾管ハ金屬製ノモノヲ用ウヘシ

第二十四條 船尾管ノ前後兩端竝ニ螺旋軸支肘ニハ適當ナル支面金ヲ備フヘシ

第四章 汽鐘

第一條 鍛合シタル鋼板ハ伸張ヲ受クル箇所ニ使用スヘカラス又鋼製支柱ハ鍛合スヘカラス

第二條 鋼板ハ突縁ヲ造リ其ノ他製作ノ爲メ熱シタルトキハ燒鈍法ヲ施スヘシ

第三條 接合用鉸釘孔ノ爲メ鋼板ニ打貫孔ヲ穿チタルトキハ燒鈍法ヲ行フカ若ハ該孔ノ周圍ヲ揉ミ擴クヘシ

第四條 人孔及ヒ泥孔ニシテ平板ニ在ルモノニハ該孔ト同一ナル切斷面積ヲ有シ、胴板ニ在ルモノ

ニハ該孔短徑線方向ト同一ナル切斷面積ヲ有シ且鐘板ノ厚ヨリ小ナラサル厚ヲ有スル補強環ヲ取附クヘシ但長徑六吋以下ノモノハ此ノ限ニ在ラス

鐘胴ニ設クル橢圓形ノ孔ハ常ニ短徑ヲ鐘ノ長ニ並行セシムヘシ

汽兜ノ下ニ在ル胴板ハ支柱ヲ設ケ若ハ其ノ他ノ方法ニ依リ之ヲ強固ナラシムヘシ

第五條 接合ニ用ウル覆板ハ胴板ト同質若ハ優等ノ板ヲ用キ其ノ厚ハ單覆板ナルトキハ胴板ヨリ其ノ厚ノ八分ノ一厚ク兩覆板ナルトキハ胴板ノ厚ノ四分ノ三以上ナルヲ要ス又鐵板ナルトキハ其ノ纖維ヲ接合スヘキ板ノ纖維ト並行セシムヘシ

第六條 胴板ノ接合部ハ外部ヨリ検査シ易キ場所ニ設ケヘシ

第七條 鉸釘ノ徑ハ接合スヘキ板ノ厚ヨリ小ナルヘカラス又板ノ厚薄キカ或ハ累接ナルカ或ハ單覆板ヲ以テ接合スル場合ニ於テハ鉸釘ノ徑ヲ板ノ厚ヨリ大ナラシムヘシ

第八條 鐵製筒形汽罐ノ胴板ノ強力ハ左ノ算式ニ依リ之ヲ定ムヘシ

$$P = \frac{Q \times W \times B}{D}$$

P ハ最大汽壓 (每平方吋磅ニテ)

Q ハ定數ニシテ左表ニ據ル但胴板一平方吋ノ最小抗張力、纖維ニ沿ヒテ二十噸ヲ超ユルトキハ其ノ割合ヲ以テ (C) ナ増加スルコトヲ得

T ハ胴板ノ厚 (吋ニテ)

D ハ罐胴ノ平均ノ徑 (吋ニテ)

B ハ縱接合ノ強率ニシテ左ノ式ノ内其ノ小ナルモノヲ取リテ用ウヘシ

(一) 接合ニ於ケル胴板ノ強率

$$B_1 = \frac{p - d}{p} \times 100$$

(二) 接合ニ於ケル鉸釘ノ強率

(三) 鉸釘ノ數外列ニ於テ半數ナルトキ鉸釘及ヒ胴板ノ連續強率

$$B_2 = \frac{n \times a \times J'}{p \times t} \times J'$$

$$B_3 = \frac{100(p-2d)}{p} \times \frac{B_2}{n}$$

- p ハ外例ニ於ケル鉸釘ノ心距 (吋ニテ)
- d ハ鉸釘孔ノ徑 (吋ニテ)
- t ハ胴板ノ厚 (吋ニテ)
- a ハ鉸釘孔ノ面積(平方吋ニテ)但兩剪力ヲ受クル鉸釘ナルトキハ其ノ一、七五倍
- n ハ p ナル心距ニ於ケル鉸釘ノ數
- J' 鐵製鉸釘ニシテ打貫孔ナルトキ 一〇〇
- J'' 鐵製鉸釘ニシテ錐揉孔ナルトキ 九〇

縦 接 合 ノ 種 類	胴 板		厚
	二分ノ一時以下ノトキ	二分ノ一時ヲ超ニ四分ノ三吋以下ノトキ	
累接ニシテ打貫孔ナルトキ	一五五	一六五	一七〇
累接ニシテ錐揉孔ナルトキ	一七〇	一八〇	一九〇
兩板銜接ニシテ打貫孔ナルトキ	一七〇	一八〇	一九〇
兩板銜接ニシテ錐揉孔ナルトキ	一八〇	一九〇	二〇〇

第九條 鋼製筒形汽罐ノ胴板ノ強力ハ左ノ算式ニ依リ之ヲ定ムヘシ

$$P = O \times (W-2) \times R$$

P ハ最大汽壓 (每平方吋磅ニテ)

D ハ錐胴ノ平均ノ徑 (吋ニテ)

T ハ胴板ノ厚 (吋ノ十六分ノ一ニテ)

C ハ縦接合ニ於テ同幅ノ兩覆板ヲ有スルトキ

C ハ縦接合ニ於テ不同幅ノ兩覆板ヲ有スルトキ

縦接合ニ於テ累接ナルトキ

但胴板一平方吋ノ最小抗張力二十六噸ヲ超ユルトキハ其ノ割合ヲ以テ(C)ヲ増加スルコトヲ得

B ハ縦接合ノ強率ニシテ左ノ式ノ内其ノ小ナルモノヲ取リテ用ウヘシ

(一) 接合ニ於ケル胴板ノ強率

$$B_1 = \frac{p - d}{p} \times 100$$

(二) 接合ニ於ケル鉸釘ノ強率

$$B_2 = \frac{n \times a \times l}{p \times l} \times 100$$

(三) 鉸釘ノ數外列ニ於テ半數ナルトキ鉸釘及ヒ胴板ノ連續強率

$$B_3 = \frac{100(p - 2d)}{p} + \frac{B_2}{n}$$

p ハ外列ニ於ケル鉸釘ノ心距 (吋ニテ)

l ハ胴板ノ厚 (吋ニテ)

d ハ鉸釘孔ノ徑 (吋ニテ)

a ハ鉸釘孔ノ面積(平方吋ニテ)但兩剪力ヲ受ケル鉸釘ナルトキハ其ノ一、七五倍

二〇、〇〇

一九、二五

一八、五〇

ルハPナル心距ニ於ケル鉸釘ノ數

Fハ 鐵製鉸釘ヲ用ウルトキ

鋼製鉸釘ヲ用ウルトキ

七〇
八五

第十條 火焰ニ接觸スル加熱器又ハ汽函ノ胴板ノ強力ハ前二條ノ算式ニ依リ之ヲ定ムヘシ但定數

(C)ハ其ノ二分ノニテ用ウヘシ

第十一條 平面ヲ支フル支柱及ヒ支柱管ノ最小截面積ハ左ノ程度ヲ超エサル内力ヲ以テ之ヲ算定スヘシ

鐵製支柱 最小ノ徑一吋二分ノ一ヲ超エサル支柱及ヒ鍛合シタル支柱ノ内力ハ一平方吋ニ付六千磅、最小ノ徑一吋二分ノ一以上ニシテ鍛合セサル支柱ノ内力ハ一平方吋ニ付七千五百磅

鋼製支柱 最小ノ徑一吋二分ノ一ヲ超エサル支柱ノ内力ハ一平方吋ニ付八千磅、最小ノ徑一吋二分ノ一以上ノ支柱ノ内力ハ一平方吋ニ付九千磅

支柱管 支柱管ノ内力ハ一平方吋ニ付七千五百磅

螺旋支柱ニアラサル支柱ニ在リテハ鐵製支柱ハ一平方吋ノ最小抗張力二十二噸ヲ超ユルトキ、

鋼製支柱ハ一平方吋ノ最小抗張力二十六噸ヲ超ユルトキハ其ノ割合ヲ以テ内力ヲ増加スルコトヲ得

第十二條 斜向支柱ノ截面積ハ左ノ算式ニ依リ之ヲ定ムヘシ但平板斜向支柱ニ在リテハ其ノ面積ヲ尙大ナラシムヘシ

$$A = \frac{a \times l}{H}$$

Aハ斜向支柱ノ截面積 (平方吋ニテ)

aハ平板ヲ支フル直向支柱ノ截面積 (平方吋ニテ)

lハ平板ヲ支フル直向支柱ノ截面積 (平方吋ニテ)

L ハ斜向支柱ノ長 (吋ニテ)

H ハ斜向支柱ノ一端ヨリ平板面ニ垂直ノ長 (吋ニテ)

第十三條 支柱又ハ支柱管ヲ以テ支フル平板又ハ管板ノ強力ハ左ノ算式ニ依リ之ヲ定ムヘシ

(一) 支柱ノ配置正方形ヲ爲ストキ

$$P = \frac{C \times W^2}{q^2}$$

P ハ最大汽壓 (每平方吋磅ニテ)

T ハ板ノ厚 (吋ノ十六分ノ一ニテ)

P ハ支柱ノ心距 (吋ニテ)

C ハ定數ニシテ左表ニ據ル

(二) 支柱ノ配置長方形ヲ爲ストキ

$$P = \frac{2(C \times W^2)}{a^2 + b^2}$$

a ハ支柱各列ニ於ケル最大心距 (吋ニテ)

b ハ支柱各列線ノ心距 (吋ニテ)

P, T, C ハ一ニ同シ

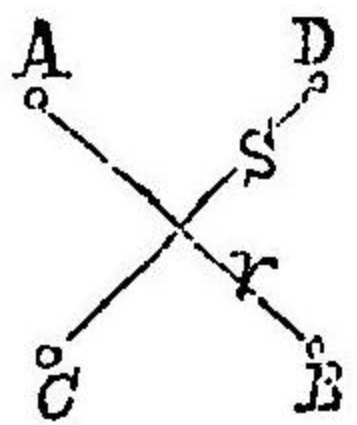
(三) 支柱ノ配置前二項ニ依ラサルトキ

$$P = \frac{4C \times W^2}{r^2 + s^2}$$

r ハ左圖ニ於テ相對スル二支柱 A, B ノ心距 AB (吋ニテ)

s ハ相對スル二支柱 C, D ノ心距 CD (吋ニテ)

P、T、C、H、I 同シ



- (甲) 螺旋支柱ノ兩端ヲ絞締シタルトキ 厚十六分ノ七時以下ノ鐵板又ハ銅板ナルトキ 九〇
- (乙) 螺旋支柱ノ兩端ヲ母螺ニテ締ムルトキ 厚十六分ノ七時以下ノ鐵板又ハ銅板ナルトキ 一〇〇
- (丙) 鐵板ニシテ内外ヨリ母螺ヲ以テ支柱ノ兩端ヲ締ムルトキ 厚十六分ノ七時以下ノ鐵板又ハ銅板ナルトキ 一〇〇
- (丁) 丙ノ取附法ニシテ外面ニ厚ハ板ノ厚ノ二分ノ一以上又徑ハ支柱心距ノ三分ノ一以上ノ坐金ヲ有スルトキ 一五〇
- (戊) 丙ノ取附法ニシテ外面ニ厚ハ板ノ厚ノ二分ノ一ヨリ少カラス、徑ハ支柱心距ノ五分ノ二以上ノ坐金ヲ絞釘ニテ取附ケタルトキ 一六〇
- (己) 丙ノ取附法ニシテ外面ニ徑ハ支柱心距ノ三分ノ二以上厚ハ板ノ厚ヨリ少カラサル坐金ヲ絞釘ニテ取附ケタルトキ 一七五
- (庚) 丙ノ取附法ニシテ外面ニ厚ハ板ノ厚ヨリ少カラス、幅ハ支柱横列間心距ノ三分ノ二以上ノ條板ヲ絞釘ニテ取附ケタルトキ 一九〇
- (辛) 焰管集ニ於ケル管板ニシテ支柱若ハ支柱管ヲ以テ支フルトキ 一四〇

鋼板ハ燃焼室ニ使用スルモノ及ヒ火焰ノ接觸ヲ受クルモノヲ除キ定數(〇)ニ一、二五ヲ乘シタルモノヲ用ウヘシ

第十四條 焰管集間ノ充水部ニ於ケル平板ノ強力ハ左ノ算式ニ依リ之ヲ定ムヘシ

$$P = \frac{0 \times 1/2}{p^2}$$

P ハ最大汽壓 (每平方吋磅ニテ)

P ハ各端列中心間ノ水平距離 (吋ニテ)
 T ハ板ノ厚 (吋ノ十六分ノ一ニテ)
 C ハ定數ニシテ左表ニ據ル

端列ニ於ケル支柱燭管ノ配置法	管板ノ外面ニ母螺ヲ有セサルトキ	管板ノ外面ニ母螺ヲ有スルトキ
支柱燭管間ニ二本ノ普通燭管アルトキ	一二〇	一三〇
支柱燭管間ニ一本ノ普通燭管アルトキ	一四〇	一五〇
端列悉ク支柱燭管ナルトキ	一六〇	一七〇
端列悉ク支柱燭管ニシテ一本置ニ母螺ヲ有スルトキ	—	—

第十五條 平板ニ補強トシテ其ノ厚ノ三分ノ二ヨリ少カラサル厚ヲ有スル覆板ヲ鉸釘ニテ取附ケタルトキハ前二條ノ算式中平板ノ厚(吋ノ十六分ノ一ニテ)ニ覆板ノ厚(吋ノ十六分ノ一ニテ)ノ二分ノ一ヲ加ヘタルモノヲ以テ平板ノ厚ニ代フルコトヲ得

第十六條 燃燒室上部ノ壓力ヲ受クル管板ノ厚ハ左ノ算式ニ依リ得タルモノヨリ少カルヘカラス

$$T = \frac{P \times W \times D}{1,600 \times (D - d)}$$

T ハ管板ノ厚 (吋ノ十六分ノ一ニテ)
 P ハ最大汽壓 (每平方吋磅ニテ)
 W ハ燃燒室上部ノ外幅 (吋ニテ)
 D ハ燭管ノ水平心距 (吋ニテ)
 d ハ通常燭管ノ内徑 (吋ニテ)

第十七條 燃燒室ノ頂上其ノ他ノ平面ヲ支フル支梁ノ強力ハ左ノ算式ニ依リ之ヲ定ムヘシ

$$P = \frac{C \times D^2 \times T}{(L-p) \times D \times I}$$

- P ハ最大汽壓 (每平方吋磅ニテ)
- L ハ兩管板間ノ距離又ハ管板ト燃燒室後部トノ距離 (吋ニテ)
- P ハ支梁上ニ在ル支柱ノ心距 (吋ニテ)
- D ハ支梁ノ心距 (吋ニテ)
- d ハ支梁中央部ノ深 (吋ニテ)
- T ハ支梁中央部ノ厚 (吋ニテ)
- O ハ定數ニシテ左表ニ據ル

各支梁ニ備フル支柱ノ數	鐵製支梁ヲ用ウルトキ	鋼製支梁ヲ用ウルトキ
一	六〇〇〇	六六〇〇
二若ハ三	九〇〇〇	九九〇〇
四若ハ五	一〇〇〇〇	一一〇〇〇
六若ハ七	一〇五〇〇	一二五五〇
八以上	一〇八〇〇	一二八八〇

第十八條 筒形火爐ノ強力ハ左ノ算式ニ依リ之ヲ定ムヘシ

(一) 火爐平坦部ノ長、厚ノ百二十倍ヲ超ユルトキ

$$P = \frac{1,075,200 \times T^2}{I \times D}$$

(二) 火爐平坦部ノ長、厚ノ百二十倍以下ナルトキ

$$P = \frac{30 \times (300 \times T - D)}{D}$$

P ハ最大汽壓 (每平方吋磅ニテ)

T ハ板ノ厚 (吋ニテ)

D ハ火爐ノ外徑 (吋ニテ)

L ハ火爐平坦部ノ長ニシテ鏡板若ハ管板ノ突縁ニ接スル所ニ於テハ接合鉸釘ノ中心線ヨリ測リ突縁ヲ以テ鏡板若ハ管板ニ接スル所、縁環又ハ「アダムソン」式環ニ於テハ各彎曲部ノ起點ヨリ測リタルモノ (吋ニテ)

第十九條 「フオックス」式又ハ「モリソン」式ニ從ヒ製造シタル鋼製火爐ノ強力ハ左ノ算式ニ依リ之ヲ定ムヘシ

$$P = \frac{1,259 \times (T - 2)}{D}$$

肋形ニシテ其ノ突出圈ノ距離九吋ナル鋼製火爐ノ強力ハ左ノ算式ニ依リ之ヲ定ムヘシ

$$P = \frac{1,160 \times (T - 2)}{D}$$

螺形鋼製火爐ノ強力ハ左ノ算式ニ依リ之ヲ定ムヘシ

$$P = \frac{912 \times (T - 2)}{D}$$

P ハ最大汽壓 (每平方吋磅ニテ)

T ハ板ノ厚 (吋ノ十六分ノ一ニテ)

D ハ「フオックス」式「モリソン」式及ヒ螺形火爐ナルトキハ皺形ノ外邊ノ徑、肋形火爐ナルトキハ平坦部ノ外邊ノ徑 (吋ニテ)

「ホルムス」式鋼製火爐ニシテ皺形ノ心距十六吋ヲ超エス其ノ高二吋ヨリ下ヲサルモノノ強力ハ左ノ算式ニ依リ之ヲ定ムヘシ

$$P = \frac{945 \times (T-2)}{D}$$

P ハ最大汽壓 (每平方吋磅ニテ)

T ハ火爐平坦部ノ厚 (吋ノ十六分ノ一ニテ)

D ハ火爐平坦部ノ外徑 (吋ニテ)

第二十條 支柱ヲ有セサル扁平鏡板ノ強力ハ左ノ算式ニ依ルヘシ

$$P = \frac{C \times T^2}{D^2}$$

P ハ最大汽壓 (每平方吋磅ニテ)

T ハ鏡板ノ厚 (吋ノ十六分ノ一ニテ)

D ハ鏡板ノ徑 (吋ニテ)

C ハ定數ニシテ 鐵製ナルトキ

鋼製ナルトキ

第二十一條 外方ニ凸出スル皿形鏡板ノ強力ハ左ノ算式ニ依ルヘシ

$$P = \frac{C \times T}{R}$$

P ハ最大汽壓 (每平方吋磅ニテ)

T ハ鏡板ノ厚 (吋ニテ)

R ハ突出ノ半徑 (吋ニテ)

三六〇
五二〇

鐵製ナルトキ
鋼製ナルトキ

一三四四〇
一九四〇〇

内方ニ凸出シタル鏡板ノ強力ハ前項ノ算式ニ依リ計算シタルモノノ百分ノ六十ト爲スヘシ又定數
(C)ハ鐵板ニ在リテハ一平方吋 抗張力纖維ヲ横リテ十八噸ヲ超ユルトキ、鋼板ニ在リテハ一平
方吋ノ抗張力二十六噸ヲ超ユルトキハ其ノ割合ヲ以テ増加スルコトヲ得

第五章 管

第一條 内部ヨリ壓力ヲ受クル諸管ノ強力ハ左ノ算式ニ依リ之ヲ定ムヘシ

(一) 銅管

$$T = \frac{6,000 \times (W - C)}{D}$$

(二) 累接鍛合鐵管

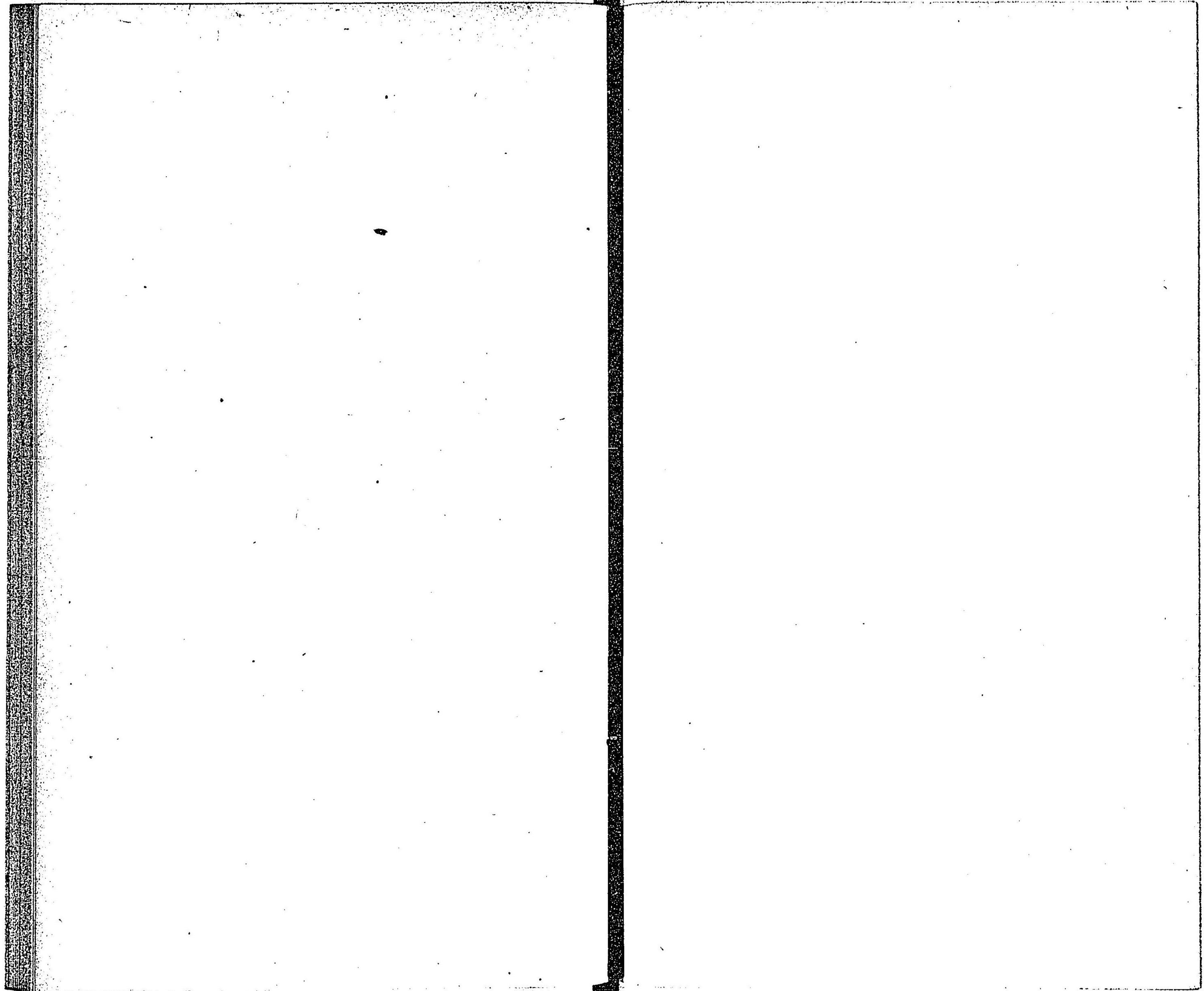
$$T = \frac{6,000 \times W}{D}$$

(三) 無接合鋼管

$$T = \frac{9,000 \times W}{D}$$

P ハ最大汽壓 (每平方吋磅ニテ)
D ハ管ノ内徑 (吋ニテ)
T ハ管ノ厚 (吋ニテ)
C ハ定數ニシテ蠟付接合ナルトキハ十六分ノ一又無接合ニシテ徑八吋以下ナルトキハ三十二分ノ
一
但鐵製及ヒ鋼製汽管ハ厚四分ノ一時未滿ノモノヲ使用スルヲ得ス

○發動機船管海官廳ニ於テ検査ヲ受クヘキノ件
明治三十八年三月
逕信省令第十八號
發動機船ハ管海官廳ニ於テ明治三十八年九月三十日迄ニ検査ヲ受クヘシ但検査ヲ受クル迄船舶検査
證書ヲ受有セスシテ之ヲ航行ノ用ニ供スルコトヲ得



○發動機船検査規程

明治三十八年三月
遞信省令第十九號

第一條 本規程ニ於テ發動機トハ蒸氣ヲ用ヒサル推進用機關ヲ謂ヒ發動機船ト稱スルハ發動機ヲ以テ運航スル船舶ヲ謂フ

第二條 發動機船ノ検査ニ付テハ本規程ニ規定アルモノヲ除ク外明治三十三年^{十二}月^{十二}遞信省令第八十八號船舶検査規程ノ規定ヲ準用ス

第三條 發動機ノ特別検査期間ハ左ノ標準ニ依リ之ヲ定ムヘシ

- 一 製造後十五年未満ノモノ 三 年
- 二 製造後十五年以上ノモノ 二 年

第四條 油槽、氣槽及ヒ電池ハ船内ノ安全ナル場所ニ置キ検査官吏ニ於テ適當ト認ムル安全装置ヲ設クヘシ

第五條 發動機ニハ完全ナル反轉装置及ヒ緩急装置ヲ設クヘシ

第六條 石油發動機船ノ隔壁及ヒ船體ノ部分木製ニシテ發動機ニ接近シ燃燒ノ虞アルトキハ之ニ鉛板、鐵板若ハ亞鉛板ヲ張り又ハ其ノ他ノ方法ニ依リ燃燒ノ豫防ヲ爲スヘシ

電氣發動機船ノ蓄電池室ニハ通風ノ装置ヲ爲シ其ノ床ハ鉛板ヲ以テ之ヲ覆フヘシ

第七條 石油發動機船ニ在リテハ別表ニ依リ機關部屬具ヲ備ヘ電氣發動機船ニ在リテハ機關室用小道具一揃ヲ備フヘシ

第八條 電氣發動機船ノ速力試験又ハ試運轉ニハ「フール、ロード」試験ヲ執行シ發動機ニ起ル溫度ヲ檢スヘシ

第九條 電氣發動機ニハ完全ナル絶緣装置ヲ施スヘシ

第十條 電氣發動機ニハ完全ナル速度調整器ヲ設クヘシ
 第十一條 電氣發動機ニハ開閉器及ヒ自動遮斷器ヲ備フヘシ
 別表

石油發動機船機部屬具表

屬具名稱	航路定限		平水航路	摘要
	沿海航路	平水航路		
吸 鑿 發 條	氣筒四箇每二	一組		
吸 入 瓣	氣筒四箇每二	一箇		
排 出 瓣	氣筒四箇每二	一箇		
給 油 唧 筒 瓣	給油唧筒二箇每二	一組		
冷 箱 唧 筒 瓣	氣筒二箇每二	一組		
點 火 管	氣筒二箇每二	三箇	同	電氣ヲ以テ發火スルモノ ハ之ヲ要セス
電 氣 點 火 器	氣筒四箇每二	一組	同	電氣ヲ以テ發火スルモノ ニ限ル
發 電 子		一箇		電氣ヲ以テ發火スルモノ ニ限ル
電 池	總數ノ二分ノ一	一組	總數ノ四分ノ一	電氣ヲ以テ發火スルモノ ニ限ル
起 動 ラ ン プ 火 口		一組		
接 續 罫 上 下 螺 釘		一組	同	
螺 釘 及 ヒ 母 螺		若干	同	
機 關 室 用 小 道 具		一揃	同	

○遠洋漁船検査規程

明治三十八年三月
農商務省令第十號

第一章 總則

第一條 本規程ハ遠洋漁業獎勵法ニ依リ獎勵金ヲ受ケ又ハ受ケムトスル遠洋漁船ノ検査ニ之ヲ適用ス

第二條 遠洋漁業獎勵法ニ依リ漁船獎勵金ヲ受ケムトスル船體及機關ノ構造ハ第二章ノ規定ニ依ルヘシ

漁業獎勵金ヲ受ケ又ハ受ケムトスル船舶ノ構造ハ第二章ノ規定ニ準據スヘシ

第三條 漁業獎勵金ヲ受ケ又ハ受ケムトスル船舶ニシテ其ノ船體ノ要部力第二章ノ規定ニ合格スルモノナルトキハ左ノ標準ニ依リ其ノ資格ヲ定ムヘシ

一 第一級船 汽船^上 甲板^下噸數百噸以上
帆船上^最 強^速 力^八 節^{以上}

二 第二級船 汽船^上 甲板^下噸數五十噸以上
帆船上^最 強^速 力^八 節^{以上}
帆船上^最 強^速 力^八 節^{以上}

木製遠洋漁船ニシテ其ノ船體ノ要部力第二章第一節ノ規定ニ合格セサルモノト雖検査官吏ニ於テ木船検査規程ニ合格スル船舶ノ強力ト同等以上ノ強力ヲ有スルモノト認ムルトキハ前項ノ標準ニ依リ其ノ資格ヲ定ムルコトヲ得

明治三十五年一月一日以前ニ於テ製造シタル木製遠洋漁船ニシテ其ノ船體ノ要部ノ一部カ木船検査規程ニ合格セサルモノト雖検査官吏ニ於テ遠洋漁業ニ支障ナシト認ムルトキハ船舶検査規程ニ定ムル標準ニ依リ其ノ資格ヲ定ムルコトヲ得

第四條 遠洋漁船ニハ水密ノ甲板ヲ備フルコトヲ要ス

第五條 遠洋漁船ノ上甲板ニハ海圖室、操舵室、炊事室、燈具室及厠ヲ除クノ外船室ヲ設クヘカラス
但シ漁獲物處理運搬船又ハ明治三十八年四月一日以前ニ製造シタル船舶ニシテ検査官吏ニ於テ漁
獵業ニ支障ナシト認ムルモノニ在リテハ此ノ限ニ在ラス

第六條 遠洋漁船ノ舷側ニハ載貨門ヲ設クヘカラス

第七條 遠洋漁船ニハ適當ノ重量ヲ有スル壓艙物ヲ搭載スルコトヲ要ス

搭載シタル壓艙物移動シ易キ物質ナルトキハ防移隔板ヲ設クルコトヲ要ス

第八條 主トシテ活魚ヲ搭載スル遠洋漁船ニハ活魚艙ヲ設クルコトヲ要ス

第九條 主トシテ鮮魚ヲ搭載スル遠洋漁船ニハ防熱裝置ヲ爲シタル鮮魚艙ヲ設クルコトヲ要ス

第十條 遠洋漁船ノ検査ニ關シ本規程ニ規定ナキモノニ付テハ船舶検査規程發動機船検査規程ヲ適
用ス但シ船舶検査規程第五十七條乃至第六十四條、第七十四條及第一百十二條ハ此ノ限ニ在ラス

第二章 船體及機關

第一節 木製遠洋漁船

第十一條 木製遠洋漁船ノ構造ニ關シ本節ニ規定ナキモノニ付テハ木船検査規程ヲ適用ス但シ同規
程第四章第七條但書ハ此ノ限ニ在ラス

第十二條 木製遠洋漁船ノ構造ハ重甲板船ノ構造ニ準據スルコトヲ要ス

第十三條 木製遠洋漁船ノ船體各部ノ材料及寸法ハ第一號表乃至第六號表ニ據ルヘシ但シ第一號表

ニ掲ケサル材料ト雖検査官吏ニ於テ適當ト認ムルモノハ之ヲ使用スルコトヲ得

第十四條 肋骨ハ二材合セト爲スコトヲ要ス

第十五條 鐵、鉛類ノ壓艙物ヲ用ヅルトキハ其ノ部分ノ内龍骨又ハ龍骨ノ截面及嵌接ノ長ハ之ヲ適

宜ニ増加スルコトヲ要ス

第十六條 外板ノ幅ハ八吋ヲ、内張板ノ幅ハ十二吋ヲ超ユヘカラス

第十七條 甲板ノ幅ハ六吋以下ニシテ其ノ端末ニ於ケル幅ハ填絮ヲ施スニ充分ナルコトヲ要ス

第十八條 内龍骨、龍骨及船首材ノ嵌接ニ用ウル敲釘並内龍骨、龍骨及力材ノ貫通敲釘ハ銅又ハ黃銅ヲ用ウルコトヲ要ス

第十九條 檣、帆架、斜檣等ノ寸法ハ左表ニ據ルヘシ

名	稱	材	料	徑
「シツプ」「パーク」及「ブリッゲ」ノ正檣、前檣、前上檣、正上檣及「シツプ」ノ後上檣		杉		長三呎ニ付一時
「シツプ」ノ後檣、「ブリガンタイン」ノ前檣		杉		長四呎ニ付一時
「シツプ」ノ後檣、「ブリガンタイン」ノ前檣		杉		長四呎ニ付一時
帆架、頂檣、「パーク」及「パーク」ノ正上檣		杉		長七呎ニ付二吋
「スクーナー」ノ檣		杉		長九呎ニ付二吋
「パーク」及「パーク」ノ正檣		杉		長七呎ニ付四吋
斜 檣		杉		長七呎ニ付四吋
「シツプ」ノ「フライイングシツプ」及「ブーム」		杉		長十五呎ニ付四吋

第二節 鐵、鋼製遠洋漁船

第二十條 鐵、鋼製遠洋漁船ノ構造ニ關シテハ鐵鋼船檢査規程ヲ適用ス

第二十一條 鐵、鋼製遠洋漁船ノ構造ハ重甲板船ノ構造ニ準據スルコトヲ要ス

第三節 木鋼交造遠洋漁船

第二十二條 本節ニ定ムル構造方法ハ船ノ長カ深ノ十倍及幅ノ七倍ヲ超エサル船舶ノ構造方法ヲ示

シ其ノ寸法及員數ハ最小ノ限度ヲ、距離ハ最大ノ限度ヲ示シタルモノトス
前項ノ範圍ヲ超ユル船舶ニ付テハ適當ノ補強構造ヲ爲スコトヲ要ス

第二十三條 木鋼交造遠洋漁船ノ肋骨ノ寸法及隔壁ノ厚ハ第一數ニ據リ第七號表ニ照シ龍骨、龍骨
鋼板、船首材、船尾材、舵柱、內龍骨、舷側鋼板、彎曲部鋼板、斜帶鋼板、梁上帶板、梁上側板、梁柱、外
板、甲板、內張板及舵ノ寸法ハ第二數ニ據リ第八號表ニ照シ之ヲ定ムヘシ

前項ノ第一數及第二數ハ木船檢査規程第一章第二條及第三條ノ規定ニ依リ重甲板船ノ構造ニ準據
シテ之ヲ定ムヘシ

梁ノ寸法ハ第九號表ニ據リ船ノ中央ニ於ケル各層梁ノ長ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

船體ノ重要ナル部分ニ用ウル固著釘ノ徑ハ第二數ニ據リ第十號表ニ照シ之ヲ定ムヘシ第七號表乃
至第十號表ニ於テ鋼材ニ代ヘ鐵材ヲ用ウルトキハ其ノ截面ヲ百分ノ二十以上増加スルコトヲ要ス

第二十四條 龍骨鋼板ハ木龍骨ノ上面ニ附シ船首尾兩端ニ於テ最下甲板ノ梁上側板ニ達セシムルコ
トヲ要ス其ノ厚ハ第八號表ニ據リテ之ヲ定メ船首力材及船尾力材ノ上部ニ於テハ尙二十分ノ一吋
ヲ増加スヘシ幅ハ中央部ニ於テ船ノ長ノ五分ノ三間ハ第八號表ニ揭クル寸法トシ其ノ前後ニ於テ
ハ漸次減少シテ力材頂部ノ幅ト等クシ其ノ兩緣ニハ外板ノ端末ヲ固著スルニ要スル山形材ヲ附ス
ヘシ

木龍骨ハ第十號表ニ揭クル螺釘ヲ以テ肋骨間ニ於テ龍骨鋼板ニ固著スルコトヲ要ス

龍骨鋼板ノ橫緣ハ二列釘固著ト爲シ木龍骨ノ嵌接ト適當ニ隔離スルコトヲ要ス

第二十五條 龍骨翼板ハ龍骨鋼板ニ緊著シ木龍骨ニハ之ヲ受クルニ適當ナル溝ヲ穿ツヘシ又龍骨
板ノ橫緣ハ龍骨鋼板ノ橫緣及木龍骨ノ嵌接ト適當ニ隔離スヘシ
厚五吋以上ノ龍骨翼板ハ中央部ニ於テ船ノ長ノ五分ノ三間龍骨ヲ貫通シ兩舷ニ達スル敲釘ヲ以テ

固著スヘシ但シ敲釘ノ心距ハ四呎六吋ヲ超ユヘカラス

第二十六條 第一數二十未滿ノ船舶ノ副肋材ハ彎曲上部迄達セシムヘシ

第一數二十以上ノ船舶ノ副肋材ハ一本置ニ上甲板ノ梁上側板迄ト彎曲部縱通材ノ上部迄トニ達セシムヘシ但シ第二甲板梁ヲ要スル船舶ニ在リテハ一本置ニ上甲板ノ梁上側板迄ト第二甲板梁ノ梁上側板ニ附スル山形材ノ上部迄トニ達セシムヘシ

第二十七條 肋板上ニ附スル中心線單板内龍骨ノ堅板ノ厚ハ第八號表ニ據リ其ノ深ハ肋板ノ深ノ三分ノ二ト爲スヘシ又其ノ兩面上下ニハ同表ニ掲グル内龍骨山形材ヲ固著シ且中央部ニ於テ船ノ長ノ三分ノ二間下端山形材ノ下邊ノ幅ノ三倍半ヨリ小ナラサル幅ヲ有スル礎板及上端ニ附シタル山形材ニ固著スルニ充分ナル幅ヲ有スル冠板ヲ附スヘシ但シ下端山形材ノ下邊ノ幅ヲ増シ其ノ合幅ヲ礎板ノ幅ニ等クシニ重副肋材ト二列釘固著ト爲ストキハ礎板ハ之ヲ略スルコトヲ得

中心線斷切板内龍骨ノ斷切板ノ厚ハ第八號表ニ據リ龍骨ヨリ肋板ノ上端迄達セシメ第七號表ニ掲グル副肋材ト同寸法ノ山形材ヲ以テ之ヲ肋板毎ニ固著シ深ハ船ノ幅一呎ニ付四分一吋ノ割合ヨリ二吋深ク厚ハ深一吋ニ付二十分一吋ノ割合ヲ有スル球板ヲ肋骨ノ部分ニ於テ適當ニ切取リ斷切板ニ固著シ得ヘキ處迄垂下セシメ第八號表ニ掲グル内龍骨山形材ヲ肋板ノ上端ニ於テ球板ノ兩側ニ固著スヘシ但シ斷切板ヲ山形材ノ上端迄達セシムルトキハ球板ヲ垂下セシムルコトヲ要セス

中心線貫通板内龍骨ノ貫通板ノ厚ハ第八號表ニ據リ龍骨ヨリ肋板ノ上端ニ達セシメ且其ノ肋板ハ兩面ニ第七號表ニ掲グル副肋材ト同寸法ノ山形材ヲ附シテ之ヲ貫通板ニ固著スルノ外第八號表ニ掲グル龍骨鋼板ト同寸法ノ板ヲ肋板上ニ平置シニ重副肋材及貫通板上端兩面ニ附スル山形材ニ固著スヘシ又貫通板ノ下端ハ其ノ兩面ニハ第八號表ニ掲グル内龍骨山形材ヲ附シテ龍骨鋼板ニ固著スヘシ但シ貫通板ヲ肋板ノ上端ヨリ上部ニ延長スルトキハ其ノ兩側ニ龍骨鋼板ト同厚ニシテ半分

ノ幅ヲ有スル平置板ヲ設ケ之ヲ二重副肋材ニ固著シ且貫通板ノ兩面ニ第八號表ニ掲クル内龍骨山形材ヲ附シテ之ヲ平置板ニ固著スヘシ

第二十八條 船底彎曲部ノ下部ニハ船ノ首尾ヲ通シテ第八號表ニ掲クル内龍骨山形材ヲ二枚合ト爲シタル彎曲部内龍骨ヲ附シ二重副肋材ニ固著シ又第二號三萬以上ノ船舶ニ於テハ中央部船ノ長ノ二分ノ一間深ハ船ノ幅一呎ニ付四分ノ一時ノ割合、厚ハ深一時ニ付二十分ノ一時ノ割合ヲ有スル球板ヲ挿入スヘシ

第二數六萬六千以上ノ船舶ニ於テハ中心線内龍骨ト彎曲部内龍骨トノ大約中央ニ於テ中央部五分ノ三間斷切板内龍骨ト同厚ノ制水板ヲ附シ副肋材ト同寸法ノ山形材ヲ以テ肋板ニ固著スヘシ

彎曲部内龍骨ノ兩端ハ中央部ニ於ケル肋板ノ厚ニ等キ肘板ヲ以テ結續スヘシ

第二十九條 舷側鋼板ノ厚ハ第八號表ニ據リ幅ハ中央部二分ノ一間ハ船ノ長六呎ニ付一時ノ割合ト爲スヘシ但シ船首尾ニ於ケル幅及厚ハ中央部ノ四分ノ三ト爲スコトヲ得

舷側鋼板ノ横線ハ二列釘固著トシ梁上側板ノ横線ト肋骨心距ノ三倍以上隔離スルコトヲ要ス
上甲板梁上側板下ニ於ケル舷側鋼板ノ幅ハ其ノ全幅ノ三分ノ二以下トシ其ノ覆板ヲ内面ニ取附クルトキハ梁上側板ヲ貫通スルコトヲ要ス

第三十條 彎曲部鋼板ハ彎曲部肋板ノ上端ニ取附ケ其ノ厚ハ第八號表ニ據リ幅ハ中央部ニ於テ船ノ長ノ五分ノ三間ハ舷側鋼板ノ三分ノ二トシ船首尾ニ於テハ漸次ニ之ヲ減少シ中央部ノ幅ノ二分ノ一ト爲スコトヲ得

第三十一條 斜帶鋼板ハ舷側鋼板ノ下部ヨリ彎曲部鋼板迄達セシメ覆板ヲ附シ二列釘ヲ以テ舷側鋼板及彎曲部鋼板ニ固著シ尙毎肋骨ニ釘著スヘシ其ノ厚ハ第八號表ニ據リ幅ハ第二十九條ニ掲クル舷側鋼板ノ三分ノ一ト爲スヘシ斜帶鋼板ハ肋骨ニ四十五度ノ角度ニ取附ケ船首ニ於テハ頭部ヲ後

方ニ向ハシノ船尾ニ於テハ之ヲ前方ニ向ハシムル様配置シ中央部ニ於テ三本以上相交又セシメ其ノ心距ハ八呎以内ト爲スヘシ

第三十二條 外板ノ厚ハ第八號表ニ據リ之ヲ定ムヘシ但シ上甲板梁上側板以下船ノ深五分ノ一間ノ船側外板ハ其ノ厚ノ五分ノ一ヲ減スルコトヲ得

外板ノ横線ハ肋骨間ニ配置シ其ノ内面ニハ鋼覆板ヲ附シテ固著スヘシ又覆板ノ幅ハ外板ノ幅ニ等ク長ハ肋骨間ノ長ニ等ク厚ハ第八號表ニ據リ之ヲ定ムヘシ

第三十三條 上甲板梁ハ肋骨ニ本置ニ之ヲ設クルコトヲ要ス

深十三呎未満ノ船舶ニ於テハ彎曲部内龍骨ト甲板梁ノ中間ニ第八號表ニ掲クル内龍骨山形材ト同寸法ノ山形材二枚合セノ船内縦通材ヲ設クルコトヲ要ス

深十三呎以上十四呎未満ノ船舶ニ於テハ中央部ニ於テ船ノ長ノ五分ノ三間ハ前項ニ掲クル山形材ノ中間ニ深ハ船幅一呎ニ付四分ノ一吋、厚ハ深一吋ニ付二十分ノ一吋ノ厚ヲ有スル球板ヲ挿入スヘシ但シ球板ノ代リニ板ヲ挿入シ山形材ヲ以テ之ヲ外板ニ固著スルコトヲ妨ケス

深十四呎以上十五呎半未満ノ船舶ニ於テハ前項ニ掲クル球板ノ代リニ幅十二吋厚二十分ノ七吋ノ鋼板ヲ挿入シテ之ヲ外板ニ固著シ且該板内縁ノ兩面ニハ船ノ首尾ヲ通シテ第八號表ニ掲クル内龍骨山形材ト同寸法ノ山形材ヲ固著スルコトヲ要ス又深十五呎半未満ノ船舶ニシテ第二數五萬以上ナルトキハ本條第一項ニ規定シタル縦通材ノ外彎曲上部ニ第八號表ニ掲クル内龍骨山形材ト同寸法ノ山形材二枚合セノ彎曲部縦通材ヲ設クルコトヲ要ス

船内縦通材ノ兩端ハ中央部ニ於ケル肋板ノ厚ニ等キ肘板ヲ以テ結續スヘシ

深十五呎半以上十六呎半未満ノ船舶ニ於テハ第二甲板梁ニ等キ船梁ヲ肋骨四本置ニ設クルコトヲ要ス

深十六呎半以上十九呎半未満ノ船舶ニ於テハ第二甲板梁ニ等キ艙梁ヲ交互ニ肋骨二本毎及四本毎ニ設クルコトヲ要ス

最下甲板梁ヨリノ深十二呎以上ニシテ船首ノ形狀扁平ナル船舶ニ於テハ船首部ニ於テ梁ノ層數又ハ肋板ノ深ヲ増スコトヲ要ス

梁ノ長上甲板ノ最長梁ノ二分ノ一ヲ超ユルトキハ梁柱ヲ取附ケ上層梁ニ梁柱ヲ要スルトキハ其ノ下層ノ梁ニモ亦之ヲ設クルコトヲ要ス

第三十四條 上甲板梁上側板ノ厚ハ第八號表ニ據リ幅ハ中央部二分ノ一間ハ船ノ長七呎ニ付一吋ノ割合トシ首尾ニ於テハ中央部ノ幅ノ四分ノ三ト爲スコトヲ得第二甲板ノ梁端ニ附スル梁上側板ハ其ノ幅ヲ上甲板梁上側板ノ四分ノ三トシ第八號表ニ掲グル梁上側板山形材ヲ以テ肋骨ニ固著スルコトヲ要ス

梁上側板ノ横縁ハ二列釘固著ト爲スヘシ

第三十五條 梁上帶板ハ各層梁上ニ船首尾ヲ通シ之ヲ設クヘシ但シ艙梁ニハ正肋材ヨリ小ナラサル山形材二條ヲ船ノ首尾ヲ通シ艙口兩側ニ附シ梁上帶板ニ代フルコトヲ得

帆船ニハ檣ヲ楔止ト爲スヘキ甲板ニ檣ノ近傍ニ於テ梁上斜帶板ヲ附シ之ヲ梁、梁上帶板及梁上側板ニ固著スルコトヲ要ス但シ第二數一萬五千以上ノ船舶ニ於テハ上甲板ノ梁上斜帶板ハ船ノ首尾ヲ通シテ之ヲ取附クヘシ

梁上帶板及梁上斜帶板ノ厚ハ第八號表ニ據リ幅ハ梁ノ深ノ一倍半ヨリ小ナルヘカラス

梁上帶板及梁上斜帶板ノ横縁ハ二列釘固著ト爲スヘシ

第三十六條 龍骨及船首材ノ嵌接ニ用キル敲釘、龍骨、内龍骨及力材ノ貫通敲釘並浸水部外板ニ用キル螺釘ハ銅釘又ハ黃銅釘ト爲スコトヲ要ス

第三十七條 本節ニ規定ナキモノニ付テハ木材各部ハ木船検査規程ニ、鋼材各部ハ鐵鋼船検査規程ニ準據スヘシ

第四節 機關

第三十八條 遠洋漁船ノ機關ノ構造ニ關シテハ機關検査規程ヲ適用ス

第三章 屬具

第三十九條 遠洋漁船ニハ左ノ豫備帆ヲ備フヘシ

(甲)

「スクーナー」

「フォースル」

「フォーステースル」

「メインスル」

(乙)

「カッター」「ケツチ」「スループ」

「メインスル」

「フォーステースル」

(丙)

「ラッガー」

「フォースル」

(丁)

「フォースル」又ハ「メインスル」

(戊)

「フォーステースル」

(己)

「トップスル」

横帆ヲ備フル船

一箇 一箇 一箇 一箇 一箇 一箇 一箇 一箇 一箇 一箇

第四十條 遠洋漁船ノ救命具、船燈、信號器、測量器及消防具ハ第十一號表ニ據リ之ヲ備フヘシ
第四十一條 遠洋漁船ノ機關部屬具ハ第十二號表ニ據リ之ヲ備フヘシ

第四章 業務設備

第一節 海獸獵業

第四十二條 鯨獵船ニ設備スヘキモノ左ノ如シ

- 一 本船ニテ砲ヲ使用スルモノニ在リテハ砲、砲臺、綱臺、鉗綱、導車、發條機、捲揚器、鉗、破裂頭、曳綱、手槍及突庖刀

- 二 漁艇ニテ獵具ヲ使用スルモノニ在リテハ鉗、手槍、破裂槍、投射銃、鉗綱並處理用具トシテ糞油釜竈、屠割臺、庖刀、鉤、脂肪切臺及油樽

漁艇ニテ獵具ヲ使用スル獵船内ニ於テ漁獲物ヲ處理セサルモノニ在リテハ前項第二號ノ處理用具ヲ設備スルコトヲ要セス

第四十三條 臘虎、臘獸獵船ニ設備スヘキモノ左ノ如シ

- 一 獵銃、彈丸、火藥、藥袋、雷管、裝彈器、洗矢、獵銃修繕器及處理用庖刀

第二節 網漁業

第四十四條 旋網漁船ニ設備スヘキモノ左ノ如シ

- 一 網、其ノ附屬具、網置臺、攪網及導車類

第四十五條 打網漁船ニ設備スヘキモノ左ノ如シ

- 一 桁打網漁船ニ在リテハ網、其ノ附屬具、代ハ網、曳綱、捲揚器及導車類

- 二 板打網漁船ニ在リテハ網、其ノ附屬具、代ハ網、曳綱、網吊柱、捲揚器及導車類

第四十六條 流網漁船ニ設備スヘキモノ左ノ如シ

- 一 網、網線綱、網置臺、捲揚器及導車類

第三節 釣漁業

第四十七條 延繩漁船ニ設備スヘキモノ左ノ如シ

- 一 延繩、其ノ附屬具及導車類

第四十八條 立繩漁船又ハ鰹釣漁船ニ設備スヘキモノ左ノ如シ

一 立繩又ハ鰹釣具及其ノ附屬具

鰹釣漁船ニシテ活餌貯藏用ノ魚鱈ヲ備ヘサルモノニ在リテハ活箱及唧筒ヲ備フルコトヲ要ス

第四節 漁獲物處理用具

第四十九條 漁獲物處理運搬船及第二節乃至第三節ニ掲グル漁獵船ニ於テハ截割用具ノ外左ノ區別

ニ從ヒ處理用具ヲ備フヘシ

一 鮮魚ノ處理ヲ目的トスルモノニ在リテハ氷藏用器

二 鹽水漬ヲ目的トスルモノニ在リテハ鹽藏容器

三 採油ヲ目的トスルモノニ在リテハ釜竈及油容器

四 煮熱品製造ヲ目的トスルモノニ在リテハ釜竈及乾燥ニ要スル器具

第五節 漁艇

第五十條 遠洋漁船ニハ其ノ噸數及業務ノ種類ニ應シ第十三號表ニ照シ漁艇ヲ備ヘ且迅速ニ水面

ニ卸シ得ヘキ裝置ヲ爲スハシ

漁艇ニハ船首其ノ他見易キ場所ニ其ノ容積、本船ノ船名、船籍港若ハ定繫所ヲ表示スヘシ

第五十一條 漁艇ニハ必要ナル附屬品ノ外豫備トシテ樞、樞架、放水口ノ栓、塗水杓及鈎竿各一箇以

上ヲ備フヘシ

第六節 飲料水

第五十二條 飲料水ハ業務ノ種類及漁場ノ狀況ニ應シ一航海ノ日數ヲ定メ乗組員每一人一日二升ノ

割合ヲ以テ之ヲ準備スヘシ但シ天水貯溜ノ裝置又ハ蒸溜器ノ設備アルモノハ其ノ割合ヲ減スルコト

ヲ得

前項一航海ノ日數ハ検査官吏ニ於テ之カ變更ヲ命スルコトアルヘシ

附 則

本規程ハ明治三十八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十年農商務省令第九號遠洋漁業船舶裝規程ハ本規程施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

第一號表
材料

副梁梁副	梁	側側	副側內	力	船船肋	船船船	副船副龍	
梁 梁	壓	曲內	內內		尾尾	尾	船	
受受	材	部厚	龍龍		縱橫	管尾	首龍	
受 壓	材	通	骨骨	材	裂裂	膈	首	
板板材材	材	材板	骨骨骨	材	材材骨	材柱材	材材骨骨	
楓	檜、楓	楓	檜、楓	檜、楓、楠	楓、楠	檜、楓	檜、楓	甲
檜、檜、鹽地、赤身松、桂	檜、檜、鹽地、赤身松	檜、松、桂、鹽地	檜、榿、楠、栗、夕毛	檜、榿、栗、夕毛	檜、榿、栗、夕毛	檜	檜、榿、栗、楠、夕毛	乙
赤身杉	赤身杉、桂	赤身杉	赤身松、鹽地、桂、椎、檜	赤身松、鹽地、桂、椎、檜	赤身松、鹽地、椎、桂、檜	—	椎、桂、鹽地、桂、松	丙

斜帆檣	檣	舵舵	舵	木木	打沙	機船	木	縱梁	龍輪外外	根梁船船	內	船
	孔	蝶	心		込	關口	甲		帶側部	尾首	部	
	板	番針	材	栓釘	釘釘	口綠	板	梁	翼厚腰	曲曲	肘肘	腰
檣架						材材			板板板板	材材材材	板	鏑
楓、檜	楓	黃銅	櫻、楓	櫻、楓	黃銅、銅	櫻、楓	櫻、楓	楓	楓	楓、楠	楓	櫻、楓
松、杉	檜、檜	鐵	—	—	亞鉛鍍鐵	檜、赤身松、檜、梅、楠、栗、夕毛	檜	檜、梅、檜、松、夕毛	檜	檜、梅、松、栗、夕毛	檜、檜、桂、鹽地、赤身松	檜、檜、鹽地、赤身松
—	松、椎、桂、鹽地、檜	—	—	—	—	椎、桂、檜	赤身松、赤身杉、桂	赤身杉	赤身松、赤身杉、桂	桂、鹽地、椎、檜	赤身杉	赤身杉、桂

外板、木甲板、船心材及船針等ノ寸法

第二號表 肋骨ノ截面

外部 腰板	舷側 厚板	外板	内張板	木甲板	船心材	船螺 番ノ數	船針ノ 徑	材 質	材 野 第三數 以上 去添	肋 心距	二 材 合		
											肋 材		材
											材	材	材
楡	楡	楡	杉	楡	楡	黃銅	材 野	材 野	材 野	肋 心距	材	材	
吋 7×2	吋 1½	吋 1	吋 2	吋 6½	吋 2	吋 1½	2200—3300	11—12	吋 12	吋 3½	吋 2½		
2¼	7½×2	1¾	1	2	7	2	3300—5000	12—13	12	3½	2½		
2¼	8×2¼	2	1¼	2¼	8	2	5000—8400	13—14	13	3¾	2¾		
2½	8½×2¼	2¼	1½	2¼	9	3	8400—12500	14—15	13	4	3		
2½	9×2½	2¼	1½	2½	9½	3	12500—16700	15—16	14	4¼	3¼		
2¾	9½×2½	2½	1¾	2½	10	3	16700—20800	16—17	14	4½	3¼		
3	10×2¾	2½	1¾	2½	10½	3	20800—25000	17—18	15	4¾	3½		
3	10½×3	2½	2	2½	11	3	25000—29100	18—19	15	5	3½		
3¼	10½×3¼	2¾	2	2½	11¼	3	29100—33300	19—20	16	5¼	3¾		
3¼	10¾×3¼	2¾	2¼	2¾	11½	3	33300—37500	20—21	16	5½	3¾		
3½	11¼×3½	2¾	2¼	2¾	11¾	3	37500—42000	21—22	17	5¾	4		
3½	11¾×3½	3	2½	2¾	12¼	4	42000—50000	22—23	17	6	4		
3¾	12¼×3¾	3	2½	2¾	12¾	4	50000—58400	23—24	18	6¼	4¼		
3¾	13×3¾	3¼	2½	3	13¼	4	58400—66600	24—25	18	6½	4¼		
4	13½×4	3¼	2¾	3	13¾	4	66600—75000	25—26	19	6¾	4½		
4¼	14×4	3½	3	3¼	14¼	4	75000—83000	26—27	19	7	4½		
								27—28	20	7¼	4¾		
								28—29	21	7¾	4¾		
								29—30	22	8¼	5		

第三號表

龍骨、船首材、船尾材、舵柱、內龍骨、內張板、梁受板、

第三號 以上 2200—3300	龍骨、船首材	船尾材、舵柱	內龍骨	船尾橫梁材	彎曲部縱通材	側內厚板	上甲板梁受板	正甲板梁及船	梁ノ副梁受板	上甲板梁ノ	副梁受板	正甲板梁及船	梁ノ梁受板	船	龍骨翼板
	吋	吋	吋	吋	吋	吋	吋	吋	吋	吋	吋	吋	吋	吋	吋
2200—3300	6 $\frac{3}{4}$	7 $\frac{1}{4}$			2 $\frac{1}{4}$	6×2	8×2	6 $\frac{1}{2}$ ×1 $\frac{3}{4}$							6 $\frac{1}{2}$ ×2
3300—5000	7	7 $\frac{1}{2}$			2 $\frac{1}{2}$	7×2 $\frac{1}{4}$	8 $\frac{1}{2}$ ×2	7×1 $\frac{3}{4}$							7×2 $\frac{1}{4}$
5000—8400	7 $\frac{1}{2}$	8			2 $\frac{3}{4}$	7 $\frac{1}{2}$ ×2 $\frac{1}{2}$	9×2 $\frac{1}{4}$	7 $\frac{1}{2}$ ×1 $\frac{3}{4}$							7 $\frac{1}{2}$ ×2 $\frac{1}{2}$
8400—12500	8	8 $\frac{1}{2}$	7 $\frac{1}{2}$	3		8×2 $\frac{3}{4}$	9 $\frac{1}{4}$ ×2 $\frac{1}{4}$	8×2	9 $\frac{3}{4}$ ×2 $\frac{1}{2}$	2					8×2 $\frac{3}{4}$
12500—16700	8 $\frac{1}{2}$	9	8	3		8 $\frac{1}{2}$ ×3	9 $\frac{1}{2}$ ×2 $\frac{1}{2}$	8 $\frac{1}{4}$ ×2	10×2 $\frac{3}{4}$	2					8 $\frac{1}{2}$ ×3
16700—20800	9	10	8 $\frac{1}{4}$	3 $\frac{1}{4}$		9×3	9 $\frac{3}{4}$ ×2 $\frac{1}{2}$	8 $\frac{1}{2}$ ×2 $\frac{1}{4}$	10 $\frac{1}{4}$ ×2 $\frac{3}{4}$	2 $\frac{1}{4}$					9×3 $\frac{1}{4}$
20800—25000	9 $\frac{1}{2}$	10 $\frac{1}{2}$	8 $\frac{1}{2}$	3 $\frac{1}{2}$		9 $\frac{1}{2}$ ×3 $\frac{1}{4}$	10×3	8 $\frac{3}{4}$ ×2 $\frac{1}{4}$	10 $\frac{1}{2}$ ×3	2 $\frac{1}{4}$					9 $\frac{1}{2}$ ×3 $\frac{1}{4}$
25000—29100	10	11	9	3 $\frac{1}{2}$		10×3 $\frac{1}{4}$	10×3	9×2 $\frac{1}{2}$	10 $\frac{3}{4}$ ×3	2 $\frac{1}{2}$					10×3 $\frac{1}{2}$
29100—33300	10 $\frac{1}{4}$	11 $\frac{1}{4}$	9 $\frac{1}{4}$	3 $\frac{1}{2}$		10 $\frac{1}{4}$ ×3 $\frac{1}{2}$	10 $\frac{1}{4}$ ×3 $\frac{1}{4}$	9×2 $\frac{1}{2}$	11×3 $\frac{1}{4}$	2 $\frac{1}{2}$					10 $\frac{1}{4}$ ×3 $\frac{1}{4}$
33300—37500	10 $\frac{1}{2}$	11 $\frac{1}{2}$	9 $\frac{3}{4}$	3 $\frac{1}{2}$		10 $\frac{1}{2}$ ×3 $\frac{1}{2}$	10 $\frac{1}{4}$ ×3 $\frac{1}{4}$	9 $\frac{1}{4}$ ×2 $\frac{1}{2}$	11×3 $\frac{1}{4}$	2 $\frac{3}{4}$					10 $\frac{1}{2}$ ×3 $\frac{3}{4}$
37500—42000	10 $\frac{3}{4}$	11 $\frac{3}{4}$	10	4		10 $\frac{3}{4}$ ×3 $\frac{1}{2}$	10 $\frac{1}{2}$ ×3 $\frac{1}{2}$	9 $\frac{1}{4}$ ×2 $\frac{1}{2}$	11 $\frac{1}{4}$ ×3 $\frac{1}{2}$	2 $\frac{3}{4}$					10 $\frac{3}{4}$ ×4
42000—50000	11 $\frac{1}{4}$	12	10 $\frac{1}{4}$	4 $\frac{1}{4}$		11 $\frac{1}{4}$ ×4	10 $\frac{1}{2}$ ×3 $\frac{1}{2}$	9 $\frac{1}{2}$ ×2 $\frac{1}{2}$	11 $\frac{1}{4}$ ×3 $\frac{1}{2}$	3					11 $\frac{1}{4}$ ×4 $\frac{1}{4}$
50000—58400	11 $\frac{3}{4}$	12 $\frac{3}{4}$	10 $\frac{3}{4}$	4 $\frac{1}{4}$		11 $\frac{3}{4}$ ×4 $\frac{1}{4}$	10 $\frac{3}{4}$ ×3 $\frac{3}{4}$	9 $\frac{1}{2}$ ×2 $\frac{1}{2}$	11 $\frac{1}{2}$ ×3 $\frac{3}{4}$	3 $\frac{1}{4}$					11 $\frac{3}{4}$ ×4 $\frac{1}{4}$
58400—66600	12 $\frac{1}{4}$	13 $\frac{1}{4}$	11 $\frac{1}{4}$	4 $\frac{1}{2}$		12 $\frac{1}{4}$ ×4 $\frac{1}{4}$	10 $\frac{3}{4}$ ×3 $\frac{3}{4}$	9 $\frac{3}{4}$ ×2 $\frac{1}{4}$	11 $\frac{1}{2}$ ×4	3 $\frac{1}{2}$					12 $\frac{1}{4}$ ×4 $\frac{1}{4}$
66600—75000	13	14	12	4 $\frac{1}{2}$		13×4 $\frac{1}{2}$	10 $\frac{3}{4}$ ×4	9 $\frac{3}{4}$ ×2 $\frac{1}{4}$	11 $\frac{1}{2}$ ×4 $\frac{1}{4}$	3 $\frac{3}{4}$					13×5 $\frac{1}{4}$
75000—83000	13 $\frac{1}{2}$	14 $\frac{1}{2}$	12 $\frac{1}{2}$	4 $\frac{3}{4}$		13 $\frac{1}{2}$ ×4 $\frac{1}{2}$	11×4	9 $\frac{3}{4}$ ×3	11 $\frac{3}{4}$ ×4 $\frac{1}{4}$	3 $\frac{3}{4}$					13 $\frac{1}{2}$ ×5 $\frac{1}{4}$

形材及鐵製肘板並 = 設釘ノ寸法

第四號表 梁ノ截面

設 釘	梁曲材 = 代用ス ル山形材及肘板		第 二 數	甲板梁 船 梁	
	山形材	肘板		材 料 規 格	材 料 規 格
中 腕					
間 端					
$\frac{7}{16}$	$2 \times 2 \times \frac{3}{16}$	$8 \times 10 \times \frac{3}{16}$	以上—3300 未満	11—12	5
$\frac{9}{16}$	$2 \times 2 \times \frac{4}{16}$	$9 \times 11 \times \frac{4}{16}$	3300—5000	12—13	$5\frac{1}{4}$
$\frac{10}{16}$	$2 \times 2 \times \frac{5}{16}$	$10 \times 12 \times \frac{5}{16}$	5000—8400	13—14	$5\frac{1}{2}$
$\frac{10}{16}$	$2\frac{1}{4} \times 2 \times \frac{5}{16}$	$10 \times 13 \times \frac{5}{16}$	8400—12500	14—15	$5\frac{3}{4}$
$\frac{10}{16}$	$2\frac{1}{2} \times 2 \times \frac{5}{16}$	$10 \times 14 \times \frac{5}{16}$	12500—16700	15—16	6
$\frac{11}{16}$	$2\frac{1}{2} \times 2 \times \frac{5}{16}$	$12 \times 16 \times \frac{5}{16}$	16700—20800	16—17	$6\frac{1}{4}$
$\frac{11}{16}$	$3 \times 2\frac{1}{2} \times \frac{5}{16}$	$12 \times 16 \times \frac{5}{16}$	20800—25000	17—18	$6\frac{1}{2}$
$\frac{11}{16}$	$3 \times 2\frac{1}{2} \times \frac{5}{16}$	$12 \times 16 \times \frac{5}{16}$	25000—29100	18—19	$6\frac{3}{4}$
$\frac{12}{16}$	$3 \times 2\frac{1}{2} \times \frac{6}{16}$	$12 \times 18 \times \frac{6}{16}$	29100—33300	19—20	7
$\frac{12}{16}$	$3 \times 2\frac{1}{2} \times \frac{6}{16}$	$12 \times 18 \times \frac{6}{16}$	33300—37500	20—21	$7\frac{1}{4}$
$\frac{12}{16}$	$3\frac{1}{4} \times 3 \times \frac{6}{16}$	$14 \times 21 \times \frac{6}{16}$	37500—42000	21—22	$7\frac{1}{2}$
$\frac{13}{16}$	$3\frac{1}{4} \times 3 \times \frac{6}{16}$	$14 \times 21 \times \frac{6}{16}$	42000—50000	22—23	$7\frac{3}{4}$
$\frac{13}{16}$	$3\frac{1}{4} \times 3 \times \frac{7}{16}$	$14 \times 22 \times \frac{7}{16}$	50000—58400	23—24	8
$\frac{13}{16}$	$3\frac{1}{2} \times 3 \times \frac{7}{16}$	$14 \times 22 \times \frac{7}{16}$	58400—66600	24—25	$8\frac{1}{4}$
$\frac{14}{16}$	$3\frac{1}{2} \times 3\frac{1}{4} \times \frac{7}{16}$	$16 \times 23 \times \frac{7}{16}$	66600—75000	25—26	$8\frac{1}{2}$
$\frac{14}{16}$	$3\frac{1}{2} \times 3\frac{1}{2} \times \frac{7}{16}$	$16 \times 23 \times \frac{7}{16}$	75000—83000	26—27	$8\frac{3}{4}$
				27—28	9
				28—29	9
				29—30	$9\frac{1}{4}$
				30—31	$9\frac{1}{2}$

第五號表 鐵製梁曲材及梁曲材ニ代用スル鐵製山

第 二 數	梁 曲 材 ノ 厚								梁 曲 材 ノ 幅		梁 曲 材 ノ 長		梁 曲 材 ノ 長		咽 喉 部		
	咽 ノ 於 テ		喉 部 ニ 於 テ		梁 腕 ノ 端 ニ 於 テ		側 腕 ノ 端 ニ 於 テ		梁 曲 材 ノ 幅		梁 曲 材 ノ 長		梁 曲 材 ノ 長				
	短 梁 曲 材	長 梁 曲 材	短 梁 曲 材	長 梁 曲 材	短 梁 曲 材	長 梁 曲 材	短 梁 曲 材	長 梁 曲 材	短 梁 曲 材	長 梁 曲 材	短 梁 曲 材	長 梁 曲 材	短 梁 曲 材	長 梁 曲 材			
以上 未詳 2200—3300	1 $\frac{3}{4}$	時	時 $\frac{3}{4}$	時	時 $\frac{3}{8}$	時	時 $\frac{5}{8}$	時 $\frac{1}{2}$	時	時 $\frac{1}{2}$	時	時 $\frac{1}{2}$	時 $\frac{1}{2}$	時 $\frac{1}{2}$	時 $\frac{1}{2}$	時 $\frac{1}{2}$	時 $\frac{1}{2}$
3300—5000	1 $\frac{3}{4}$		時 $\frac{3}{4}$		時 $\frac{3}{8}$		時 $\frac{5}{8}$		時 $\frac{1}{2}$		時 $\frac{1}{2}$	時 $\frac{1}{2}$	時 $\frac{1}{2}$	時 $\frac{1}{2}$	時 $\frac{1}{2}$	時 $\frac{1}{2}$	時 $\frac{1}{2}$
5000—8400	2		1		時 $\frac{3}{8}$		時 $\frac{5}{8}$		時 $\frac{1}{2}$		時 $\frac{1}{2}$	時 $\frac{1}{2}$	時 $\frac{1}{2}$	時 $\frac{1}{2}$	時 $\frac{1}{2}$	時 $\frac{1}{2}$	時 $\frac{1}{2}$
8400—12500	2		1		時 $\frac{3}{8}$		時 $\frac{5}{8}$		時 $\frac{1}{2}$		時 $\frac{1}{2}$	時 $\frac{1}{2}$	時 $\frac{1}{2}$	時 $\frac{1}{2}$	時 $\frac{1}{2}$	時 $\frac{1}{2}$	時 $\frac{1}{2}$
12500—16700	2		1		時 $\frac{3}{8}$		時 $\frac{5}{8}$		時 $\frac{1}{2}$		時 $\frac{1}{2}$	時 $\frac{1}{2}$	時 $\frac{1}{2}$	時 $\frac{1}{2}$	時 $\frac{1}{2}$	時 $\frac{1}{2}$	時 $\frac{1}{2}$
16700—20800	2 $\frac{1}{4}$		1 $\frac{1}{8}$		時 $\frac{3}{8}$		時 $\frac{5}{8}$		時 $\frac{1}{2}$		時 $\frac{1}{2}$	時 $\frac{1}{2}$	時 $\frac{1}{2}$	時 $\frac{1}{2}$	時 $\frac{1}{2}$	時 $\frac{1}{2}$	時 $\frac{1}{2}$
20800—25000	2 $\frac{1}{4}$		1 $\frac{1}{8}$		時 $\frac{3}{8}$		時 $\frac{5}{8}$		時 $\frac{1}{2}$		時 $\frac{1}{2}$	時 $\frac{1}{2}$	時 $\frac{1}{2}$	時 $\frac{1}{2}$	時 $\frac{1}{2}$	時 $\frac{1}{2}$	時 $\frac{1}{2}$
25000—29100	2 $\frac{1}{4}$	2 $\frac{1}{2}$	1 $\frac{1}{8}$	1 $\frac{1}{4}$	時 $\frac{3}{8}$	時 $\frac{1}{2}$	時 $\frac{5}{8}$	時 $\frac{3}{4}$	2 $\frac{1}{2}$	2 $\frac{3}{4}$	21	28	32	42	時 $\frac{1}{2}$	時 $\frac{1}{2}$	時 $\frac{1}{2}$
29100—33300	2 $\frac{1}{4}$	2 $\frac{1}{2}$	1 $\frac{1}{8}$	1 $\frac{1}{4}$	時 $\frac{3}{8}$	時 $\frac{1}{2}$	時 $\frac{5}{8}$	時 $\frac{3}{4}$	2 $\frac{3}{4}$	3	21	28	32	42	時 $\frac{1}{2}$	時 $\frac{1}{2}$	時 $\frac{1}{2}$
33300—37500	2 $\frac{1}{4}$	2 $\frac{1}{2}$	1 $\frac{1}{8}$	1 $\frac{1}{4}$	時 $\frac{3}{8}$	時 $\frac{1}{2}$	時 $\frac{5}{8}$	時 $\frac{3}{4}$	2 $\frac{3}{4}$	3	21	28	32	42	時 $\frac{1}{2}$	時 $\frac{1}{2}$	時 $\frac{1}{2}$
37500—42000	2 $\frac{1}{2}$	2 $\frac{3}{4}$	1 $\frac{1}{4}$	1 $\frac{3}{8}$	時 $\frac{1}{2}$	時 $\frac{1}{2}$	時 $\frac{3}{4}$	時 $\frac{3}{4}$	2 $\frac{3}{4}$	3	24	32	36	48	時 $\frac{1}{2}$	時 $\frac{1}{2}$	時 $\frac{1}{2}$
42000—50000	2 $\frac{1}{2}$	2 $\frac{3}{4}$	1 $\frac{1}{4}$	1 $\frac{3}{8}$	時 $\frac{1}{2}$	時 $\frac{1}{2}$	時 $\frac{3}{4}$	時 $\frac{3}{4}$	3	3 $\frac{1}{4}$	24	32	36	48	時 $\frac{1}{2}$	時 $\frac{1}{2}$	時 $\frac{1}{2}$
50000—58400	2 $\frac{1}{2}$	2 $\frac{3}{4}$	1 $\frac{1}{4}$	1 $\frac{3}{8}$	時 $\frac{1}{2}$	時 $\frac{1}{2}$	時 $\frac{3}{4}$	時 $\frac{3}{4}$	3	3 $\frac{1}{4}$	24	32	36	48	時 $\frac{1}{2}$	時 $\frac{1}{2}$	時 $\frac{1}{2}$
58400—66600	2 $\frac{3}{4}$	3	1 $\frac{1}{2}$	1 $\frac{5}{8}$	時 $\frac{1}{2}$	時 $\frac{1}{2}$	時 $\frac{3}{4}$	時 $\frac{3}{4}$	3	3 $\frac{1}{4}$	27	36	40	54	時 $\frac{1}{2}$	時 $\frac{1}{2}$	時 $\frac{1}{2}$
66600—75000	2 $\frac{3}{4}$	3	1 $\frac{1}{2}$	1 $\frac{5}{8}$	時 $\frac{1}{2}$	時 $\frac{1}{2}$	時 $\frac{3}{4}$	時 $\frac{3}{4}$	3	3 $\frac{1}{4}$	27	36	40	54	時 $\frac{1}{2}$	時 $\frac{1}{2}$	時 $\frac{1}{2}$
75000—83000	2 $\frac{3}{4}$	3	1 $\frac{1}{2}$	1 $\frac{5}{8}$	時 $\frac{1}{2}$	時 $\frac{1}{2}$	時 $\frac{3}{4}$	時 $\frac{3}{4}$	3	3 $\frac{1}{2}$	27	36	40	54	時 $\frac{1}{2}$	時 $\frac{1}{2}$	時 $\frac{1}{2}$

第六號表 固 著 釘 / 徑

第 二 數	力 材 及 根 曲 材 鼓 釘	喉 骨 部 內 龍 鼓 骨 釘 及 肘 材 咽	龍 材 材 骨 及 及 內 龍 鼓 骨 釘 及 肘 材 咽	龍 材 材 骨 及 及 內 龍 鼓 骨 釘 及 肘 材 咽	龍 材 材 骨 及 及 內 龍 鼓 骨 釘 及 肘 材 咽	龍 材 材 骨 及 及 內 龍 鼓 骨 釘 及 肘 材 咽	龍 材 材 骨 及 及 內 龍 鼓 骨 釘 及 肘 材 咽	龍 材 材 骨 及 及 內 龍 鼓 骨 釘 及 肘 材 咽	第 二 數
2200—3300	$\frac{1}{16}$	$\frac{1}{16}$	$\frac{1}{16}$	$\frac{1}{16}$	$\frac{1}{16}$	$\frac{1}{16}$	$\frac{1}{16}$	2200—3300	
3300—5000	$\frac{1}{16}$	$\frac{1}{16}$	$\frac{1}{16}$	$\frac{1}{16}$	$\frac{1}{16}$	$\frac{1}{16}$	$\frac{1}{16}$	3300—5000	
5000—8400	$\frac{1}{16}$	$\frac{1}{16}$	$\frac{1}{16}$	$\frac{1}{16}$	$\frac{1}{16}$	$\frac{1}{16}$	$\frac{1}{16}$	5000—8400	
8400—12500	$\frac{1}{16}$	$\frac{1}{16}$	$\frac{1}{16}$	$\frac{1}{16}$	$\frac{1}{16}$	$\frac{1}{16}$	1	8400—12500	
12500—16700	$\frac{1}{16}$	$\frac{1}{16}$	$\frac{1}{16}$	$\frac{1}{16}$	$\frac{1}{16}$	$\frac{1}{16}$	1	12500—16700	
16700—20800	$\frac{1}{16}$	$\frac{1}{16}$	$\frac{1}{16}$	$\frac{1}{16}$	$\frac{1}{16}$	$\frac{1}{16}$	1	16700—20800	
20800—25000	$\frac{1}{16}$	$\frac{1}{16}$	$\frac{1}{16}$	$\frac{1}{16}$	$\frac{1}{16}$	$\frac{1}{16}$	1	20800—25000	
25000—29100	1	$\frac{1}{16}$	$\frac{1}{16}$	$\frac{1}{16}$	$\frac{1}{16}$	$\frac{1}{16}$	1	25000—29100	
29100—33300	1	$\frac{1}{16}$	$\frac{1}{16}$	$\frac{1}{16}$	$\frac{1}{16}$	$\frac{1}{16}$	1	29100—33300	
33300—37500	1	$\frac{1}{16}$	$\frac{1}{16}$	$\frac{1}{16}$	$\frac{1}{16}$	$\frac{1}{16}$	$\frac{1}{8}$	33300—37500	
37500—42000	1	$\frac{1}{16}$	$\frac{1}{16}$	$\frac{1}{16}$	$\frac{1}{16}$	$\frac{1}{16}$	$\frac{1}{8}$	37500—42000	
42000—50000	$1\frac{1}{16}$	$\frac{1}{16}$	$\frac{1}{16}$	$\frac{1}{16}$	$\frac{1}{16}$	$\frac{1}{16}$	$\frac{1}{8}$	42000—50000	
50000—58400	$1\frac{2}{16}$	1	$\frac{1}{16}$	$\frac{1}{16}$	$\frac{1}{16}$	$\frac{1}{16}$	$\frac{1}{8}$	50000—58400	
58400—66600	$1\frac{2}{16}$	1	$\frac{1}{16}$	$\frac{1}{16}$	$\frac{1}{16}$	$\frac{1}{16}$	$1\frac{1}{4}$	58400—66600	
66600—75000	$1\frac{3}{16}$	$1\frac{1}{16}$	$\frac{1}{16}$	$\frac{1}{16}$	$\frac{1}{16}$	$\frac{1}{16}$	$1\frac{1}{4}$	66600—75000	
75000—83000	$1\frac{4}{16}$	$1\frac{2}{16}$	$\frac{1}{16}$	$\frac{1}{16}$	$\frac{1}{16}$	$\frac{1}{16}$	$1\frac{1}{4}$	75000—83000	

第七號表 肋骨及隔壁板

第一 數	肋 骨 ノ 心 距	正 肋 材			副 肋 材			肋 板		隔壁板		第一 數
		吋	吋	吋	吋	吋	吋	吋	吋	吋	吋	
以上 未測 11—12	18	2	2	$\frac{4}{20}$	$1\frac{3}{4}$	$1\frac{3}{4}$	$\frac{4}{20}$	$7 \times \frac{4}{20}$	$\frac{4}{20}$	$\frac{4}{20}$	11—12	
12—14	18	$2\frac{1}{4}$	$2\frac{1}{4}$	$\frac{4}{20}$	2	2	$\frac{4}{20}$	$8 \times \frac{4}{20}$	$\frac{4}{20}$	$\frac{4}{20}$	12—14	
14—16	18	$2\frac{1}{2}$	$2\frac{1}{2}$	$\frac{5}{20}$	2	2	$\frac{4}{20}$	$9 \times \frac{5}{20}$	$\frac{4}{20}$	$\frac{4}{20}$	14—16	
16—18	18	$2\frac{1}{2}$	$2\frac{1}{2}$	$\frac{5}{20}$	2	2	$\frac{4}{20}$	$10 \times \frac{5}{20}$	$\frac{5}{20}$	$\frac{5}{20}$	16—18	
18—20	18	3	$2\frac{1}{2}$	$\frac{5}{20}$	$2\frac{1}{4}$	$2\frac{1}{4}$	$\frac{4}{20}$	$11 \times \frac{5}{20}$	$\frac{5}{20}$	$\frac{5}{20}$	18—20	
20—22	18	3	$2\frac{1}{2}$	$\frac{5}{20}$	$2\frac{1}{4}$	$2\frac{1}{4}$	$\frac{4}{20}$	$12 \times \frac{5}{20}$	$\frac{5}{20}$	$\frac{5}{20}$	20—22	
22—24	18	3	$2\frac{1}{2}$	$\frac{6}{20}$	$2\frac{1}{4}$	$2\frac{1}{4}$	$\frac{5}{20}$	$13 \times \frac{5}{20}$	$\frac{5}{20}$	$\frac{5}{20}$	22—24	
24—26	18	3	$2\frac{1}{2}$	$\frac{6}{20}$	$2\frac{1}{4}$	$2\frac{1}{4}$	$\frac{5}{20}$	$14 \times \frac{6}{20}$	$\frac{6}{20}$	$\frac{5}{20}$	24—26	
26—28	18	3	3	$\frac{6}{20}$	$2\frac{1}{4}$	$2\frac{1}{4}$	$\frac{5}{20}$	$15 \times \frac{6}{20}$	$\frac{6}{20}$	$\frac{5}{20}$	26—28	
28—30	18	3	3	$\frac{6}{20}$	$2\frac{1}{2}$	$2\frac{1}{2}$	$\frac{5}{20}$	$16 \times \frac{6}{20}$	$\frac{6}{20}$	$\frac{5}{20}$	28—30	

梁柱、外板、甲板及船心材等ノ寸法

外板	龍骨板	木甲板	内張板	船心材	梁柱		船針	船針ノ數	材 料 第 二 數
					上甲板梁	第二甲板梁			
檣	楓	檣	杉	楓	中實鋼		黃銅		
$2\frac{1}{2}$	$7 \times 2\frac{3}{4}$	$2\frac{1}{4}$	1	$6\frac{1}{2}$	$1\frac{1}{2}$		$1\frac{1}{2}$	2	以上 未測 2000—3300
$2\frac{1}{2}$	$7 \times 2\frac{3}{4}$	$2\frac{1}{4}$	1	7	$1\frac{1}{2}$		$1\frac{3}{4}$	2	3300—5000
$2\frac{3}{4}$	$7\frac{1}{2} \times 3$	$2\frac{1}{2}$	$1\frac{1}{4}$	8	$1\frac{1}{2}$		$1\frac{7}{8}$	2	5000—8400
3	$8 \times 3\frac{1}{4}$	$2\frac{1}{2}$	$1\frac{1}{4}$	9	$1\frac{1}{2}$		$1\frac{5}{8}$	3	8400—12500
$3\frac{1}{4}$	$8\frac{1}{2} \times 3\frac{1}{2}$	$2\frac{3}{4}$	$1\frac{1}{2}$	$9\frac{1}{2}$	2		$1\frac{13}{16}$	3	12500—16700
$3\frac{1}{4}$	$9 \times 3\frac{3}{4}$	$2\frac{3}{4}$	$1\frac{1}{2}$	10	2		$1\frac{13}{16}$	3	16700—20800
$3\frac{1}{4}$	10×4	$2\frac{3}{4}$	$1\frac{1}{2}$	$10\frac{1}{2}$	2		$1\frac{14}{16}$	3	20800—25000
$3\frac{1}{2}$	$10\frac{1}{4} \times 4\frac{1}{4}$	$2\frac{3}{4}$	$1\frac{1}{2}$	11	$2\frac{1}{4}$	$2\frac{1}{2}$	$1\frac{14}{16}$	3	25000—29100
$3\frac{1}{2}$	$10\frac{1}{2} \times 4\frac{1}{4}$	$2\frac{3}{4}$	$1\frac{1}{2}$	$11\frac{1}{4}$	$2\frac{1}{4}$	$2\frac{1}{2}$	$1\frac{14}{16}$	3	29100—33300
$3\frac{1}{2}$	$10\frac{3}{4} \times 4\frac{1}{2}$	3	$1\frac{1}{2}$	$11\frac{1}{2}$	$2\frac{1}{4}$	$2\frac{1}{2}$	2	3	33300—37500
$3\frac{1}{2}$	$11\frac{1}{4} \times 4\frac{3}{4}$	3	$1\frac{1}{2}$	$11\frac{3}{4}$	$2\frac{1}{4}$	$2\frac{1}{2}$	$2\frac{1}{16}$	3	37500—42000
$3\frac{3}{4}$	$11\frac{3}{4} \times 5$	3	$1\frac{3}{4}$	$12\frac{1}{4}$	$2\frac{3}{8}$	$2\frac{3}{4}$	$1\frac{14}{16}$	4	42000—50000
$3\frac{3}{4}$	$12\frac{1}{4} \times 5\frac{1}{4}$	3	$1\frac{3}{4}$	$12\frac{3}{4}$	$2\frac{3}{8}$	$2\frac{3}{4}$	2	4	50000—58400
$3\frac{3}{4}$	$13 \times 5\frac{1}{2}$	$3\frac{1}{4}$	2	$13\frac{1}{4}$	$2\frac{3}{8}$	$2\frac{7}{8}$	$2\frac{1}{8}$	4	58400—66600
4	$13\frac{1}{2} \times 5\frac{3}{4}$	$3\frac{1}{4}$	2	$13\frac{3}{4}$	$2\frac{3}{8}$	$2\frac{7}{8}$	$2\frac{1}{4}$	4	66600—75000
4	14×6	$3\frac{1}{2}$	2	$14\frac{1}{4}$	$2\frac{3}{8}$	$2\frac{7}{8}$	$2\frac{3}{8}$	4	75000—83000

第八號表

龍骨、船首材、船尾材、舵柱、內龍骨

材 料 第二級	龍船 骨、尾 材、首 材、柱	龍 骨 鋼 板	單 板 內 龍 骨 厚	貫 通 板 內 龍 骨 及 外 板 厚	舵 柱 鋼 板 厚 及 斷 切 板 內 龍 骨 厚	梁 上 側 板 及 內 形 材
	規	鋼	鋼	鋼	鋼	鋼
以上 2000—3300	7 $\frac{1}{2}$	18 × $\frac{7}{20}$	$\frac{7}{20}$	$\frac{7}{20}$	$\frac{7}{20}$	2 $\frac{1}{2}$ × 2 $\frac{1}{2}$ × $\frac{1}{20}$
3300—5000	8	18 × $\frac{7}{20}$	$\frac{7}{20}$	$\frac{5}{20}$	$\frac{4}{20}$	2 $\frac{1}{2}$ × 2 $\frac{1}{2}$ × $\frac{4}{20}$
5000—8400	8 $\frac{1}{2}$	18 × $\frac{9}{20}$	$\frac{8}{20}$	$\frac{6}{20}$	$\frac{5}{20}$	2 $\frac{1}{2}$ × 2 $\frac{1}{2}$ × $\frac{5}{20}$
8400—12500	9	18 × $\frac{9}{20}$	$\frac{8}{20}$	$\frac{6}{20}$	$\frac{5}{20}$	2 $\frac{1}{2}$ × 2 $\frac{1}{2}$ × $\frac{5}{20}$
12500—16700	9 $\frac{1}{2}$	19 × $\frac{9}{20}$	$\frac{9}{20}$	$\frac{6}{20}$	$\frac{5}{20}$	3 × 3 × $\frac{5}{20}$
16700—20800	10	19 × $\frac{9}{20}$	$\frac{8}{20}$	$\frac{6}{20}$	$\frac{5}{20}$	3 × 3 × $\frac{5}{20}$
20800—25000	10 $\frac{1}{4}$	20 × $\frac{9}{20}$	$\frac{8}{20}$	$\frac{6}{20}$	$\frac{5}{20}$	3 × 3 × $\frac{5}{20}$
25000—29100	10 $\frac{1}{2}$	20 × $\frac{9}{20}$	$\frac{9}{20}$	$\frac{7}{20}$	$\frac{6}{20}$	3 × 3 × $\frac{6}{20}$
29100—33300	10 $\frac{3}{4}$	21 × $\frac{9}{20}$	$\frac{9}{20}$	$\frac{7}{20}$	$\frac{6}{20}$	3 × 3 × $\frac{6}{20}$
33300—37500	11	21 × $\frac{9}{20}$	$\frac{9}{20}$	$\frac{7}{20}$	$\frac{6}{20}$	3 × 3 × $\frac{6}{20}$
37500—42000	11 $\frac{1}{4}$	22 × $\frac{9}{20}$	$\frac{9}{20}$	$\frac{7}{20}$	$\frac{6}{20}$	3 × 3 × $\frac{6}{20}$
42000—50000	11 $\frac{3}{4}$	22 × $\frac{10}{20}$	$\frac{10}{20}$	$\frac{8}{20}$	$\frac{7}{20}$	3 × 3 × $\frac{6}{20}$
50000—58400	12	23 × $\frac{10}{20}$	$\frac{10}{20}$	$\frac{9}{20}$	$\frac{7}{20}$	3 × 3 × $\frac{6}{20}$
58400—66600	12 $\frac{1}{2}$	23 × $\frac{10}{20}$	$\frac{10}{20}$	$\frac{8}{20}$	$\frac{7}{20}$	3 × 3 × $\frac{6}{20}$
66600—75000	13	24 × $\frac{10}{20}$	$\frac{10}{20}$	$\frac{8}{20}$	$\frac{7}{20}$	3 $\frac{1}{2}$ × 3 $\frac{1}{2}$ × $\frac{6}{20}$
75000—83000	13 $\frac{1}{2}$	25 × $\frac{10}{20}$	$\frac{10}{20}$	$\frac{9}{20}$	$\frac{7}{20}$	3 $\frac{1}{2}$ × 3 $\frac{1}{2}$ × $\frac{6}{20}$

第十號表 固著釘ノ徑

第九號表

梁

第 二 敷	外 龍 骨 板	龍 骨 翼 板	龍 骨 翼 板 橫 貫 釘	龍 骨 翼 板 釘	力 材 破 釘	中梁 央ノ 部長	上 甲 板 梁			第 二 甲 板				
							球 板	山 形 材			球 板	山 形 材		
								吋 吋	吋 吋 吋	吋 吋 吋		吋 吋	吋 吋 吋	
以上 未滿	吋 ⁶ / ₁₆	吋 ⁷ / ₁₆	吋 ⁸ / ₁₆	吋 ⁹ / ₁₆	吋 ¹¹ / ₁₆	11-12		吋 ³ / ₂₀ 吋 ¹ / ₂ 吋 ⁵ / ₂₀	吋 吋	吋 吋 吋				
2000-3300	吋 ⁶ / ₁₆	吋 ⁷ / ₁₆	吋 ⁸ / ₁₆	吋 ⁹ / ₁₆	吋 ¹¹ / ₁₆	12-14		3 × 3 × ⁵ / ₂₀						
3300-5000	吋 ⁶ / ₁₆	吋 ⁷ / ₁₆	吋 ⁹ / ₁₆	吋 ¹⁰ / ₁₆	吋 ¹² / ₁₆	14-16		3½ × 3 × ⁶ / ₂₀						
5000-8400	吋 ⁷ / ₁₆	吋 ⁸ / ₁₆	吋 ¹⁰ / ₁₆	吋 ¹¹ / ₁₆	吋 ¹³ / ₁₆	16-18		4 × 3 × ⁶ / ₂₀						
8400-12500	吋 ⁸ / ₁₆	吋 ⁹ / ₁₆	吋 ¹¹ / ₁₆	吋 ¹² / ₁₆	吋 ¹⁴ / ₁₆	18-20		4½ × 3 × ⁶ / ₂₀						
12500-16700	吋 ⁹ / ₁₆	吋 ¹⁰ / ₁₆	吋 ¹¹ / ₁₆	吋 ¹² / ₁₆	吋 ¹⁴ / ₁₆	20-22		5 × 3 × ⁷ / ₂₀						
16700-20800	吋 ⁹ / ₁₆	吋 ¹⁰ / ₁₆	吋 ¹² / ₁₆	吋 ¹³ / ₁₆	吋 ¹⁵ / ₁₆	22-24		5½ × 3 × ⁸ / ₂₀						
20800-25000	吋 ⁹ / ₁₆	吋 ¹¹ / ₁₆	吋 ¹² / ₁₆	吋 ¹³ / ₁₆	吋 ¹⁵ / ₁₆	24-26		6 × 3 × ⁹ / ₂₀						
25000-29100	吋 ¹⁰ / ₁₆	吋 ¹¹ / ₁₆	吋 ¹² / ₁₆	吋 ¹⁴ / ₁₆	1	26-28	6 × ⁶ / ₂₀	2½ × 2½ × ⁵ / ₂₀	7 × ⁶ / ₂₀	3 × 2½ × ⁶ / ₂₀				
29100-33300	吋 ¹⁰ / ₁₆	吋 ¹¹ / ₁₆	吋 ¹² / ₁₆	吋 ¹⁴ / ₁₆	1	28-30	6½ × ⁶ / ₂₀	2½ × 2½ × ⁶ / ₂₀	7 × ⁷ / ₂₀	3 × 3 × ⁶ / ₂₀				
33300-37500	吋 ¹⁰ / ₁₆	吋 ¹¹ / ₁₆	吋 ¹² / ₁₆	吋 ¹⁴ / ₁₆	1	30-32	7 × ⁷ / ₂₀	3 × 3 × ⁶ / ₂₀	7½ × ⁸ / ₂₀	3 × 3 × ⁶ / ₂₀				
37500-42000	吋 ¹⁰ / ₁₆	吋 ¹² / ₁₆	吋 ¹² / ₁₆	吋 ¹⁴ / ₁₆	1									
42000-50000	吋 ¹⁰ / ₁₆	吋 ¹² / ₁₆	吋 ¹³ / ₁₆	吋 ¹⁵ / ₁₆	1.1									
50000-58400	吋 ¹⁰ / ₁₆	吋 ¹² / ₁₆	吋 ¹⁴ / ₁₆	1	1.2									
58400-66600	吋 ¹⁰ / ₁₆	吋 ¹² / ₁₆	吋 ¹⁴ / ₁₆	1	1.2									
66600-75000	吋 ¹¹ / ₁₆	吋 ¹³ / ₁₆	吋 ¹⁵ / ₁₆	1.1	1.3									
75000-83000	吋 ¹¹ / ₁₆	吋 ¹³ / ₁₆	吋 ¹⁵ / ₁₆	1.2	1.4									

第十一號表 船體部屬具

信 號 旗	國 旗	號 鐘	雙 眼 鏡	霧 中 號 角	信 號 焰 管	火 箭 若 ハ 星 火 ヲ 發 ス ル 榴 彈	黑 球	紅 燈	碇 泊 燈	舷 燈	檣 燈	救 命 焰	救 命 浮 帶	航路定限		擧
														汽 船	帆 船	
一組	二	一	一	一	六	六	二	二	一	二對	二	二	船員一人 二付一箇 船員一人 二付一箇	汽船	帆船	總噸數五十噸未満ノ帆船ハ二箇、同二十噸未満ノ帆船ハ一箇トナスコトヲ得
一組	二	一	一	一	六	六	二	二	一	二對	一	二	船員一人 二付一箇 船員一人 二付一箇	汽船	帆船	總噸數五十噸未満ノ帆船ハ二箇、同二十噸未満ノ帆船ハ一箇トナスコトヲ得
一組	二	一	一	一	一	六	二	二	一	一對	一	二	船員二人 二付一箇 船員二人 二付一箇	汽船	帆船	總噸數二十噸未満ノ帆船ハ船員三人ニ付一箇トナスコトヲ得
NC	一	一	一	一	一	六	三	三	一	一對	一	一	船員二人 二付一箇	汽船	帆船	總噸數二十噸未満ノ帆船ハ之ヲ備ヘサルモ妨ナシ

NCニ旗ノミヲ備フル帆船ト雖信號符字ノ點附アルモノハ其符字ニ對スル信號旗ヲ備フヘシ

信 號 書	船 名 錄	時 計	羅 針 盤	手 用 測 程 具	砂 漏 計	機 械 測 程 具	手 用 測 鉛	深 海 測 鉛	晴 雨 計	寒 暖 計	時 辰 儀	六 分 儀	航 海 曆	消 防 用 手 桶	斧	傳 聲 器
-	-	三	三	-	二	-	三	-	-	-	-	-	-	六	二	-
-	-	二	三	-	二	-	三	-	-	-	-	-	-	六	二	-
-	-	二	三	-	二	-	三	-	-	-	-	-	-	六	一	-
-	-	-	-	-	-	-	三	-	-	-	-	-	-	六	一	-
			漁獵ノ種類ニ依リ一箇ハ天象岬角等ヲ測リ得ヘキ器具ノ備付ヲ要ス							海水ヲ計ルニ適スルヲ要ス				總噸數二十噸未滿ノ帆船ハ之ヲ備ヘサルモ妨ナシ		總噸數二十噸未滿ノ帆船ハ之ヲ備ヘサルモ妨ナシ

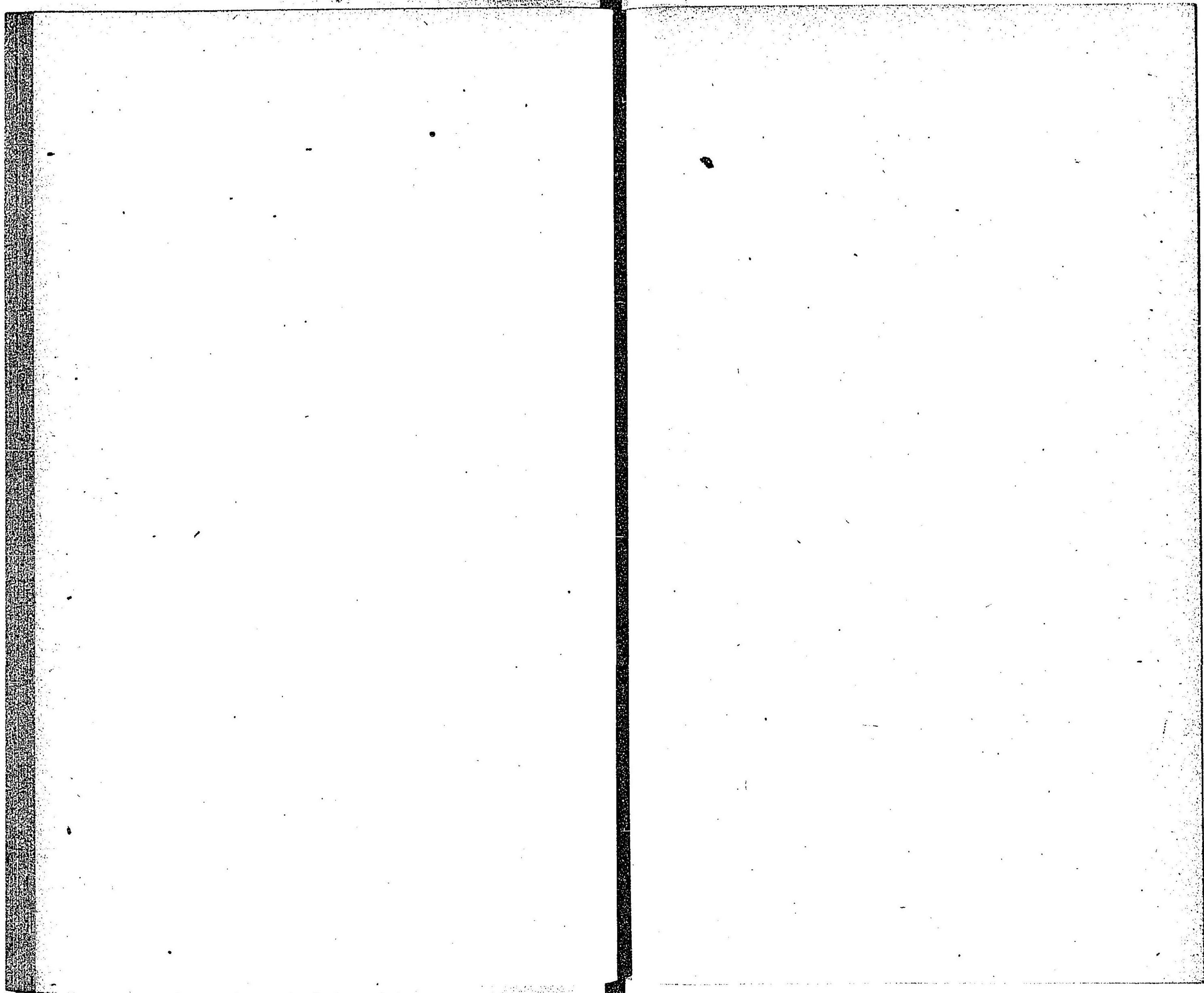
第十二號表 機關部屬具表

名稱	員數	摘	要
吸 鑄 發 條	各吸鑄ニ付一組	但同形ニシテ相轉用シ得ルモノハ一組ニ止ムルモ妨ナシ	
吸鑄螺釘及母釘	總數四分ノ一		
接續桿上下ノ螺釘	上下各一組		
接軸螺螺釘及母螺	一組		
冷 汽 管 填 種	總數ノ二十分一	但三十箇ヲ最小限度トス木製ナルトキハ填種器ヲ添フ	
排氣唧筒瓣	單瓣裝置ナルトキ 多瓣裝置ナルトキ	一組 半組	
循環唧筒瓣	單瓣裝置ナルトキ 多瓣裝置ナルトキ	一組 半組	
給水唧筒瓣及座	護謨製ナルトキ 金屬製ナルトキ	二組 一組	
冷水唧筒瓣及座	護謨製ナルトキ 金屬製ナルトキ	二組 一組	
安全瓣發條	一箇		
火 床 架	總數ノ五分一	但四箇ヲ最小限度トス	
驗水器硝子	各罐ニ付四箇	但六箇ヲ最小限度トス	

管 擴 器	一	箇	
管 塞 器	八	箇	但内半数ハ汽機前面ニ於テ直ニ使用シ得ヘキモノ
錐 孔 器	一	箇	
据 付 萬 力	一	箇	
螺 釘 及 母 螺	若	千	
機 關 室 用 小 道 具	一	揃	
驗 鹽 器	一	箇	
寒 暖 計	一	箇	

(備考) 汽機ニ竝以上ヲ備フルモノニ在リテハ表中ノ吸霧發條乃至汽水唧筒瓣及座ハ汽機一臺分ノ外之ヲ備ヘサ

ルモ妨ナシ



明治三十七年
九月訓令第一
號ヲ以テ改正
施行
十月一日ヨリ
同三十八年四
月訓令第一號
ヲ以テ改正

○船舶検査手續

明治三十三年十二月
遞信省訓令第四號

- 第一條 検査官吏船舶ヲ検査シタルトキハ特別検査ニ於テハ第一號書式、特別検査ト同時ニ定期検査ヲ行ヒタルトキハ第二號書式、定期検査ニ於テハ第三號書式、臨時検査ニ於テハ第四號書式、移民船舶検査ニ於テハ第五號書式ニ依リ直ニ検査報告書ヲ調製スヘシ
- 第二條 検査官吏ハ前條ニ掲グル各検査報告書ノ書式ニ定ムル事項ノ外其ノ記事欄ニ左ノ事項ヲ記載スヘシ
 - 一 検査ヲ行ヒタル年月日及ヒ場所
 - 二 船舶ノ現状
 - 三 検査ノ成績
 - 四 前回検査以後ニ於テ變更ヲ生シタル廉アルトキハ其ノ事項
 - 五 特別検査若ハ定期検査ノ期間ヲ一箇月以上線上ケタルトキハ其ノ事由
 - 六 検査事項ヲ省略シタルトキハ其ノ事項
 - 七 検査ノ引繼ヲ受ケタルトキ又ハ検査ノ囑託ヲ爲シタルトキハ其ノ事由
 - 八 期間ヲ附シテ航路定限ヲ定メタルトキ、沿海航路又ハ平水航路ヲ定限ト爲サントスル船舶ニ對シニ區若ハ二區以上ノ航路ヲ併セテ航路定限ヲ定メタルトキ又ハ船舶検査法施行細則第五十四條ノ規定ニ依リ平水航路ノ區域外ヘ跨リ航路定限ヲ定メタルトキハ其ノ事由
 - 九 假證書ヲ交付シタルトキハ其ノ事由
 - 十 検査官吏ニ於テ船舶検査規程第二十一條、木船検査規程第一章第六條第二項及ヒ第七條、鐵鋼船検査規程第三條及ヒ第四條又ハ機關検査規程第一章第二條ノ規定ニ依リタルトキハ當該船

船ノ船體、機關又ハ屬具ノ構造方法及ヒ認定ノ理由

十一 試運轉及ヒ速力試驗ノ執行方法、狀況及ヒ成績

十二 前各號ニ掲ケタル事項ノ外必要ナル事項

第三條 検査官吏船舶検査規程第八條ノ規定ニ依リ特別検査ノ期間ヲ定メタルトキハ之ヲ船舶所有者、船舶管理人又ハ船舶借入人ニ通知スヘシ

検査官吏船舶ノ資格ヲ定メタルトキ亦同シ

第四條 検査官吏海難ニ罹リタル船舶ニ臨檢シタルトキハ其ノ損傷ノ狀況ヲ審査シ臨檢報告書ヲ調製シ支水隔壁ノ位置及ヒ損傷ヲ生シタル區畫ヲ明示スル略圖ヲ添附スヘシ

検査官吏衝突シタル船舶ニ臨檢シタル場合ニ於テ該衝突カ夜間ニ發生シタルトキハ舷燈及ヒ隔板ノ寸法、其ノ現狀並掲示ノ位置ヲ詳記シ若シ規定ニ適合セサル箇所アルトキハ之ヲ指摘シ前項ニ掲ケタル臨檢報告書ニ之ヲ添附スヘシ

第四條ノ二 検査官吏船舶ヲ検査シ其ノ船舶ノ積量尺度其ノ他ノ事項ニ相違又ハ變更アリト認めタルトキハ直ニ改測其ノ他ノ方法ニ依リ事實ヲ確メ之ヲ其ノ所屬管海官廳ニ報告シ且ツ之ヲ船舶所有者又ハ船長ニ通知シ登錄ノ變更若ハ訂正及ヒ船舶國籍證書若ハ船鑑札書換申請ノ手續ヲ爲サシムヘシ

管海官廳ニ於テ前項ノ報告ヲ受ケタルトキハ更ニ該船舶ノ船籍港ヲ管轄スル管海官廳(船鑑札受有船廳ニ付テハ地方)ニ之ヲ報告スヘシ

第四條ノ三 検査官吏定期検査ヲ執行スル爲メ船舶ニ臨檢シタルトキハ當該船舶ノ主トシテ航行ニ從事スル線路、主トシテ搭載スル旅客貨物ノ種類其ノ他營業ニ關スル概況ヲ取調ヘ船舶検査報告書記事欄ニ記載スヘシ

第五條 同一ノ管海官廳ニ於テ検査執行中検査官吏交代シタルトキハ前検査官吏ハ自己ノ擔任シタル部分ニ關シ船舶検査件名書ヲ調製シ最後ニ検査ヲ擔任シタル者ニ於テ第一條ニ掲ケタル手續ヲ爲スヘシ

第六條 船舶検査法施行細則第二十五條第二項ノ規定ニ依リ甲管海官廳ヨリ乙管海官廳ヘ検査ヲ引繼ク場合ニ於テハ甲管海官廳ハ検査官吏ヲシテ其ノ検査シタル部分ニ關シ船舶検査件名書ヲ調製セシメ検査ニ關スル他ノ書類ト共ニ之ヲ乙管海官廳ヘ送付スヘシ

第七條 船舶検査法施行細則第二十五條第二項ノ規定ニ依リ甲管海官廳ヨリ乙管海官廳ヘ検査ヲ囑託スル場合ニ於テハ甲管海官廳ハ其ノ囑託スヘキ事項ヲ乙管海官廳ヘ通知スヘシ
前項ノ場合ニ於テ乙管海官廳ハ検査官吏ヲシテ囑託ヲ受ケタル事項ニ關シ船舶検査件名書ヲ調製セシメ之ヲ甲管海官廳ヘ送付スヘシ

第八條 検査官吏特別検査、定期検査若ハ臨時検査ヲ結了シタルトキハ船舶検査手帖ノ各欄ニ掲グル事項ノ外第二條各號ニ掲グル事項ヲ其ノ記事欄ニ記載シ之ニ署名捺印スヘシ

第六條ノ場合ニ於テハ検査官吏ハ検査ヲ行ヒタル部分ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ船舶検査手帖ニ記載シ當該管海官廳ヘ之ヲ送付スヘシ

第九條 第一條ノ報告ニ依リ管海官廳ニ於テ船舶検査證書、假證書、回航認可證書又ハ臨時旅客定員證書ヲ交付シ又ハ船舶検査證書、假證書ヲ書換ヘ若ハ裏書シタルトキハ當該検査報告書ヲ添ヘ遞信大臣ニ報告スヘシ

管海官廳ニ於テ適航證書ヲ交付シタルトキ又ハ臨時検査ヲ爲サスシテ船舶検査證書、假證書ヲ書換ヘ若ハ裏書シタルトキハ其ノ事項及ヒ事由ヲ記載シ前項ノ手續ヲ爲スヘシ
船舶検査法施行細則第四條第二項ノ場合ニ於テハ第一項ノ報告書ニ船體中央横截面圖、汽鐘切斷

面圖ヲ添附スヘシ

検査官吏第四條ニ掲クル書類ヲ調製シタルトキハ管海官廳ハ遲滞ナク該書類ヲ同條ニ掲クル船舶ノ船籍港ヲ管轄スル海員審判所ニ送付スヘシ
船舶検査法施行細則第二十五條第二項ノ場合ニ於テハ引繼ヲ受ケタル管海官廳ニ於テ第一項ノ手續ヲ爲スヘシ

第十條 管海官廳ハ船舶検査證書交付簿ヲ備置キ検査證書ヲ發出シタルトキ検査ニ關スル事項ヲ記載スヘシ

第十一條 船舶検査證書交付簿ヲ分チテ左ノ五種トス

- 一 甲種船舶検査證書交付簿
- 二 乙種船舶検査證書交付簿
- 三 臨時旅客定員證書交付簿
- 四 適航證書交付簿
- 五 回航認可證書交付簿

船舶検査證書交付簿ハ第六號書式ニ依ルヘシ

第十二條 船舶検査證書、假證書、適航證書、回航認可證書又ハ臨時旅客定員證書ヲ調製スルニハ字畫ヲ明瞭ニシ數字ハ壹、貳、參、拾等ノ字ヲ用ウヘシ文字ハ之ヲ改竄スルコトヲ得ス若シ文字ヲ訂正、挿入又ハ削除シタルトキハ其ノ字數ヲ欄外適當ノ場所ニ記載シ當該官吏之ニ捺印シ削除ニ係ル文字ハ尙讀ミ得ヘキ様字體ヲ存スヘシ

第十三條 船舶検査證書、假證書其ノ他検査ニ關スル證書ニ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ヲ記載スル場合ニ於テ船舶共有者多數ナルトキハ筆頭ノ者ノ住所、氏名又ハ名稱ノ外、外何人ト記載スヘシ

船舶借入人多敷ナルトキ亦前項ニ同シ

第十四條 船舶検査法施行細則第二十八條、第三十一條、第四十七條又ハ第六十七條ノ申請ニ依リ船舶検査證書、假證書、適航證書、回航認可證書又ハ臨時旅客定員證書ヲ交付スル場合ニ於テハ證書書換又ハ再交付ト朱記スヘシ

第十五條 管海官廳ニ於テ船舶検査證書、假證書、適航證書、回航認可證書又ハ臨時旅客定員證書ノ返還ヲ受ケタルトキハ直ニ之ヲ廢棄スヘシ

證書ノ廢棄ハ官廳ノ印ニ消印ヲ押捺シテ之ヲ爲スモノトス

第十六條 船舶検査法施行細則第四十二條第二項ノ規定ニ依リ船舶検査證書、假證書又ハ適航證書ノ無効ナルコトヲ官報ニ公告セントスルトキハ左ノ事項ヲ記載シ遞信省ニ差出スヘシ

- 一 船舶検査證書ノ番號
- 二 船舶ノ番號、種類及ヒ名稱
- 三 證書ノ種別
- 四 船舶所有者ノ氏名又ハ名稱
- 五 證書交付ノ年月日

第十七條 管海官廳ニ於テ船舶検査法施行細則第五條ニ該當スル船舶ノ検査ヲ終リタルトキハ同條ニ掲グル各證明書ヲ検査申請人ニ還付スヘシ

